

追想の日々

(上)あなたの心へ届け
(下)光に満ちていつまでも

飛鳥 圭

目次

－目次（上）－

(あなたの心へ届け)

1. 出会いの日
2. 再会
3. 絶不調と喫煙の思い出
4. 可愛い後輩
5. 知人の家にて
6. 約束の日に
7. 麗しき日々
8. 初めてのデート
9. 蝶の恩返しなのか
10. 突然なこと
11. 新婚のように
12. 思わぬ出来事
13. 記念すべき一日
14. 秘め事
15. 夢からさめないで

－目次（下）－

(光に満ちていつまでも)

1. はるか昔
2. 再就職してから
3. 昔日のなかへ
4. 久しぶりです
5. いつものところで
6. 愛を感じていますか
7. 手をにぎりましょ
8. 潮騒の香り
9. ふるさとから
10. 明日へむかって
11. 僕の早春賦
12. ありがとうさようなら

1. 出会いの日（1/2）

1. 出会いの日（1/2）

昼下がりの金曜日・・・

S市駅の待合室に中年を過ぎた感じの初老の男・・・真一

自分では背の低い痩せ型のちび親父と言っているが・・・。

地元の高校を卒業し、大阪のとある企業に就職！

技術系の学校だったこともあり、電気関係を担当することに・・・。

そして、働きながら電気工学の短大を卒業した。

その会社も定年で退職し、今は無職である。

思い出してみると同じ会社を辞めずに半世紀近くの長期間勤めあげる

とは真一も入社の際は考えてもいなかった。

数年で辞め家業の電気店を継ぐことも選択肢にあって、いつでも辞めてやるという切り札がかえって辞めないで定年まで頑張っただけなのではないか？

仕事に失敗しても家業を継げばいいとなると、思い切り自身のパフォーマンスで仕事をこなし評価され、やがて課長になった。

同期入社の中で一番早い昇進であった。

真一のいいところは人の良さ、腰の低いことも、そして真面目で信頼される性格が任される理由であったかも知れない。

うぬぼれることなく、こつこつ頑張る努力家だったし上司にも恵まれた。

役職は課長どまりだが真一自身は、出世欲のない性格であり満足しているのだった。

そして真一自身は、こと女性とのことでは、仕事とは裏腹に奥手なのであった。

ナンパするってことは、とてもとてもで、女性とは話してもできないツライ奴ということになる。

しかし歳を食ってくると、だんだんとましになっていて、妻を亡くして独身の今は少しは遊ぶことも覚えてしまった。

いろいろなことを経験してくると楽しいことは忘れられなくなってしまうのは真一も同じなのだ。

本当に情ないことなのであるが、真一自身は自制しなければと言うこともなく案外と平気で、A型人間とは思えない一面を見せる。

ある日のこと、駅の待合室で小柄な25歳ぐらいの若い女性が声をかけ

てきた。

すみません？T方面に行きたいのだけど・・・どう行ったらいいのか？
僕もそちらへ行く予定なのでご一緒してもいいですよ
小柄でスリムなのに胸が大きくなって、くるりとした大きな瞳が可愛い
女性である。

そして、なかなか服装のセンスがいい
スニーカーにマッチしたジーンズに半袖の白いワイドパンツ、長い髪をかきあげながら
・・・すみません・・・いいんですか？
初めての人なのに無理をお願いして！
さあ行きましょうか
ごめんなさいね・・・僕って最近早く歩けなくなって
いえいえ私がお願いしたのですから、それから私も歩くの遅いんです。

こうして二人はT方面にむかって歩き出した。
後ろから見たら顔が分からないこともあり、恋人同士に見える。
真一はといえばカジュアルぽい感じの服装で、首をはだけて衽タイをし、
髪は総髪・・・今風に言うポニーテールらしき風体・・・である。
ズボンのベルト辺りにキーをぶら下げ、初老の男には見えないし50歳を
少し過ぎたぐらいの雰囲気である。
靴は先がとがった茶色でよく似合っている。
案外同年代ではお洒落である。

つづく

1. 出会いの日 (2/2)

1. 出会いの日 (2/2)

結構歩いたので、女性の方をみてから少し休みませんか？

あと少しなのですが・・・よろしかったらですが

私でよければご一緒にいいですか、お礼もしたいし・・・。

名前は・・・原 美紀と言う。

年齢は24歳であることが分かった。

T方面へは姉が住んでるそうで訪ねて行くところとか

初めてでバスの便も少ないことから歩いてみようということにしたらしい。

笑顔が可愛く真一の好みの女性である。

クラシック音楽の流れる洒落た喫茶店でアイス珈琲を注文した。

音楽はアイネクライネポルカ・・・あの有名なモーツァルトである。

真一の好きな曲のひとつである。

娘より若い女性と明るいうちからお茶をすること自体今の真一にとっては奇跡的な出来事である。

夜では新地のクラブの女性と待ち合わせてお茶をすることは何度かあったのだが・・・。

こうしていることは神が導いてくれたのか、天使のいたずらか？
冗談でありのまま彼女に話すと、くすっと笑いこれも縁なのですよね！

彼女だが2ヶ月前に彼氏と別れたばかりで姉とはいろんなことを相談しようと初めてT方面に行くのだとのことである。

真一は歳が離れていなければ、そして僕が若ければプロポーズするよと笑いながら話すのであるが、相性だろうか・・・彼女も好意を持っていて、お友達にしてもらっていいですか？

父と同じ年代の人は好きなんです。実は私ファザコンなんです・・・。

父は小さい頃に亡くなっているんですよ

随分甘えたな私だったので・・・坂本さんに甘えてもいいですか？

初めてあったのに話もはずんでいる。

そんなこんなで1時間ほど話し込んでしまって店を出た。

T方面の目的の場所付近に来たので別れることになった。

それから真一はお互いのアドレス、電話番号を交換していないことに

後からになって気付き、あーなんてドジなんだ、もう会えないなあ！
でもいい夢を見たよね！

仕事と違って女性とのことでは、肝心なこととなると抜けてるところ
があってチャンスを逃がしてしまう事がこれまでも何度かあった真一
なのである。

今日一日何だかんだ言っても若い女性と1時間ほどではあるが、二人
きりで話せたことが興奮もので満足できる一日なのである。

こんな日は何故か口笛でも吹いて、楽しいひとときを思い出し、最近
始めた自炊にも気合が入るのです。

今日はステーキでもしょうか

いい事があれば、いいものを食べて・・・また会えるかも知れないんだ
から今日は本当・・・！

夢見たいな出来事だったなあ

そして・・・昔の和歌をふいに思い出すのである。

みちのくの　しのぶもぢずり　誰ゆゑに

乱れそめにし　われならなくに

と言うのがあって・・・この和歌を真一は気に入っているのだ。

和歌は貴族の文化だったことから主に都のある京都周辺であり、百人
一首に掲載の歌の舞台は近畿圏なのだが何故か都から遠く離れたみち
のく、いわゆる陸奥（今の東北地方の東）であったのがその理由の
ひとつと、片思いのやるせない気持ちが今の真一の心境によく似ている
ような気がしているのである。

現代語訳をしてみると陸奥で織られる「しのぶもぢずり」の摺り衣の
模様のように・・・乱れる私の心はいったい誰のせいでしょう。

私のせいではなくあなたのせいなのですよの意味らしい。

そうそう作者は河原左大臣（かわらのさだいじん。822年～895年）で
あり、嵯峨（さが）天皇の皇子、源融（みなもとのとおる）のこと
なのだ。

この時代に73歳まで生きた人なので真一もこの歳までは生きていた
って常々思っているのだ。

そして拙いポエムを思い出したようにペンをとり書き留めるのであった。

—恋とは—

いつまでも・・・

恋していきたい

幾つになっても

恋は・・・

何故だか

魔物のようです

だから・・・だから

いつまでも恋する人は

いつまでも若く・・・

年をとらないのですね

イマイチのポエムなのであるが、詩作が好きなのだ。

生きてる間に、老いくの恋でも良い、好きな人が出来ればと真一は
思っている。

つづく

2.再会（1/2）

2. 再会（1/2）

真一はいつ再就職できてもいいようにパソコンをさわって、ブログを更新したり、ポエムを作ったり、自炊したりしている。

勤務してる時と同じような時間の使い方をすることによって、老け込むことにも気をつけているのである。

少し早い時間に起床し、朝昼夜の3食は必ず取り、体調管理には特に気をつけているのだ。

持病の喘息など呼吸器疾患があり、月に一度は病院に行っているが、若い女性のスタッフがいるだけでも嫌な病院通いが楽しみなのである。

ほんとうに男っていつまでたっても若い娘が好きなんだからって反省はしてるのだが！

仲良くしてる同年代の女性に・・・独身してるとこんなにも楽しいんだなんて話すと・・・坂本さんって長生きするわって冷やかされるし・・・。

よく若さの秘訣ってのを良く聞くが・・・恋するっていいことなんだ。

そして、持病が好転すれば就職活動をするぞって意気込んでいるのである。

さてさて・・・大阪市にあるM銀行に用事が出来、出掛けることに・・・。

その帰り道、ふっとのぞいた雑貨ショップ、梅雨も近いし洒落た雨具でもっと、傘やブーツを見ようと入ったショップで・・・坂本さん？

えっ・・・ふりかえると美紀さんが！

えっ！どうしてここに？

先日は有難う・・・。

このお店で働いてるんだ！

そうなんですよ・・・ビックリしました坂本さんが現れるんだから

鏡に坂本さんが映ってるんで、まさかと思ったんだけど、男性のポニーテールって少ないしね！

それと丸い眼鏡って特徴があるから直ぐに分かりましたよ。

ホト！良くいらっしゃいました。

僕はここでは一応・・・客なんで・・・美紀さんも接客言葉が・・・。

これはこれは縁なんですよ・・・私もアドレスや電話番号を聞いておけばと思ったんですよ・・・。

今日こそチャンスを逃してはいけないよねと真一ははやる気持ちを抑え、冷静にしくなくちゃ！って心に言い聞かせるのです。

ブーツだけでも買って、レジの時贈り物にして連絡先を書いてもらおう

贈り物のメッセージを書きたいんだけど・・・カードってあります？

メモ帖をもらってアドレス、電話を書いてもらっていいですかって伝えたのです。

働いてるお店なんでプライベートな会話は遠慮しないと・・・。

うーん・・・レジの時、美紀さんが低い声で連絡先を入れてますからって！
うまくいったようです・・・。早く紙袋からだして見てみたいし、ドキドキします。

大阪駅の階上にある時空の広場にあがってベンチへ急ぎます。

あわてて・・・包装紙が破れてしまったけど・・・贈り物じゃなく自分が使うものだからいいか？

やったあ・・・アドレスと電話番号。

午後9時過ぎに電話くださいって・・・。

そしてコメントまで・・・。

坂本さん今度ゆっくりお会いしましょって・・・。

真一はうれしくてにやけてる顔をごまかすように辺りを見渡すのです。

人に見られていたら、あのおっちゃん嫌らしい顔してって思われているかも女房が生きていたら、一発で分かっちゃうだろうなあと思うのである。

一応独身なんで・・・女房も許してくれて、応援してくれるだろうと思うのである。先に逝ってしまったんだから・・・。

つづく

2.再会（2/2）

2. 再会（2/2）

ショップ内の彼女は黒のミニスカート、足元は茶色のスニーカーにニーハイ、白のブラウス、ショップのロゴ入りの黒のエプロン・・・ショップの制服のようだ。

これはこれで似合っていて可愛い、長い髪は後ろにまとめられて襟足がみえて色っぽいこのショップでは、見た目にはおねさん風でツンデレなんだ。

ほんと女性って髪形や化粧で注意していないと別人に見えてしまう。

初めてあったときとは段違い、今日は今日でますます素敵でビジュアルよしスタイルよしなのです。

制服を見ていると、こちらまでが何故かそわそわウキウキしてくる。

午後8時までが本当に長い・・・時計ばかりみてる真一である。

二人きりでまた会えることに、年甲斐もなく女房とデートした時のこと以上にときめいている真一である。

そうそう・・・こんな時こそ、ポエムを書かなくちゃ

君に会える日を 夢見ていた

いつかきっと・・・会える日を想って

今日のこの日に

また会えた喜びを 君に伝えます

いよいよ午後9時・・・。

ルルルウ・・・ルルルウ・・・もしもし原です。

ああ・・・坂本さん・・・今日はお買い上げありがとうございます？

ウフフ、おふざけしましたあ（笑）

今日のブーツ坂本さんが履くのでしょうか？

分かってましたよ

ショップの中なので気遣っていただいたのですね・・・ありがとう

私・・・年の違いって気にしないから、新しい父が出来たって思っていたのですよ！

これからもよろしくね

今度食事に行きませんか？

イタリア料理のいいお店があるのですよ

姉もと思っていたのですが姉とは時間が合わず・・・私だけなのですが、よろしかったら私とご一緒できませんか・・・。

7月10日の午後6時はどうでしょうか？

いいんですか僕なんかと・・・？

坂本さんって・・・話していると何故か落ち着くんです私・・・ファザコンですよ（笑）

坂本さん、真一さんって読んでいいですか？

真さんって呼んでもらっていいよ

真さんか・・・いい響きです。私・・・美紀って呼び捨てにしてください。

ほんと？美紀・・・！ 真さん・・・なんだか声だけだと何でも話せそう

でも会って話すのが一番いいに決まってる・・・そうそう美紀じゃなく美紀ちゃんと呼ぶことにしていいですか？

真さんいいですよ・・・それじゃ10日予約しておきますね

ごめんなさい勝手に決めちゃって・・・そうそう私、明日朝が早いんです・・・。

起きれるかな？

そうなんだ・・・じゃモーニングコールしたあげようか？

・・・5時頃？

えっ6時でいいの・・・！

OKですよ・・・それじゃ明日電話しますね・・・それじゃおやすみなさい

淋しいし、ほんとはもっと話したいんだけど・・・ごめんなさい

真さんそれじゃ明日6時よろしくお願いね・・・おやすみなさい

真一はモーニングコールするって約束したものの今は働いていなし、起きれるかなあ！

勤務中は5時起きだったので大丈夫と考えたのですが・・・。

そうそう目覚まし時計があった。

2階からひとつ、そしてタイマーでラジオが鳴るようにし、携帯のアラームをも用意して・・・。

3重のセットをすることに(笑)

家の中を動いたので・・・食事をして時間も経っていないのにまた、お腹が空く有様です。

時間も午後11時近くになっている。

もう眠らないと・・・。

何か小さい頃に遠足に行くみたいで・・・心が落ち着かない。

恋するってほんと・・・大変なんだ・・・。

真一は見合い結婚だったのです・・・。

そうそう・・・誕生日が1987年5月13日生まれだから・・・えっと

ひふみよ・・・の僕が48年だから40近くもちがうのか？

ほんまに・・・よくもまあ、信じられない程若い女性が友達とはね・・・。

長生きするよとはうまく言ったもんだ。

この出会って女房のプレゼントかもしれないなあ・・・。

先に亡くなったんだから。

まあいいか・・・現実を喜ばないといけないよなあ

ほっぺをつまんでみる・・・痛い・・・本当だあ

美紀って呼んでって言ってたよな・・・この出会い大切にしないと。

そうそう早く寝ないと・・・。

つづく

3. 絶不調と喫煙の思い出

3. 絶不調と喫煙の思い出

せっかく食事でもとなったのにこちらの体調が悪くなってしまって・・・。
食事なんて元気になったら何度でも出来るのだから真一さん早く良くなって下さいと電話をいただいたのだ。

嬉しいものである。

そして治ればこちらから連絡することになった。

最初の兆候は首からだった。

長く座ってパソコンをしていると首が痛くなって！

上を見上げると顕著に症状がでてくる。

何か・・・頭が重いというかそんな感じがするのだ。

10年ほど前の9月頃に胃の精密検査があってその時・・・先生！

他にも気になる事があって

はい・・・どうぞ

バス停までの100m少しで息切れして時々苦しいんです。

先生からは肺機能検査とCTを撮ってみましょう・・・。

そして結果から、肺機能3, 200cc、気管支喘息と肺気腫になっていますよ！

肺気腫の症状は未だ出ていませんが、その影響は大きくないけど合併症の可能性があって要注意です。

タバコを止めたほうがいいですよ

強い口調でなかったの・・・あまり気にしていなかったのである。

そして5年前の11月頃、自宅で呼吸困難の発作を発症、翌日もまた呼吸困難に・・・。

発作用のメプチンエアーの吸入で事なきを得たものの、やはりタバコを止めなければとついに禁煙をしたのである。

そうそう、今はタバコの臭いを嗅いだけで嫌な気分になる。

禁煙して5年を過ぎるとそうなのかなあって・・・。

以前は真一自身もそうだったんだって

くわえタバコって何かワイルド的でいいですよ？

タバコの煙が眼にしみる仕草やふーっと煙を吐く・・・。

煙の輪を作って遊んだことも！

タバコを吸って一番いいのは・・・寝タバコかなあ

酔って帰って仰向けに寝て吸うって最高だったような

一度焦げ臭くって眼が覚めると布団が燃えていたこともあって、二度と

寝タバコはしなくなったのであるが、いろいろ体験してみると喫煙の懐かしい思い出が甦るのだ。

真一が、かつて勤めていた会社でのある日、社長室を英会話教室として利用することに・・・。

英会話クラブの仲間たちと外国人講師の先生からレッスンを受けるのであるのだが。

応接テーブルはピースが大理石のケースに入れられていて、ライターも大理石の中に・・・。

さすが社長室・・・。

社長は吸わないにしてもお客さんが吸われるのでしょうか

たくさん入っているし、1本ぐらい失敬しても大丈夫じゃないかと喫煙仲間と吸ったこともあったが・・・。

すごいよね、さすが社長室、禁煙中だけど一呼吸だけ吸ってみようっと
そこの換気扇入れてよ

坂本課長・・・社長室のタバコ吸ったなんて言わないから安心して・・・。

有名短大卒の総務の女性が声をかけてくれます。

その女性・・・山下愛華っていう名前なのである。

ミニスカートが似合う可愛い女性・・・。

事務服も最近は膝上は当たり前・・・。

スレンダーで胸だけは気合が入っていて、85cmのDカップぐらいはあるようだ。

この女性がいるからこそ英会話クラブに入部した真一なのだ。

山下愛華とは入社試験の時、工場見学で真一が案内することになって知り合ったいわば後輩なのである。

こんな後輩なら・・・何人いてもいいなあって真一は思ったのであった。

製造業の総務によくまあ！こんな可愛い女性が入社してきたものだ

断ってもいいのに、このご時世だから仕方がないか

彼女とは工場見学でいろいろな質問を受けた

試験問題や、ボーナスのこと、男性社員のこと・・・。

真一の誠実な受け応えに素直にハイといい返事をして、可愛い笑顔を返してくれる。

もっと僕が若けりゃプロポーズしたい女性だよと話すと、いたずらっぽい眼で笑っていた。

身長も150cmと小柄なところも気に入っている。

工場見学が終わって、応接室で向かい合って座った時にはずみでスカートが

めくれて白いパンツが見えた。

はずかしい・・・見られたであろう事を悟って顔を赤らめている。

ゴメン見るつもりじゃないのにごめんごめん見てしまったよ

気になさらないで下さい

真一も照れ笑いをした。

まあ愛華とはパンツを見られた、見てしまったの関係なのだ。

そのことがかえて二人が親密になったのである。

そしてそれだけでなく・・・初めて会ったのに親類のお嬢さんが入社試験に来たような感じで、お互いにいい印象を共有していたのである。

面接官ではないにしろ、工場見学での状況をチェックして後日報告は必要なのであるが、もちろん悪く報告することはなく・・・いい人材である旨を報告した真一である。

愛華には別れ際にいい結果に終わるといいね・・・入社できること楽しみにしていますよ

愛華には話していた。

あれから3年経ったんだなあ・・・早いもんだ

愛華ちゃん元気にしてるんだろうか・・・懐かしく思う真一である。

つづく

4.可愛い後輩女性

4. 可愛い後輩女性

山下愛華・・・20歳、少女から大人になりたてといったスタイルのいい可愛い女性。

しっかり者であるA型で長女とのこと。

会社見学日から入社して所属部署は違っているが何かしらいい関係。

真一が時々総務の担当する応接室、社長室、食堂設備のメンテナンスで行き来していることもある。

良く冗談を言い合う仲なのだ。

まあ真一とは親子ほども年齢が離れていることもあって、周りの社員達もそんな関係には無頓着である。

愛華も真一に対して少なからず好意を持っているようだ

そんなこともあって、真一にとっては会社に行くひとつの楽しみになっていた。

毎日顔を見ていると何故か安心するのである。

彼女も僕といると何かしら落ち着くんですよと話してくれた。

冷やかすと冗談で・・・ほんとだね、恋人同士になりたいよね愛ちゃん？

山下さんじゃなく愛ちゃんと呼んでいる。

職場でも愛ちゃんって呼ばれていて、お客さんや第三者がいるところでは山下って呼ぶことになっている。

会社を退職してから長いこと会っていないのだが・・・。

真一が体調をくずして1週間・・・ブログにて生活状況などペンネームで公開していることもありまた、室生光ってペンネームは愛華は知っていてコメントをくれたのだ。

お久しぶりです・・・山下です。ブログを見て連絡させていただきました。

光さん大丈夫ですか3年ぶりです。

勤務されてる時はお世話になりました。

このブログでは、ペンネームというかハンドルネームを宛名にして連絡してくれたのである。

懐かしいです。近況報告などお会いして、お茶でも如何でしょうか？

まだ結婚していないんだ・・・あれから3年経つのか

と言うことは23歳・・・ますます綺麗になっているだろうな

ブログのコメントに連絡をくれるなんて・・・。

そう言えば連絡先を知らせてなかったものだから・・・会社で社員名簿は見れるはずなのに？

まあいいか・・・こんな偶然というかサプライズの良いことなんだから・・・。
独身の真一にとっては元気の出る誘いであり断る理由がないのである。

勤務してる時に聞いた電話番号に会社名を出して電話をしてみた・・・。

ルルルウー・・・ハイ山下です・・・母親らしい声である・・・。

エムエム工業の坂本といいます・・・。

お母さんですか？

山下さんにはいつもお世話になっています。

仕事のことで連絡したいことができまして・・・いらっしゃいますか？

会社を辞めているのに勤めていた会社を名乗ること自体ためらいがあった
のだが一刻も

早く連絡をつけておきたい気持ちがあった。

愛ちゃん一会社の坂本さんから電話よ

ハイ・・・ただいまー、こちらへつないでお母さん

受話口を通してやり取りが聞こえてくる。

なんだかアットホーム的な微笑ましい感じである。

固定電話って・・・最近は携帯電話なので懐かしい気がするのです。

母親も素敵な魅力的な声だし・・・。

ハイ愛華です・・・坂本さん久しぶりです・・・ブログにコメントしちゃって！

ごめんなさい電話番号教えてもらってたのに、メモをなくしてしまって・・・。

いやいや・・・僕こそ・・・気にかけてもらって、また心配させちゃってありがとう
元気だった？

ハイ元気でしたよ・・・坂本さんが辞められてからチョット淋しかったんですよ
坂本さんみたいに気安く話せて、落ち着ける人っていないから！

泣けることを言ってくれるね愛ちゃん？

そうなんだ・・・激痛で大変だったんだ

・・・呼吸器のほうも不調で・・・でも声を聞けて嬉しいよ

そうそう・・・会うのいつがいい？

3年ぶりなんだから・・・七夕で彦星が織姫に会う感じで7月7日ってどうですか？

えっ・・・3日後じゃない・・・僕のほう大丈夫かなあ

駄目ですよ・・・あまりに早くては

いやいや、いいよ愛ちゃんと会えるんだから・・・それに僕の方は仕事していな
いんで・・・。

何かあっても這ってでも行くよ・・・ところで何処にする？

美味しいイタリヤ料理店があるんです

(美紀ちゃんもイタリヤ料理って言ってたような)

そうか・・・イタ飯も久しぶりだなあ・・・お任せしていいかなあ？

そしたら私・・・6時に予約しておくね

それじゃまた会った時に詳しいこと話しましょ

真一は二人きりで会えることに感激していたし、なんか涙が出て・・・。

涙声になっていた。

本当に会えるのか愛ちゃんに？

どんな格好で来るのかなあ、ミニスカートならいいんだけどなあ

そうそうこの季節、季節的には薄着だし胸元も刺激的な感じなんだろうなあ
と思うと気分

も若返った気持ちになって・・・なぜだかワクワクしてしまう。

勤務中は仲良くしてエッチな話題もしていたんだが・・・今は当然こんな不謹慎なことは駄目なことだし・・・会社を辞めた身だしね。

いろいろ相手してもらって、楽しかったし、人のいいおじさんでいいか！

誕生日会をした日以来だなあ・・・愛ちゃんと会うのは・・・。

まあ、愛ちゃんのことにはさておいて真一自身何を着て行こうか？

靴のいいのはあるかなあ！

若作りして行かないと駄目だよなあ・・・。

ひょっとして、ひょっとしたことになるかも知れないし・・・。

期待すること自体間違っているのに真一ったら、もう何を考えてるのやら
女房が生きてたら大喧嘩というか・・・大変なことになっちゃう

真一は真面目で女遊びなんかした事がなく、女性は女房だけという人間であつたのだが、妻と死別してからは、いくつもの人恋しい季節に負けてしまつて、最近結構遊んでいるのだ。

最近恋愛をしてみたいって年甲斐もなく思っている。

真一には、呼吸器の持病もあって、呼吸器の発作で死ぬんじゃないかと思つていることも原因になっているかも知れない。

老いらくの恋に憧れをもつていて、恋狂いしてもいいのではないかと考えているのだ。

つづく

5.知人の家にて

5. 知人の家にて

退職後にどういう風の吹き回しか、若い二人の女性と知り合った。

一人はひょんなことから、通勤での駅で道を尋ねられた24歳の原美紀。

もう一人は元勤務していた会社の女性山下愛華23歳・・・。

この二人とは、これからも出来れば仲良くしていきたいと考えている。

午後の今日、ある知人を訪ねた。

家の売却について相談するためである。

坂本さん、いらっしやい・・・久しぶりです。応接に通された。

知人は山本弘、背格好も真一と良く似ていて、互いに何か通じるところがある。

同じ年に生まれたことで相性も良い・・・。

本棚には洋書、アメリカのグロリアエンサイクロピディアなど専門書がずらり。

このような本があると何か利口そうでプライドと知識のあるイメージを受け

るが、山本には庶民的な感覚の人間で学歴を自慢するような奴ではない。

人懐こくって、親切である。

見た目にはインテリめいた雰囲気を漂わせている。

真一もそんなところがあり、理論派でもある・・・。

理工系を学んだ人間はなんだかんだ言っても公式的のところがあり、数字で結果が出るのが好きである。

そして山本とは昔の登山仲間である。

一緒にロッククライミングをしたりで、いわゆるザイルがとりもつ友人というところである。

真一の方から独身の事もあって時々ガールズトークばりのボーイズトークを始めるのである。

ひろさん・・・山本のニックネームである。

今でも山に行ってるの

いやいや、もうこの歳になっちゃうとおっくうで良くてハイキングだよ

高い山ってもう昔のことだよ・・・真さんはどうなんだ

同じだよ・・・肺気腫と喘息でもうガタガタもいいところで、山なんてとんでもない世界だよ！

ホント・・・一緒に山へいった頃が一番よかったよなあ真さん

あの頃が懐かしいよ・・・あの頃はカラビナも重くって、今はアルミで軽くなってるし、室内でフリークライミングができるジムもあちこち出来てるし・・・。

ゲーム感覚で室内でトレーニングできるんで一度は見学にいつてみたい
呼吸器の調子が良くなれば一番にやてみたいよ
そうそうこの間TVでやってたヨ衣服もファッション性のいいものが揃ってるし、
女性も多そうだよな・・綺麗な娘がたくさんいるって話だ。
美容にもいいらしい！
ところで真さん再婚はしないのかい？
この歳になると今さらって感じで、再婚なんてとんでもない・・！
年金生活だからなあ
養っていけないよ・・万一で若い娘だったら髪結いの亭主的で生活できる
けどね！
最近若い娘が好きなんだ・・。
おいおい真さん・・それなりに遊んでるのかい・・うらやましい
いやいや、もてる訳ないじゃないか？
ひろさんと同じだよ・・ちび親父なんだから・・（笑）
二人の若い女性と良い感じになりつつあるって、いくら友人でもこればかり
は話せない。

そうそう、今日は仮住まいしてる家を売ろうかと、リーマンショックから
不動産不況で、売るにしても二束三文なんだ。
誰か・・買いたって人がいないかなあ、土地値でいいんだけどね
売れば売りたいんだ。
土地230m²の約70坪、木造2階建て延べ面積35坪で間取り7K、
築33年の物件やけど安くっても550万円以上が希望なんだ
この値段でも売れそうもないんだ・・ひろさん
死ぬまで住めばいいやん・・真さん
固定資産税やメンテナンスを考えると手放して少しでも現金を持っていた
いんだ。
先も少ないし、元気なうちに若い娘と遊びたいんだ・・！！
（しまった！口からでちゃった。まあいいか）
真さんほんとかいなあ・・いいなあ！一人身は
話し相手というか食事を一緒にしたり・・！
生きていく励みというか・・元気が出るんだよ
真さんいいじゃないか・・若い娘っていいよなあ
僕なんか・・女房がいるだろう・・遊ぶにもばれちゃうよ
お茶代ぐらいならどうてことないんだけど・・ひょっとして万一にもキス
できたりして、ホテルってことになったら先立つものは大丈夫かなあって
ことで・・家を買ったらってことなんだ。

真さん未だに現役ってことかあ・・・すごいなあ

・・・売却の件は頭に入れておくよ！

そうそう・・・サッカーやってた人って精力絶倫って聞いた事があるけど真さんもカカ-やってただろう・・・身近な人がいるんだから、ほんとうだなあ

おこぼれにあやかりたいよ（笑）

・・・冗談冗談、女房がいるからね

いやいや・・・偶然にもチャンスというか不思議なことに僕でもいって声をかけてくれたんだ

いいじゃないか・・・真さん頑張れよ・・・。

でもいつからナンパなんか出来るようになったんだ？

いや僕は何もしていないんだ

・・・相手から声をかけてくれたりってことなんだ。

ひろさんと他愛のない話しなんだが2時間ばかり話し込んでしまった。

真一にとっては家に帰っても話し相手もいなし、こうしてひろさんと時々話し相手になってもらってるのである。

それじゃね・・・呼吸器に持病があるんだから真さん・・・無理しちゃだめだよ

有難う・・・また結果報告をかねて・・・また来るよ！ひろさんも元気でな

ひろさんの家を出たのが午後5時近い・・・そういえば喉が渴いたなあ

・・・お茶でもしょうか

帰り道の駅の近くにある喫茶店でも寄っていくか

こんにちは・・・真さん久しぶり・・・退職されたんですね聞きましたよ

マスターとは長い付き合いである。

僕より3歳年上なんです・・・愛想のいい小柄でチョット太って恰幅が良い・・・。

真一の周りにはよく似た背格好の人が多し・・・類は人を呼ぶってことかなあ

戦後まもない食糧事情が悪い時に、育った事が影響してるかも知れない。

まあそんなことはないと思うけど、同級生には僕より背の高い人が多くいる。

母親から聞いたのだが1貫目の半分・・・500匁（もんめ）の未熟児だったせいかも知れない。

昔にとり上げてくれた産婆さんに会った事があり、坂本さんの息子さん？

大きくなったね・・・小さくって大丈夫かなあって心配していたのよって話してくれた記憶がある。

マスターとは世間話をして・・・注文したアイス珈琲とケーキを一気に食べて、今はアイス珈琲を飲んでいる・・・。

真さん暑くなってきたね・・・この夏は電力削減目標15%だろう関西地区は？

原発が動いても10%の節電だよな？昔のように扇風機でいいんだよ・・・。

それから窓を開け放って蚊帖を使えばいいんだよ・・昔は良かった
その昔・・好きな女性の家に上りこんで蚊帖のなかで寝落ちした事があるんだ。
寝巻き姿が色ぼくって我慢するのが大変だったよ、両親が横で寝てるものだから
(笑)

そうそう・・あの時代は、熱中症なんて聞いたことがなかった。

昔は気温が低かったのとちゃうのかな

そんなことはないと思うんだが、ペットボトルなんてなかったし、水筒も持ち
歩いていないし

マスターほんとだよ・・冷蔵庫も氷屋があって、1貫目下さいって買ってきて
一番上に氷を入れていたものね!・・電気冷蔵庫なんて高くって庶民では簡単に
買えないし・・。

その代わり商店街が近くにあって・・買い物籠をぶら下げて通りを歩けば全ての
食料品が

買えたし、その日に使うものだけを買えば良かったのだから、冷蔵庫ってなくて
もよかった。

今は郊外にあるスーパーまで行かないと品物が揃わないし、不便だよな

真さん何年生まれだったっけ・・

マスター僕はもう定年からは歳を数えた事がないんだ、マスターより3つ下と
思うんだ。

真さん専門は何だっけ・・電気工学って聞いた事があったけど、原子力は詳しい
のかい?

ぜんぜん学校では習っていないよ

安全関係でエックス線障害については、衛生管理者っていう国家試験で勉強した
ことがあったけど・・家に帰れば教本があるんだけど!

このときの放射線量の単位はたしかシーベルトじゃなくレムって単位で、被ばく
線量を管理するフィルムバッジなるもので予防してたような記憶があるんだけど!
マスター?

やはり自然エネルギーが一番ですよ、昔に戻ってみるのも楽しいと思うけど!

今はとんでもないほど、便利になりすぎちゃってるから電力も多く使うしね
ほんと・・高齢者にはエレベーターやエスカレーター、ムービングウオークが
必要だしね。

原発事故で原子力発電を廃止する動きになって・・いいことかも知れないね
平和利用といっても悪魔の資源だもんね

っ

づく

6.約束の日に

6. 約束の日に

ついに夏至が・・・昼が一番長い日、忘れもしない・・・愛ちゃんと約束できた記念すべき日！

会えなくてもそれはそれで可能性が出来たと喜んでいる真一ではあるが・・・。体調がイマイチなのです。

やはり楽しい一日にするには、元気が一番だし、デイトの日にトラブっては互いに拙くなるし、真一は初めて自宅に電話をしたときに聞いた携帯電話に電話をした。

愛華です・・・ああ真一さん・・・どうかされました。今日ですよ食事は！

ごめんごめん・・・そのことなんだけど、腕があがらないんだよ

何かあったときに迷惑を掛けちゃうかも知れないし、せっかく予約入れてくれてるのに変更できないかなあ・・・。

元気モリモリの僕の方がいいでしょう？疲れきった体よりは（笑）

ほんとよね・・・そしてたら真一さんの体調が最高の時になれば電話して・・・まだ朝だから！

キャンセル料は要らないし・・・いいですよ・・・でも少し残念？

先の楽しみにしておきますね

本当にごめん・・・勝手ばかり言って愛ちゃんには借りが出来ちゃったね

会った時に話すけど・・・何か欲しいものはない？プレゼントするよ

うーん考えておくね・・・真一さん！いいの、少し高い買い物になるかも、甘えていいのかなあ

会えるの楽しみです・・・それじゃまた・・・電話待ってるね

ああーよかった・・・ほんとうにいい娘だよ愛ちゃんは・・・。

ひとつ解決した・・・あともう一人・・・美紀ちゃんにも電話しとこうか

美紀ちゃん・・・真さん・・・おひさです。時間はいいですよ・・・今日は

何かしら

実は、愛ちゃんと同じで体調が優れないんだと話して、こちらも同じように延期してもらった。

先に延ばすのはいいんだけど、素敵な女性二人と会うとなると忙しくって大変だし・・・若くはないんだから

かけもちって・・・まあいいかついつい何時もの口癖がでてしまった。

そうだ二人と会う前に、万全の状態にしておかなくちゃ

次も延期したら本当に駄目になっちゃうかも知れないだろうなあ

注意しないと

そうそう場合によっては、食事からお茶に変更して短い時間で会う事も用意しておかなくちゃ

早い時期に前もっていいところを梅田辺りで探しておかなくちゃ

ケーキの美味しいところがいかなあ、愛ちゃんってケーキ大好きだし、美紀ちゃんも前回お茶したとき、甘いのに眼がないって言ってたし・・・。

上六にもショッピングセンターが出来ているし、確か歌舞伎座があったような？なんていったか・・・ショッピングセンターの名前は、そうそう、ゆなんたらってところだった。

上六にもご無沙汰してるなあ？忘れっぽくなってくるよ

その点、携帯を使ってiモードで検索できるって便利になったもんだ。アクセスにもナビゲーションで迷わずにいけるし・・・。

食べログなんかで直ぐに分かるし、口コミもあるしブックマークで残しておこう。これで・・・身近なところをひとつひとつ、つぶしてデイトに備えるか！

腕が上らず胸が痛い件は、残っていたロキソニンのジェネリック薬品コバロキニン錠60mgを1錠服用して痛みも治まった。

毎日午後3時に服用し、今日で3日経過したが、だいぶ良くなった、体調もいい感じ！

この調子だと予定も立てれそうだ。

元気が一番だよほんとうに・・・。

ある夢を見た・・・。

KISSって僕より背の低い女性が背伸びしてチュウしてくれるのがチビ親父としては最高のシチュエーションなんですが・・・憧れていた夢を見てしまった。それも、女房じゃなく美紀ちゃんの夢、夢の中なのによくもまあ・・・！

楽しいことばかりなんだ

年老いてもこんな夢をみるんだあ、世の中捨てたもんじゃない。

夢なのに、夢を与えてくれるって幸せ・・・真一って狂ってる。

重たい自動二輪に乗っているし、息をするのが他人が分かるほど、呼吸音を発しながら、はあはあ言ってるようだから、知らない人は何処から走ってきたのだろうってこの人！ということになってしまう。

こんな情けない体の状態を真一は好きではないので、階段では電話をするふりして休んでいるし、カムフラージュするには携帯って格好のグッズであるのだ。そして階段を避けるためにエスカレーターやエレベーターを探して、呼吸が楽になるように注意している。

ある日のこと、昼食に出かけたときである。

店に着いたのはいいいが、そこでハアハアとしている。

このまま店に入ればチョットまずい・・・。

後に続いて店に入る人がいて、とっさに携帯電話をとりだし、メールをするふりをしてカムフラージュ、そこまでしなくてもいいのになって思うのだが、人に弱いところを見られたくないのである。

このために席の空くのを待つことに・・・。

何せ・・・無職って急ぐ事がないのだから（笑）

ここ最近、何時間でも待ってられる気の長い性格に少しはなってきたようである。

時間を持て余してる現実がそうさせているかも知れないが、急いで何々をしなくちゃってことが無くなって、1年近く経つと今までせっかちだった性格も少しはゆっくりとなり、また走ったり、早足で歩くのが負担であり、高齢者や身障者が歩くスピードに自分自身がなっていることに納得できるようになってきた。

この調子だと健康な人のような動作をすることは無理かも知れない。

生涯現役で働くことが夢だった真一にとっては満足できない事実なのだが！このようなゆっくりしたことが気持ちにも表れていい面がでてくるのかも知れない。

二人の女性といい感じになれるって、信じられないことが起きたものだから・・・年をくったり、呼吸器に持病を持ち、動作がゆっくりなるっていいことかも知れない。

人の話をゆっくり聞けるようになったし、昔のような気ぜわしい会話とならず落ち着いた雰囲気がいいのかなあ！

まずはマイペースで、二人の女性とも・・・なるようになればいい。

そんな気がしている。・・・そしてこの頃の日常は、テレビを見ないし、新聞を止めていて新聞も読まない・・・随一の情報はラジオなのだ。

そしてインターネット、今までの普通の日常とは違った日常変革？

眼で見ない分、耳で聞いて詩を書いて、辞書代わりに携帯電話を使って漢字を調べたり・・・。

小説風の文章を書いてみたり、暇つぶしとは言えない何故か充実した気がする毎日なのである。

だから、その証拠に一日の時間の立つのが早いのである。

そして・・・うれしい不安！

そうなのだ・・・例の二人の女性・・・。

真一にとっては・・・今は最大の関心事なのである。

7.麗しき日々

7. 麗しき日々

朝の爽やかな空気と木々の緑が空の青に映えて、初夏の美しい朝模様に出会った。

梅雨も終りのある晴れた日に、陽光は葉の雫の輝きを増して、枝にはカタツムリが宿っている

遅い動きからして、高い枝までにどれだけの時間を費やしたであろう？

その道程を注意深く見つめていたいものであるが、そんな時間は今は真一には無い。

しかし、本当はゆっくりと観察してみたいのであるが、一人の美しき女性を見るのとは訳が違うのである。

いろいろと理屈をつけていないで・・・暇な人間なんだから一日中張り付いて、このまま時間が過ぎてもいいのではないか？

いずれその道程を知っておく事も無駄ではない。

作家もいいかなあと昔からの夢を追いかけて、新人小説に応募してもいいかなと思っている真一なのである。

もともとポエムが好きで室生光（むろうひかる）のペンネームを持っているし、過去には自費出版、出版社との合同出版（商業ベースの出版でない、自費出版との中間の扱い）をしていて、少しは詩人めいたことをしている。

—初夏の朝—

小鳥たちのさえざり
窓いっぱい日差しを受けて
開け放った窓からは
心地よい風が吹きぬけ
庭の木々は青々として
緑の葉は真珠のような
雫を持ちて輝き・・・

坂道の我が家からの

ふもとの景色は
いつもと違った
初めての夏もようになった

麗しきかな初夏の朝
小鳥がさえずりが
消え入る頃に
何故だか
いつか何処かで
見たことのある景色を
思い出してる自分がある

まあこんな感じの自然をテーマにしたポエムであったり、女性との愛や恋のポエムであったり、ポエムを書いていると心が落ち着く今日この頃なのである。

今度出版する時には、スケッチの挿絵や写真などを挿入して、その挿入した絵にマッチしたポエムが出来れば一番いいのではと思っている。作家というと、これで飯が食えなくても世間体としては、何か鼻が高いイメージがある気がしていて、真一は満足している。

勝手な自己満足ではある。

無名の頃の作家は食べるために学校で講師をしながら作品を書いていたり、日雇い人夫をして働いていたとも聞いているので、大変なことであるのは間違いない、専業の作家になるのはほんの一握りの人たちであろうことは充分承知している。

年金を貰えるこの時こそ、そして無職になった今こそ・・・暇つぶしではないにしても時間の余裕を有効に昔の思いを実現するために、楽しく書いていこうという気持ちで作家活動が出来ればと思うのである。

分類など公の職業としては、著述業になるであろうこれからの生活に少しは希望を持ちたいと願い、趣味の著作から何かの拍子で収入が得られればそれはそれで良しと考えている。

最近のニュースで生活保護者が就職活動するにその賃金が生活保護の支給額より低いと言うその現実からか、なかなか生活保護からの脱却できないと言う。

就職して働いてもらわないと生活保護費が市の財政を圧迫するであろうし、

職につくことが出来ない本人にとっては、働きたいが働けば社会保険料等の税金を払わねばならず、手取りが少なくなって生活保護を受けてる方が楽であるということになる・・・。

要は憲法で定める健康で文化的な生活には程遠いことじゃないか。

いずれにしてもこのような世の中になっていること事態、今までの無策の政治ではなかったのかと思うこの頃である。

働ける年代の生活保護受給者に対しては、不足の年収分を補助することや、税の免除、また昔の失業対策である日雇い人夫・・・昔の表現であるが言葉を変えれば臨時雇用になるのであろうか・・・？

何らかの仕事をしてもらう対策も必要であろう。

真一はこんなことを考えたり、これを題材にして何か小説が書けないか、そんなことを思っていたり、思ったことを書きとめて詩のテーマにしたり、何もしないでぼーっとして過ごすには時間が無駄であって、何かを書く事が一番いい方法じゃないかと思っている。

まあまあ、このようなことよりも、まずは二人の若い女性のことを少しは決着しておきたいのである。

デートもせずに別れてしまうってホントもったいない事だし、明日の希望につながるハッピーな事を成就したい。

日常生活にもいい意味で大きな影響となるこの出来事を大切にしないとけないと思うのだ。

そして、このことを含めて将来のストーリーだけは描いておかねばと思うのである。

それと先日、勤務中に取得した国家試験の義務講習が迫っていて、大阪に出向くことになることから、この日にまずは愛ちゃんと会って食事が出来ればいいなあと思い、早速電話をすることに・・・。

もしもし・・・愛ちゃん・・・こんにちは
坂本さん、こんにちは・・・元気そうですね
例の件ですね、何時がいいですか？

そうなんだ・・・大阪への用事が出来たんだ
その日でいいですよ・・・楽しみにしますね

そうそう・・・坂本さんって呼ばれると何か会社時代を思い出し、なんか部下上司って感じなんで・・・真さんでいいよ！

ほんとだ、私もこれからは何て呼んだらいいんだろうって思ってたんですよ
二人きりだと真さんって呼ぶことにしますね・・・。

真さん・・・いい感じです（笑）

うれしいです・・・少しは恋人らしいイメージになりましたね・・・。

真さんて、うわあ恥ずかしい

何度も呼んでみたりして

私のことは今までどおり愛ちゃんがいいですよ、その方が慣れてるので・・・。

私も好きなんです

それじゃ当日よろしく

そしてたらね・・・真さん（笑）

まあ、電話で話しが弾んでも仕方がないか、でもこれも大切なことだし、

仲良くなっていたいし、とりあえず二人で美味しい食事でもして・・・。

それからだな

当日は例のイタリヤ料理だったっけ、実は僕が延期したお詫びに日本料理にしよう変更することにしたのだ。

暑くなってきたし、日本料理ってめったに食べに行かないし、そのことを愛ちゃんに伝えると・・・。

ほんとう・・・いいのご馳走してもらって

いいよその代わりお店は任せるから

予約しておいてくれないかなあ・・・。

いいわ、お安いことよ、それじゃ楽しみにしてますね

つづく

8.初めてのデート（1/2）

8. 初めてのデート（1/2）

ついに・ ・ ・ その日が来ました。

愛ちゃんとの食事会・ ・ ・ そのあとは、どうなるのだろうか？

・ ・ ・ ドキドキします。

真一はこの日のために、翌日は2時間ごとに眼が覚めて・ ・ ・ また、なかなか眠りにつけずにいたのです。

そして、5時30分に起床・ ・ ・

今日の講習会の持ち物・ ・ ・ 受講票、筆記用具、取得した消防設備士という免状、何かしら大変そうな資格の名称です。

受付時間に間に合うためのバス時刻は、午前7時31分、なにかアクシデントがあってもって1本早いバスを乗ることにした。

この時間帯は何度か利用していたことのある時間である。

そして何事もなく駅に到着・ ・ ・ 乗客も夏休みで学生達が少なくゆったりしています。

バスを降車の時もスムーズに2分後のU町行きの快速電車に乗れるかも知れない。階段を駆け上がれば間違いないのだが、今の真一には呼吸器疾患があり無理なこと。

エレベーターの降りてくるのを待つことに、ホームについて扉が開いて・ ・ ・ ピーっと笛の合図で発車してしまいそんな感じがエレベーターの窓から見えている。

この時、車掌がじっとエレベーターの方を見ていて・ ・ ・ ひょっとして笛を吹き旗を揚げるのを待ってくれてる様子である。

少し期待をもっているものの、今までだったら電車が動き出していることが当たり前なのである。

真一は車掌と眼が合い・ ・ ・ 手を上げ乗るまで待つて欲しいとのサインを出した。

OK・ ・ ・ こんなことは生涯で初めてのこと。ホントにラッキーです。

今日は何か言い事がありそうです。

愛ちゃんと食事会もそうだが、この出来事は・ ・ ・ 他にいい事がありそうです。

7時49分の電車に乗る事ができたのです。・ ・ ・ 受付開始の9時30分までには余裕です。

目的地の駅には9時少し前に到着です・ ・ ・ 呼吸器の発作が起き、反動で失禁してもいけないし、まずはトイレに向かいました。

駅を出てからは、メインバンクのATMで残高確認・ ・ ・

よしっと！

講習会での昼食を同じビルにあるレストランに行ってもいいのだが満席ならば・ ・
近くで別の食事場所を探さねばならず、駅の構内にある・ ・以前から気になって
いた弁当屋さんで500円の幕の内弁当を買うことにした。

見た目には少し贅沢感があってなかなかいい。

そして講習会場へ向かいます。

そうそう、もう夏なんだ・ ・蝉の大合唱が行く道すがら聞こえてくる。

この時間そろそろ暑くなってきそうである。

今日は暑そうだなあ・ ・。

でも木々は風でそよいで少し涼しい風が頬をくすぐります。

この会場は何度か行った事があり、確か前回の講習もこの会場かと・ ・知ってる
場所なので気分的にも楽し、時間も計算できる。

愛ちゃんとの今日の予定も講習中に考える事が出来そうである。

うーん、まあ・ ・ありのまま、勤務していた頃のようにマイペースでいけば
いいと真一は思った。

講習会は丸一日・ ・9時30分から17時までである。結構きつい講習会なのだ。

そして最悪なことは、講習が終わって終了試験がある。

いつもの事ながら、これが無ければ講習も結構なことだが・ ・講師の先生の話では、
東京地域においては採点をして成績の悪い人には再度講習をお願いしてるらしい
とのことである。

一応この資格、国家試験の合格者であって正規のルートで免状を取得しているので
それは無いだろう、講習費用も7,000円と高いことだし、業務に携わっていな
ければ受講しなくてもいいようなものである。

危険物の取扱者免状は取り扱いを始めてから1年以内に受講すればいいのに、同じ
消防関係の資格でもえらい違いだ。これこそ事業仕分けなんたらで簡素化すれば
いいのに！

今日のテキストは、前回のテキスト3冊が今回は1冊となったのも事業仕分けの影響
ですよっと講師の先生が話していた。

業務に就いていない今は、ペーパードライバーのような人にまで講習を受ける義務が
あるなんてそれに係る費用といたら馬鹿になるまいに・ ・。

前にも聞いた事があり、その理由は技術の進歩、法改正など5年も経てば大きく
変わっていて新しいものも出来てくる現実があるようだ。

そうそう・ ・いろいろ考え事をしている間に講習も佳境に近づき、いよいよ考査が
始まり、制限時間30分のところ10分少して終了試験の考査の答案用紙を提出、
受講済みの証明印が押された免状をもらって、これからは愛ちゃんとのデートタイム
になる。

いそいそと待ち合わせの場所に向かうのだが、歩行で呼吸も弾んでいてテキストが重たくってトートとバックに入れると肩に食い込むような感じで息苦しい。駅方向に向かう途中で携帯が鳴った・・愛ちゃんからである。

つづく

8.初めてのデート（2/2）

8. 初めてのデート（2/2）

真さん・・・ですか？

今何処なんですか

うーん今は駅の近くなんだけど

ホテルの日本料理のレストランを予約していて、予約の再確認しちゃったんだけど、実は私・・・今日は仕事を休んじゃったんです。

・・・そしてもう近くまで来ているんですよ

駅近くのホテルですよ、真さんの講習場所を聞いていたものだから、万一体調の事も考えて勝手に決めちゃったんだけど、良かったかしら？

私はいいとして真さんが帰るのに便利かと思って・・・ちょっと高いけど、どうぞご馳走になるのだからと思って（うふふ）

愛ちゃんに任せただからいいよ、気を使わせてごめんごめん、そこでいいよ。

・・・有難う。

Kデパートの入口付近で待っているから・・・真さんの所からなら5分もあれば着く

はずかと思うけど、それじゃ待ってるね、あと少しよね、それじゃあ

そうそう黒のミニスカートに白のブラウスだから・・・。

駅に近づくにつれて、会社では会っているもののこうしてプライベートで会うなんてと思うと何故かドキドキしてくる。

デパート近くまで来ると入口に久しぶりに見覚えのある可愛い愛ちゃんが立っている。事務員的な服装なのに今風の女性だなあ、やっぱりいい雰囲気である。

黒のミニスカート、白いブラウスは襟元は黒のアクセント、髪はポニーテール・・・水色のシュシュ、靴は白地に黒のアクセントがあるスニーカー風、上手にコーディネートしていて清楚ないでたち、白いトートバックを肩に掛けている。

愛ちゃん・・・待ったあ

真さんお久しぶりです・・・お元気そうですね・・・良かった

いやいや外見だけは元気だけだね

ここまで少し歩いただけでゼイゼイ言ってるよ（笑）

勤めていらっしゃる時は歩くの早かったのにね

大阪人丸出しのせっかちな歩き方でしたよね？

私なんか追いつくのが大変だったし苦しかった。

ハンディが出来たようだから、これで同じ歩調で歩けそう（笑）

うまいこと言うよね愛ちゃんって・・・歩調を合わせて一緒に歩いていたけどね、冗談も
うまいよ

真さんの指導が良かったみたい（ウッフ）

それはそうとエレベータにするエスカレーターにする？

デパートのエスカレーターで行き、途中でホテルのエレベーターにしますね

実は私・・・予行練習しているんですよ

さすがにここでは手をつなぐ事も出来ないよね・・・愛ちゃん。

同じ年代なら見た目にも問題がないが、親子ほど歳が離れてるとやはり抵抗があり

駄目だよ

真さん・・・腕組もうか

親子なら手をつなぐよりこの方がいいみたい・・・そして自然な感じ

僕の腕に愛ちゃんの胸が当たっている。

これはいい・・・少しはいい意味で期待が持てるかもしれないって真一は思うのである。

そう言えば新地のクラブに通っていた時、若い娘と同伴の時には決まって腕を組んでいたような

デパートのエスカレーターでは追い越す人もいるまい。

そしてホテルへの通路を腕を組んだまま歩いて、エレベーターの前まで来てボタンを押した。

僕たちの後ろには誰もいない・・・待つこと10秒ぐらい、エレベーターの扉が開き、中から男女二人が降りてきた。

ほう・・・僕たちと同じような歳の差に見える。

僕の見たところでは同じような感じで、親子に見えなくもない。

愛ちゃんと顔をあわせ、互いにおじきをするような仕草でうなづきあい微笑んだ。

僕たちと同じようなカップルだったね愛ちゃん・・・。

ほんと・・・真さんとは腕組みしていても違和感がないでしょ？

・・・だから腕組みしたのですよ

目的の階までは二人っきり、最上階のレストランまでだから少しは時間がかかりそう

エレベーターでの二人きりってめったにないし、駄目もとで愛ちゃんの手を握って引き寄せてみた。

すると愛ちゃんは目を閉じあごを少しあげたのです。

本当にいいのかなあ・・・抱き寄せて唇をあわせたのです。

チーン・・・到着のチャイムがなった。

・・・着いたね、愛ちゃん・・・抱き合っていた体を離れ、エレベーターを出た。

待っている人はいなかった。

・・・愛ちゃん、突然でびっくりしただろう！

真さんとキスしちゃった（フッフ）

エレベーターの中でキスしたかったのですよ・・・初体験でうれしいです。

実は・・・期待してたんですよ

今からがプロローグですよ真さん・・・今日のご馳走になりますね

つづく

9.蝶の恩返し（1/2）

9. 蝶の恩返し（1/2）

愛ちゃんとホテルの最上階にあるレストランについた。

奥にあるのが今日の日本料理店・・・扉を開け、のれんを潜って入っていった。いらっしやいませ・・・予約していた山下です・・・女将のような人が席まで案内してくれた。

ところで数日ほど前になるが、自宅の庭にくもの巣があちらこちらにあるのは知っていたがある日の朝、そのくもの巣にアゲハチョウがかかっている、可哀想に蜘蛛が近づいてきて危うしといったところで助けたのです。

真一が蜘蛛の巣を取り払うとアゲハチョウは、羽根をゆっくり動かし始める。

まだ生きてるんだ・・・よかった、よかった

アゲハチョウを空に放って、飛び立つのを見送った。

アゲハチョウは真一の周りを数回旋回している・・・なにやらお礼の挨拶のようだ。

その後アゲハチョウは青空の中に消えていったのであるが、愛しい女性と別れたような錯覚の中に真一はいた。

昔に仲良くしていたある女性を思い出していたのである。

そういえば、愛ちゃんとどこか似ているような、今になって思い出してみると偶然ってこんな事じゃないかと思うのである。

前世がどんなものかは知らないけれど、相性が良くて事は、遥か昔は同じ先祖じゃないかって真一は思っている。

助けたアゲハチョウが愛ちゃんとの事を導いてくれたのかも知れないと思うのである。心当たりからして、当たっているみたいでもある。

今日までのいきさつからして、この世では考えられないような不思議な出会い・・・真一は助けた蝶が仲をとりにってくれたような気がしているのだ。

今日の出かける時に・・・同じようなアゲハチョウが庭先を飛んでいたのだった。

この出会いは夢のようなものであって、大切に育てて行きたいと真一は考えている。

こんなうだつの上らない、イケメンじゃないチビ親父に若い女性が連絡してきて、こうしてキスもしちゃって、二人きりで食事をしようとしている。

こんなことって一生に一度もないであろう奇跡の出来事だし、これから先はどうなるかは知らないが真一にとっては生きていて良かった的で素敵なできごとに違いないのである。

店はカウンター席とボックス席になっていて、カウンター席には回転寿司的な感じになっていてお造りやら少し高いネタの寿司が味わえる。

茶碗蒸しはもちろん、ハマグリの吸い物やあさりの味噌汁もあり、また天婦羅も注文

できる。

二人ずれだと、このような店ではカウンター席が似合ってる気がするし・・・！。

愛ちゃんどうする？

私はカウンターが好きなんだけど

そうなんだ、それじゃカウンター席に座ろうか

愛ちゃんを端の席へ僕は右側に座ることにした。

愛ちゃんの隣に他人が座るのって、ましてやそれが男性だったら・・・真一のほうが気にいらないのである。

愛ちゃん・・・この店には良く来るの

少し高いところなので月に一度か二度ってとこでなんです。分かってらっしゃるとおりお給料がそこそこだし・・・（笑）

普段はお財布に優しいところを利用してるんですが最近では自炊に目覚めて楽しく作っています。

真さんが自炊してるのをブログで見て刺激されたし、男性が自炊するって大変なんでしょ？

いやいや初めはそう思ったんだけど、自分でするって頭を使うらしくってこの歳ではすごくいいみたいなんだ、脳が活性化するって言うかメニューを考えるのが良いらしいんだ。

そして自分で作っていると、女性の気持ちも少しは分かるようになってきちゃったんだ。

話の話題に事欠かないしね

真さんの自炊してるのを見てみたいです

一度私のところのキッチンで作ってるのを見せて欲しいです

一緒にスーパーへ行って買い物して、レジ袋を持って真一さんと歩くと親孝行してるみたいで時には恋人って感じでもいいし、なんか楽しいような気がしています。

私のところは父を早く亡くしているので・・・じつは母は実家で姉と一緒になんですよ

真さんから電話を貰った時・・・たまたま実家に居てたんです。

今住んでるところは、3階にある2LDKですけど小綺麗なマンションで0-0も安いんです。

不動産不況だから中古マンションなんだけど500万円少しで買っちゃったんです。

今は女性でも手軽に住宅0-0を利用できるんです。

エレベーターを出てから直ぐの端っこだから、真さんと一緒に部屋に入っても誰にも分からないし、秘密の部屋って感じなんです。

そうそう、ところで愛ちゃんとかこうしているって、なんか夢みたいなんだけど、ここで理由なんか聞くのも野暮なことなんだけど・・・どうして僕なんだろうか

最初がブログへのコメントであって不思議だったんだよ

めったにコメントなんか所は見ないし、チェックもあまりしないんでビックリしたよ

初めて会ったときから気になってたんだ・・・告白するけど！

実はね・・・夢を見てて真さんが出てきたのよ

いつもは夢なんか見ても眼が覚めると覚えていないんだけど、夢の中にアゲハチョウが出てきて真さんの所に案内してくれたのですよ

話したとおり父は早く亡くしていて真さんさえ良かったら父親代わりというか、歳の離れたおじさんというか恋人がほしいなあって思っていたんです。

私って若い男性より真さんみたいな人が好きなんです・・・会社にいた時に言えば

よかったのになって後悔してたんです・・・私ってファザコンなんですかね

自分の全てをさらけ出せるって・・・アゲハチョウがしゃべるんだから夢の中で！

こんな夢ってのはじめて見たし、私も最初真さんに会って会社案内してもらったから今の会社に入社したのだし、むかしから良く知っている男性のような気がしていたのですよ。

信じてもらえないかも知れないけど、会社では人の眼があるから

愛ちゃん・・・有難う、うれしいよ・・・そこまで気にしてもらって

ほんと告白と、より親密な話になってしまい・・・これから希望のある楽しい日になるような気がして内心バンザイしている真一である。

幸い僕の隣には客はいてなく・・・聞かれる事がなくってよかった。

気分がうきうきした心地よい時間である。

こうなると・・・美味しいものを早く食べて二人きりになりたいと思う真一ではある。

しかし、ここは愛ちゃんのペースに任せないといけないと考えた。

愛ちゃん・・・！

えっ！なあーに真さん

ほっぺ・・・つねってみて

こう？

もっと？

痛い・・・！

ごめんね真さん・・・強かったみたい

いやいや、僕が言ったんだから・・・夢じゃないみたい

真さんって・・・子供みたい（フッフ）

愛ちゃんと会ってること自体夢じゃないかと

（うつむいて笑いをこらえている）真さんって面白いこと言うから

アハハハ・・・ふふふ二人して声を出して笑った

隅の席であり、お店にはBGMが流れているし会話も笑い声も周りの人には聞こえてはいない様子である・・・。

他の人も話してるのだが・・・ここまでは聞こえていないし大丈夫だ。

つづ

9.蝶の恩返し（2/2）

9. 蝶の恩返し（2/2）

真さん・・・もう入らない・・・たくさんいただきました。そろそろ出ましようか？

じゃあ勘定にするよ・・・「すみません」

少し大きな声で・・・おあいそ、お願いします。

1番さん・・・お勘定お願いします。

愛ちゃんと二人でレジに向かいます。

丁度・・・10,000円になります。

真一は、それじゃこれでと財布からお金を出します。

お店を出て・・・。

真さん・・・ご馳走さまでした。

いやいや、今日はこちらこそ・・・有難う、楽しかったよ、また来ようね、なかなかいい店だし、話しやすくて雰囲気もいいし、時間的にも6時そこそこだったし、今度はボックス席もいいよね

真一は愛ちゃんが腕を組んできたので、笑って応じた。

いいの愛ちゃん・・・親子じゃない感じだよ

いやいや・・・ヤッパリ親子って感じかなあ

愛ちゃんの耳元で・・・親子ならキスなんかしないよね

ほんと・・・真さん、恋人ですよ今日は

まだ、時間は7時頃だし、お茶でも行きましようか？

次は私をご馳走させてください。

私の方が安くってごめんなさい。

駅近くにあるスイーツのある喫茶店に向かって腕を組んで歩いていく。

こんなところで会社の人に見られたら・・・愛ちゃん大変なんと違う・・・。

大丈夫ですよ・・・この辺りって会社の人には知らないもの、もし会ったと

したら知らない顔して、よく似た人がいるものねって言うことにします（笑）

退職した坂本さんと愛ちゃん・・・U駅付近で見かけたよってなったら大事件だよ

でもそうになったら偶然に会っちゃって、昔話に話しが咲いてご馳走になっちゃったって言うから！

そうそう、この辺り私良く知っているんです・・・昔アルバイトしてたから

ケンタッキーの裏側の通りにホテルがあるでしょう、その近くに仕事の用事が

あって何度か行った事があるんですよ、外観が可愛いホテルで・・・一度は入って

みたいって・・・興味あったしどんな人と行くんだらうって思ったりして・・・。

真さんと行くんだらうかって（フッフ）

冗談が上手いんだから愛ちゃんって・・・本気にしちゃうじゃないか

天真爛漫な、少しエッチな方向の愛ちゃんの会話は会社にいた頃と比べれば想像もつかない真一であるが、それはそうだ！3年間会社に勤めていれば大人の女性になるだろうし、もう男性を知っていても不思議じゃないし、こんなにも可愛いのがから。真一は未だに夢の続きのように思っているのであった。

こうして自分をさらけ出して話してくれる愛ちゃんを愛しくってたまらないのである。まあ、焦ることはないし成り行きに任せようと、やはり今日は愛ちゃんのペースで行こう。

真一は自分からは誘わないでおこうと心に決めた。

赤裸々に欲望をさらけ出すのは真一自身は好きでない。女性と遊ぶことでは損な性分である。

そして目的の喫茶店に着いた。

入口にメニューがイーゼルに掲げられている。

写真では美味しそうなものばかりで誘いの文句もなかなかセンスがいいし、フラッペ、ケーキ、シャーベットなどなど女性なら大好きなスイーツがいっぱいある。

真一も酒を止めてからは、甘いものには特に気になっていてケーキを定期的に食べないと禁断症状になるし、ケーキバイキングも一度は行ってみたいと思っている。

真さん何がいい？

私はフルーツフラッペにするけど

僕もそれで良いよ・・・二人は顔を見合わせ・・・それじゃ入ろうか

奥の席が空いてるし、外の景色もいい感じだし

いらっしゃいませ・・・お好きな席へどうぞ

何になさいますか？お待ちしていいですか、それともあとにしますか？

決まりましたらその釦をお押しになって下さい。

もう決めてますので・・・フルーツフラッペにして下さい。

私も同じで・・・。

このショップの女性スタッフの制服・・・このメイド服すごく可愛いでしょう

真さん・・・実はここでバイトしていたんですよ・・・短大の時ですけどね

ミニスカートで胸のところが可愛く開いているし、フリルが素敵だし、ねえっ見えたでしょう！

えっ・・・

気がつかなかった、持ってきたときに良く見てみるよ、おしぼりで顔を拭いてたから！

1回見そこなったから、次は二度見しなくちゃ

まあ真さんたら・・・男性っていつになってもエッチなんですかあ（フッフ）

愛ちゃんみたいな人だったら特にね・・・！

一緒だともっとエッチになってもおかしくないよ

それじゃ会社の時に・・・私と一緒にの時もそうだった？

会社の時はそんな不謹慎なことは考えたことはなかったよ、一応役職者だったし・・・。

うそうそ・・・ほんとうは愛ちゃんっていいなあって・・・パンちら事件があったでしょ覚えてる？

うん・・・覚えてますよ・・・。

あの時白いパンツだったよね

それはそうと、今日のようにこうして二人きりで会っていたらと思うと幸せな男だって思うよ

ありがとう・・・少しは女性として見てくれてたんだ

お待たせしました・・・フルーツフラッペです。

メイド服のスタッフの方がテーブルに注文したフルーツフラッペを置いたときに胸元がチラリッと・・・。

スタッフの方が去ってから・・・愛ちゃんほんとだね・・・見えちゃったよ

いい胸みただけけど・・・愛ちゃんの方が好きだよ・・・拝みたいものだ

ありがとう・・・真さん、ウソでも本気にしておきますね

そうそう足も愛ちゃんの方がきれいだよ

もうお一真さんたら・・・世辞が上手いんだから

他愛のない会話であっても、二人っきりだとすごい会話をしてるみたいで、次はどんな引き出しから話しがでてくるのか真一はドキドキしている。

愛ちゃん1ヶ月前だけど！

真一は例のアゲハチョウを助けたことを話したのです。

愛ちゃんが夢の中で見たアゲハチョウなんだけどどんな形というか特徴はどんな感じだった？

えっと覚えてますよ・・・白と黄色の斑点の模様がすごくきれいで小さめだった。

そうなんだ・・・僕が助けたアゲハチョウとよく似てるよ・・・こんなことってあるんだこれってすごい！

アゲハチョウが真さんに会わせてくれたのかも知れないですよ

私もいい夢見たんですよ・・・こうして現実になってるんだから！

夢の内容って覚えてるの

私・・・普通は忘れてしまうんですけど・・・。

もじもじしながら恥ずかしそうに話し出した。

実は・・・真さんと恋愛してるのです・・・あの夢から真さんの事が気になって、退職した人なのに・・・って。

それとあの頃は少し憧れていたんです真さんのこと、でも歳が離れているから諦めて

たんです。

ブログをしてるって教えてくれていて、知っていたし・・・。

メッセージというかコメントしてみよっと言うことになったんです。

そうなんだ、最初に愛ちゃんからコメントがあってビックリしたんですが、そうだったんだ・・・！

これも縁というか、前世からのプレゼントというかアゲハチョウのおかげだよ

真さんに会えてよかった

僕もだよ愛ちゃん・・・。

これを機会に仲良くして下さい。

いえいえ私の方こそ・・・こんな女ですけど可愛がって下さい。

・・・それから甘えさせて下さい。

それからは、今の会社のことや互いの近況をいろいろ話してますますいい感じに時間が過ぎていきます。

歳の差なんて・・・男女の間では関係ないよねっと二人とも納得したような気持ちになっていた。

真さん・・・次はいつ会えるの

愛ちゃんに任せるよ・・・働いてるんだから

そしたら帰ってから予定を見えます・・・。

今日はありがとうございました。

つづく

10.突然なこと（1/2）

10. 突然なこと（1/2）

名残惜しい感じで喫茶店をあとにした・・・。

午後8時近くになると辺りはもう暗くなっていた。

真一の好きな黄昏の時間は過ぎてしまっていて、あたりはネオンが輝き、大人の世界になっている。

そして、道行く人も恋人同士って感じの二人ずれが多くなってきた。

愛ちゃんとは腕を組んだままである。

やわらかないい感じがする。

胸にも時々あたるような感じで・・・妙にそわそわする。

愛ちゃんがもたれかかってくるような姿勢になって、耳元で真さん時間まだいい？

えっ・・・！

僕はいいよ愛ちゃんさえよければ

ちょうど帰り道の通りにあるホテル街に近づいている。

真さん・・・低い声で・・・甘えてもいいですか、今日はだめですか？

まさかのまさかである。

少しは期待していた真一ではあるが、驚きと愛ちゃんの積極的なことに心の中はどぎまぎしているのだ。

いいの愛ちゃん・・・帰りが遅くなっちゃうよ

今日はいいいのです・・・私一人で淋しいんです。

そうか・・・そしたら僕も青春時代にタイムスリップしようかなあ

でも・・・肝心なところが元気になるかは分からないよ愛ちゃん、ほんとうにゆっくりしていいの？

朝帰りになっちゃったりして・・・僕はいいんだけど

真さんと朝ごはん一緒にしたいんです・・・それと甘えたいんです。

きらびやかなネオンが少ない、入りやすい感じのホテルに近づいた。

じゃあ入るよ

ええ・・・。

さっと中へ入るよいいね

愛ちゃんの手を引いて・・・それって（笑）

手を握ったまま・・・部屋の案内表示のディスプレイに見入っている。

・・・どの部屋にする愛ちゃん！

どこがいいかなあ・・・鏡のあるところにしようか、ベットもいい感じだし

愛ちゃんは顔を赤くしている・・・そこにして・・・そして目的の部屋の釦を押した。

303号室・・・エレベータの3の釦を押して中に入る・・・。

二人とも・・・もう待てないって雰囲気になって抱きしめあってキスをした。

エレベーターの扉が開く・・・部屋はランプが点灯していて直ぐに分かった。

部屋に入ると・・・宿泊の釦を押した・・・扉からカシャッと音がして扉がロックされた。

これで願っていた本当の二人きりになった。

玄関口で抱き合っって・・・またキスをする。

エレベーターでは時間が短かったし・・・この部屋では邪魔をするものは何もない。

長いキスである。

キスを終わって部屋のなかに入る・・・なかなかいい雰囲気である。

ダブルベットが何故か眩しくって・・・そして新婚さんの部屋のようにだ

とりあえず応接セットの椅子に座ることに・・・。

真さん・・・やっと二人きりになりましたね

・・・なんかうれしくって！

早く二人だけになりたかった。

いきなりって・・・やっぱり恥ずかしくって

ごめんごめん・・・僕が強引に誘えばよかったんだけど

・・・こういうの疎くって気を使ってもらってごめんね

真さんって雰囲気がいいし、その気にさせてくれるんだから

真さんって遊んでいるんでしょ本当は

そんなことないよ、独身が長いと何度か遊んだことはあるけど愛ちゃんみたいに

素敵な女性って初めてでドキドキしてるよ

そうそう・・・湯を落としてきます・・・熱い方がいいですか？

僕って明るく熱くってが好きなんだ

そしたら熱めに43度ぐらいにセットしてきますね、熱すぎたら水を入れれば

いいんだから

湯が張れるまで、ラグ風椅子に座って・・・お互いにキスをする。

口に舌を包むと美味しいプリンを口に含んでみたいでいい感じがする・・・。

真さんってキスが上手・・・なんですね？

うっとりするわ

ブラウスを脱がし、スカートも脱がし・・・愛ちゃんを下着姿にしてしまった。

今度は愛ちゃんが真一を脱がしていく、ワイシャツの釦に手をかけ途中までで頭から

脱がすのです。

少しあせってるような感じ、そしてベルトを外します。

・・・次は真一の番である。

ブラをとるね、うわあーきれい、そして大きい。

次は愛ちゃん・・・真一のランニングシャツを脱がします。

ちょうど交互に脱がしっこしてるみたいだ。

上半身が裸になったところで二人は抱き合うことに・・・弾力のあるバストである。

愛ちゃん・・・すごい！！

なんか元気になってきたみたいだよ・・・愛ちゃん

背後にまわって、愛ちゃんの胸を両手で覆うと手からはみ出してしまう。

・・・なにか刺激的って思う。

つづく

10.突然なこと（2/2）

10. 突然なこと（2/2）

お湯が張れたようである。

・・リリンリリンお湯張りがおわりました・・音声が聞こえてくる。

二人は裸で抱き合ったままである。

お風呂が湧きましたよ

真さん・・そろそろお風呂へ行きましょか

真一はこのようなことを期待はしていたものの、まさか今日の日に現実になるなんてと思うのである。

男女ってこんなものなのかなあ、純情な愛ちゃんですえ男性が恋しくなるんだ。

淋しかったんだなあ・・可哀想に

そうそう・・風呂が沸いたのだったね・・愛ちゃん行こうか？

続きはまたあとでってことですよ・・真さん

二人は・・手をつないで浴室へ

真さん、汗を流しましょ

こうして一緒に風呂に入るって何十年ぶりだろう？

女房とは別々に入っていたし、独身になってから・・好きな人と入るって新婚の時以来で感激だよ

浴槽はさすがに一般家庭とは違って大きいし、浴室も広い・・。

マットもOKな広さである。

これなら二人が入ってもゆっくり洗えるし・・いいね愛ちゃん

真さん、洗いっこしようか

そうだね・・じゃあ先に洗ってもらっていい？

それじゃ上から洗っていきますね

・・向き合って洗うって見せっこしてるみたいで恥ずかしいけど

それと明るいから照れちゃいますよね

愛ちゃんはきれいな肌だし、バストも形がいいし張りもいい、さすが20代の若い体だよ

Eカップはあるの愛ちゃん

ええ・・88のEカップなんですよ・・真さんってEカップってきらい？

えっ・・好きないいいバストだよ・・愛ちゃん

何かのアンケートで父親が好きって女性が多く、父親のような人と付き合ってみたい女性が70%いてるようなのであるが・・！

ホントかどうかだが、真一にとってはうれしいこの頃ってことではあるが・・。

まさか愛ちゃんとね！

なにか元気になってきてるよ

愛ちゃんがシャボンをつけて手で握ってくる・・恥ずかしいといいながら上手に洗ってくれる。

真さん元気になってるわ

そうなんだ・・愛ちゃんが素敵すぎるからなんだよ、もう大変なことになってるよほんと、すごいもんだよねこんなになるって

・・歳がいもなくなんか恥ずかしいよ

そして、あの部分は泡だらけになってる・・。

愛ちゃん気持ちよすぎだよ。

真さん後ろ向いて・・。

今度は後ろ向きになり愛ちゃんに背中を向けます。

シャボンが背中いっぱいになんか・・。

力をいれてこすってもいいですか

有難う

自分では背中をこするのにも十分にできないものだから、強くこすっていいよ

シャワーを首から背中へと当てて、ショボンを流してくれます。

有難う・・。

タイルも泡だらけになって排水口に流れていく。

さっぱりするよね・・気持ちいい

さあー、今度は愛ちゃんの番だよ・・どこからがいい

真さんが好きなところからでいいですよ

じゃあ・・首付近から下にむかって洗っていくね

二人でお風呂するって初めてなので、こうして洗っていただくといいものですね。

真さん・・毎日でもこうしてたいです。

もう・・愛ちゃんたら

さあ後ろをむいて・・。

背中もゆっくり洗っていく

さあーシャワーをかけるよ、髪を束ねて団子状にしているので、うなじが見えて湯で輝いている。

真一は、後ろからバストに手を当てて抱きしめ、うなじにキスをした。

ソープの香りが心地よい、いい香りである。

ごめんごめん、こんなところで・・何故か我慢できない感じがして・・。

いいのよ・・真さん

真一は抱きしめていた手を離した。

真さんお風呂に入ろうか・・・。

同じタイミングで立ち上がり・・・愛ちゃんから先に浴槽へ湯加減・・・丁度いい感じですよ

向き合って座ろうか、僕の足の上に座っていいよ

・・・お互い顔が見えて安心するし！

愛ちゃんの背中に湯をかけながら・・・互いに見つめ合う

今日はありがとう、これからもよろしくね

真さん・・・私こそ

そして、再び顔を見つめ合って・・・今日はお疲れ様でした。

・・・二人が同時に声をあげた。

わああー・・・一緒だあ（笑）

そうそう・・・食事だけどもよかったね？

でも私は真さんとお風呂の方が一番いい・・・。

愛ちゃんたら・・・もう！

冗談が上手くなったね

そうそう・・・真さんに話しておかなくちゃ！

・・・実は私・・・バージンなんです。

えっー、愛ちゃん・・・。

それだったら僕なんかじゃまずいよ

私・・・真さんだったらと！

初めて会ったときに・・・真さんのような父親ぐらいの人にとっていたんです。

真さんが会社を辞められたんで心が決まったんです。

そう思ったら、今日の初デイトの記念すべき日に真さんにあげようと・・・。

そして二人っきりになることがこうして出来たし・・・うれしいんです。

ありがとう、なんか言葉に詰まって上手く言えないけど責任重大だなあ

上手くいくといいけど

真さん、さっきは元気だったんだから大丈夫ですよ・・・。

愛ちゃん・・・そうだと良いんだけど

そろそろ上がろうか

それじゃ・・・私が先に出ます

そうだ僕が拭いてあげるよ

それじゃ、洗いこしたから・・・拭きっこしましょ

拭きっこもいいよね・・・じゃあ今度は僕が先に拭いてあげるよ

前をむいてもらって上から下へと拭いていく・・・後ろむいてもらいタオルを体に押さえるように拭いていきます。

私・・・いいのかしら？

こんな事初めて・・・。

ありがとう真さん、じゃあ今度は真さんですよ

お互い拭きっこも終り・・・ベットの横にあるソファーに腰掛けた。

何か飲もうか・・・愛ちゃん

じゃあ私が取ってくるわ

冷蔵庫にはドリンク類がいっぱい入っている・・・。

アルコール類をのぞいてソフトドリンク類は無料になっていた。

真さん・・・ソフトドリンクは無料だって・・・何にします？

コーラーってある？

ありますよ・・・それじゃ私もコーラーにしようと

実は・・・二人ともアルコールは駄目なのである。

真一は昔は酒は飲んでいたのであるが、体を壊してからは禁酒をしている。

シューワっとして炭酸系は、この季節良いよね、さっぱりして・・・爽やかだし

サイダーは日本的って感じだけどコーラーってアメリカの味ですね

風呂に入ってから歯磨きも終わっていて・・・口の中は本当に爽やかになっている。

そろそろですね真さん

・・・そうだね

愛ちゃんは準備いい？

私・・・いつでもいいですよ

明るくってもいいかなあ

恥ずかしいけど・・・真さんにお任せします。

こんな事・・・いちいち了解とらずに進めば良いのになって思うのであるが、バージンと聞いたものだから・・・何かギクシャクしている真一である。

それじゃ・・・二人とも立ち上がり、バスタオルをまとったままで抱き合いキスをする。

手をつないでベットへ、上布団をたたんで隅へ寄せ敷布団だけにする。

どちらに座ったほうがいいかなあ？

・・・じゃあ僕の左側に座って、右利きだからこの方がいいと思うんだけど

愛ちゃんはどう

・・・私・・・分からないわ

じゃあこれでいいか・・・左手で抱き寄せあごに右手を添えてキスをする。

バスタオルを取りバストに触る・・・。

こぎざみにプルンと震えているのが分かる。

初々しくって真一はドキドキしている。

・・・二人は無言のまま・・・静かな雰囲気の中かで、体の触れ合うかすかな音がする。

瞳を閉じている愛ちゃんの顔を見ると大人なのに幼さの残る可愛い顔をしていた。

11.新婚のように

11. 新婚のように

あの日の出来事は本当に夢のようで、無事に役目が終わってほっとしている真一である。

その後、愛ちゃんから連絡があり、お礼のため会いたいとの誘いがあった。

それにしても愛ちゃんがバージンとは、女房以外初めてのことで、恋人でもないのにどうしてって思うのだが・・・。

後ろめたさは無いと言えば嘘になるが、会社時代の後輩であり、仲良くしていた女性だからその分気持ちも楽ではある。

愛ちゃんは好きだが、このままもっと好きになってしまったらどうしよう。

ほんと、親子以上も歳が違うし、そんなこと気にしなくてもいいのにならぬ愛ちゃんは言うけど、真一は大人であるというか世間体からして臆病になっている。

このまま遊べば良いのと思うのであるが、性格からして遊びで付き合うってことは出来ないと思っている。

愛ちゃんと結ばれてからは、初めて会う際に再婚も視野に見極めなくてはならないと考えていたことが現実となったのだ。

結婚相手が出るまでとか、このまま付き合っているものか、万一に僕と結婚するとして、母親にとって娘の結婚相手が自分より年上の男って考えてはいないだろうし。これで終りって言うのは辛いことだし、やはり成り行きに任せるしかないかも知れないがこれで終りってこともは、考えておかねばならないと思っている。

初めての男って愛ちゃんはどう思っているのだろう、初めての男によって女は変わるといって・・・。

よく結ばれた後は図々しくなるってことも聞いた事があるし、でも愛ちゃんに限ってはそんなことはないだろう。

若いから甘えることはあっても、図々しくいろんなことを要求するような女性じゃないし、恥じらいは少しあっても、そんなに大胆なことが出来る女性じゃないし、性格的に真一は気に入っていて、愛ちゃんは好きな女性の一人であることは間違いない。

結ばれてから初めて会うってこと自体、何か新鮮で愛ちゃんがどんな顔をしているのかって想像してしまう・・・。

女らしく色気が出ていたら？

幼い一面がなくなっているかも知れないってことを考えていたら、余計に早く会いたくなってくるし、抱き合ってキスもしたいし、二度目に結ばれるってどうなんだろう。

真一は一人で好き勝手に妄想している。

男って誰も同じなんだけど、優しさと思いやりだけは人一倍持っているに越したことはないと思うのである。

これも歳を重ねたことの表れだろうかと考えている。

一人から二人・・二人で生活するって喧嘩もあるけど楽しいものである。

テレビを見ても一人で笑うのと二人で笑うのとは違うし、何か食べに行こうかといって揃って出かける事も楽しいし、少しでも心を共有できると、それこそ毎日に張り合いが出来、励みにもなる。

自炊をする時のように、男もキッチンに入って今日は僕が作るよ、ゆっくりしてってというのもいいし・・。

愛ちゃんが家事をしてる後ろから抱きしめて、いちゃいちゃするのもいいし・・。

さすがにこれはないか・・！

一人で妄想に耽っていても仕方がない。

定期的に会ってこのような事が出来ればいいなあと思う真一である。

確か愛ちゃんってマンション暮らして言っていたから、そのチャンスはないことはないし、早く会いたいものだ・・そしてワクワクする。

決まってもいないことに一喜一憂しても仕方がないのだが、まあ期待しないことにしていた方がいいかも知れないと思うのである。

外から雷の音が聞こえてくる。

ひと雨来そうな空模様になっている。

まだ、降ってはこないだろうが、急に曇りだして突然に雨になるとも限らない。

こんなときはバイクで出かけないのが正解かも知れない。

とりあえず散髪でも行って来よう

理髪店のあるところはアーケードがあって駐輪も雨に濡れず、もし途中で降って来ても大丈夫だし、当然お店は冷房が効いてるし、行きつけのお店って気が楽でこんなときに便利である。

散髪しなくても、雨宿りさせてもらっていいですか？

上がるまでゆっくりなさって下さいって・・。

本当にこれまた安心である。

途中で降られれば視界もよくないし、この点は車と違ってバイクの場合は大変だ。

メガネが濡れれば運転どころじゃないし、雨宿りできる場所へバイクを移動しなくちゃいけない。

でも2輪のバイクって開放的でそんなに多く走っている訳がないから目立ち、まして250ccの大きなバイクでもつて、乗っている服装といたら半ズボンでTシャツの格好なものだから余計に目立つ。

でもこれって転倒すれば大怪我間違いなしってことになる。

一応服装違反と思っているし、ほんと気をつけなくてはいけない。

また進められる服装ではない。

真一は2輪のバイクと言うより原付の気分で乗っているきらいがあり、年齢を考えないといけないのだが、大きいバイクはさすがに乗っていても安定していて見た目にもカッコいいものだ。

バイクを止めて降りようとするとなんか何cccなんですか？

知らない人から良く聞かれるのだ。

いくらぐらいするものですかなんて・・・。

話題になるバイクっていいですね。

年式も古いホンダレブル250cc、中古で約25万でしたよって答えるのですが。

同じ年代の人からは、乗ってること自体がうらやましいですねと言われるのである。

真一も少し嬉しくなっている。

これで呼吸器さえ正常ならベストなことなのだが、車庫からの出し入れでバイクを押すこと自体重くって大変であって、力を入れて押す時に呼吸が苦しくなるのだ。

さて無事に散髪も終えて・・・これから何処へ行こうか？

愛ちゃんに電話してみようか・・・急に声が聞きたくなった。

愛ちゃん・・・こんにちは・・・このあいだはありがとう

真さん・・・わたしの方こそ、今電話をしようかと思っていましたよ

すごくいいタイミングで気が合うって感じで嬉しいです。

自宅に帰ってから今まで寝入っていたんですよ、何か安心してしまって、ほんと良く寝ていました。

今から美容院へ行こうかと思っています。

そうなんだ・・・僕も今さつき散髪に行ってきたところなんだよ

少しイメージチェンジしてみようかと、この間の記念にと思ってるんです。

真さんはどんな髪型が好きなのですか？

長い髪が好きって聞いていたんだけど、少し短くしようかと、暑さも続くだろうし

好きにしていよいよ・・・愛ちゃんってどんな髪型でも良く似合うんだから

会うのがすごく楽しみになってくるよ、ところでいつにしようか？

今すぐに会いたい気分なんですけど、今日は美容室の後実家に帰ろうかと思っています。

母とも少しご無沙汰しているし、いいかなあと思って

僕なんか後回しでいいよ、お母さんにしっかり甘えてきて、何かあったら電話してええ、そしたらお言葉に甘えて勝手をしますね、実家へは一泊の予定なので明後日には帰ってきますから・・・。

また状況お知らせしますね・・・それじゃ

そうか実家へ帰るんだ、そう言えば昨日と今日お休みと行っていたけど明日も休み

という事か、そうか3日間休むんだ。

会社勤めってやはり有給休暇なんかがあっていいなあ、勤めていた頃を思い出すよ会えるのは金曜日あたりかなあ、気分は華金か何かワクワクする。

真一はまだ実現していない先のことを想像して一人ニヤニヤしている。

雷の音が大きくなってきた。空の色も青からグレーにそして黒い雲が・・・

ぽつり、ぽつり・・・降ってきた。

降ってきたかやはり、でも今降ってくれると夕方には涼しくなるかも知れないなあ。

こちらは海拔500mのところだから、100mあたり0.6℃として3℃近く気温が低いことになる。

本当に別荘といった感じで、夏の場合はうれしい住まいである。

温度が低いって事はエアコンも不要だし、悪くっても扇風機でいいことになる。

その代わりに冬は大変で、夏に涼しい分、冬は寒い・・・寒ければ重ね着をすればいいことだし、場合によっては避暑じゃない避寒をしなくちゃ。

そうだ・・・冬は反対に暖かい実家で過ごすのもいいのではと思っている。

ところで実家では南から風が吹くと雨が降る時である。

そして北からの風は潮風で海の香りがして好きなのだ。

りーんりーん・・・電話が鳴っている。

固定電話なのであるが殆どがセールスの電話である。

保険の勧誘で、新たにパンフレットが出来たから地区限定で送付しますとのことであるが、失業中なので余裕が無くって、お断りしていいですか・・・すみませんってお断りした。

さすがに保険関係の電話勧誘は女性が多い、投資など証券会社からは男性、塗装工事関係は男性と女性が半々、パソコン回線の勧誘や水や食品は女性、坂本さんですか？ご主人さまでしょうか？

〇〇電機ですが今キャンペーンでソーラー発電の件ですが・・・

本当にいろいろなところから電話がある。

留守電にアンケート依頼があったり、選挙期間では必ず留守電に投票依頼の伝言がある。

留守転送機能にしていると、携帯に電話が入ってくるのだ。

留守電があったことを知らせてくれるようになっている。

便利になったものだが、勧誘電話の場合であれ重要な用件であれ、#記号に暗証番号を入力し再生する訳なのだが、勧誘電話の場合についてはほんとに腹が立つ。

こんな訳で最近は留守転送は切っているのだ。

さて暑い夏が続き8月にもなると、いつもの事ながら怖い夢をよく見る。

そうなんです・・・小学校の頃に見た原爆映画、あの地獄絵のシーンである。

夜中にうなされて汗びっしょり、刺激が強いショッキングなところが記憶に残って

いるのであろう。

真一は1945年8月15日にはまだ生まれていない。

戦争を知らない子供いや大人であるが亡くなった父母から戦争のことは聞かされていた。

小学校でも原爆に関する映画を授業の一環ではないにしろ、朝早く近所の映画館に良く足を運んだ記憶がある。

そして8月15日、終戦の日・・・この日は殆どと言っていいぐらい実家に滞在している真一である。

墓参はもちろんお盆参りがあり、平和であることを祈ることは先祖をも敬うことになる。文献では先の戦争では約310万人もの戦没者があり、本当に大変な人数である。

このうち民間人というか、広島で14万人、長崎で7万人、東京大空襲で10万人、沖縄で12万人、ここでは県民の約30%の方々が亡くなり、合計80万人が民間人とされている。

そして真一の叔父も満州事変で病死している。

一家に一人は亡くなってるだろう現実があり、亡くなられた方々のご冥福を祈らずにはいられないのだ。

愛ちゃんとのデートであるが、真一も実家に帰っていることから、連絡をもらってから行動しても新幹線を利用すれば充分間に合う計算になる。

うまくいけば愛ちゃんの所に泊めてもらう腹づもりでいる真一なのだが、これって図々しいのは承知している。

真一も実家に帰っていて、2時間少しで大阪に着くし・・・。

真一は愛ちゃんに甘えてみるのもいいかなあとと思っているのだ。

若い娘が父親ほど歳が離れている真一に対して執着するはずはないと思うのだが、現実が大きく違っていて、こんな事もあるんだということになっている。

いい方に予想して期待するのもいいのだが、今までの愛ちゃんからして真一の思惑通りに運ぶかも知れない状況にあること自体が奇跡なんだ。

愛ちゃんにとって初めての相手という事もそうさせている。

その証拠に終わったあとに涙を流して喜んでくれたし、相性もいい。

そして、その時は互いに何度も求め合ったのである。

愛ちゃんも真一に会いたいに違いないし、真一も会いたいと思うのは男女の関係としては特別なことではないかも知れない。

そうそう・・・愛ちゃんのマンションは何処にあるのか、確か西区の阿波座の辺りといってたんだけど、うつぼ公園があるところらしい。

ここは真一にとっても、懐かしいところである。

サッカーの試合で来たところだし、その近くには若い頃に通った学校がある。

技術関係の学校である。

ここで真一は電気工学のコースを学んだ。

電気主任技術者の資格もこの頃に取得したのである。

こんなことを考えていると、一刻も早く会いたくなってくるのだが、電話を切ってからそんなに時間が経っていないし、何度も電話するのもなんだしと遠慮していたのだが、そんなところに携帯電話が鳴った。

携帯のディスプレイには愛華って表示が出ている・・・愛ちゃんからだ。

真さん、予定が決まったんだけど！

愛ちゃん・・・こんばんは、えっどうなの

明日なんですけど、夕方どうかしら、私のマンションで会えないですか？

手料理作りますから

えっいいの・・・愛ちゃんのご馳走してくれるんだ

この間のささやかなお礼なんですけど、私も料理するってところ見て欲しいんです。

そうなんだ・・・いいの本当に、場所はというか住まいの地図というかメールで送ってくれる？

いいですよ、そうそう真さんその日でよかったです？

無理言っちゃったかなあ！

愛ちゃん、実は僕も実家に帰っているんだよ、愛ちゃんも帰るって言ったから、そうなってしまって

無理でしたら日を変えてもいいんだけど

いやいや他ならない愛ちゃんのことだし、気にしないで、絶対に行くから

そうだ言い忘れてたけど、その日は泊まるつもりでお願いしますね

真さんには教えて欲しいことがあるんです。

愛ちゃんの声が恥ずかしさと嬉しいようなような、そして声が弾んでいる。

つづく

12. 思わぬ出来事 (1/2)

12. 思わぬ出来事 (1/2)

午前9時・・・突然自宅の電話が鳴った。

坂本さん宅ですか？

愛ちゃんの声である・・・どうしたの携帯じゃない電話にかかってくるものだからビックリしたよ

実は今会社からなんですよ

そうなんだ、それで坂本さんなんだ

私・・・総務所属なんだけど秘書もしてるんです、それで社長から坂本さんに
コンタクトして欲しいって依頼されて電話してるんだけど

坂本さんって資格いろいろ持ってらっしゃるし会社の方で、急ぎよ新たな工場を稼働させる計画があって、どうしても資格の持っている人が必要らしくって社長が坂本さんはいろんな資格があるので電話して現在の状況を聞いて欲しいって言うことなんです。

また働いてもらいたい様子なんです。

会ってたからと思ったのですが、簡単な状況だけでも社長に報告しておきたいものだから電話をしたんです。

社長の話では、昔のことだけど0県での工場建設時に坂本さんの資格で工場を立ち上げる事が出来たっておっしゃってました。

それで、手伝って欲しいですよ

ところで坂本さんは今無職でしたよね、お体のこともあるけど、この話どうですか？
僕の健康のこと分かっての話ならお受けしますって伝えてくれないかなあ

現役を退いて3年少しだから、まだまだ頭のほうは大丈夫だし、手続きなんかは誰かがフォローしてくれたらいいと思うんだ。

社長へは健康の事もあるけどお受けするってことで、愛ちゃんよろしくお願いします。
分かったわ・・・それじゃまた連絡します。有難うございました。

ほんとかいな・・・知らない会社じゃないし、勝手も分かっているし、体も鈍っているし、身体の負担が少ないなら頑張ってみるか

真一は少しでも小遣いが出来ればと乗り気になっている。

そして・・・また自宅の電話が鳴った。

坂本さん宅ですか

愛ちゃんどうだった？

社長に代わりますね

坂本君久しぶりだなあ、健康に不安があることは山下から聞いたよ、よかったら

手伝ってくれないか、期間は2年ほどの限定になると思うけど、軌道に乗るまで
なんだがどうかなあ

新たな資格者も数名募集しないといけないし、よろしく頼むよ
それじゃ・・・分かりました。

詳しくは山下から聞いてください。

人事部じゃなくこの件は彼女に任せようと思うんだ。

坂本君・・・山下に代わるから

山下です。・・・私が坂本さんの担当になりました。よろしくお願いします。

愛ちゃん、もう一度頑張ることにしたよ

愛ちゃんすごいね・・・社長秘書だなんて、ほんとうに可愛い秘書だ

冗談はよして（笑）・・・でも良かったです。

現役って・・・ほんと嬉しいよ僕も退職してからまた、お呼びがかかるとは
思ってもみなかったよ

有難う・・・愛ちゃん

それじゃ、この間の件はまた後から電話します。

そうだった・・・泊まるつもりでって、嬉しすぎだよ、働く事もできるし、

愛ちゃんとも楽しい日を過ごせるし、それじゃまたね

それじゃまた、携帯に電話しますから待ってて下さいね

真一は電話を切ってから・・・ふーっと一息ついた。

なんか夢のようでいいことばかり、本当なんだろうなと思うのである。

工場の稼動か・・・そしたらまずは管理体制なんだろうなあ？

工場をスタートさせるに必要なもの、電気の供給に関する責任者、危険物や
ボイラを取り扱う資格、そして労働関係の衛生管理者、安全管理者、火災予防の
責任者の防火管理者、この程度は必要かなあ、詳しくは愛ちゃんから聞かなくちゃ
昔に取得した資格ばかりなのであるが、ここで役に立つとはありがたいことである。
勤務中はこれらの資格で選任された経験があるので問題はないと思っている。

真一の場合、工場建設プロジェクトのスタッフであったし、工場運営でも設備担当者
だったから気にかけてくれたんだろうか

芸は身を助ける・・・昔の諺ピッタリの出来事だなあ

真一は今まで頑張ってきたことに間違いがなかったと思っている。

知識と経験は少なくても、資格を持っていると後から知識はついてくるものである。
経験が出来ると必然と技術屋としてプロらしくなってくるものだ。

国家試験は受験してみるものである・・・特に就職難のこのご時世なんだからその
価値は充分にあると思う。

合格、不合格ではなく学んできたことのプロセスが大切で、何事も前向きにやって

みる姿勢が必要じゃないかと真一は考えている。

経験は仕事をすることで出来てくるし、いろいろな仕事上関係する人たちからも学ぶ事ができて、その時々を知恵やノウハウも吸収できるものである。

素人とであっても年月と共にプロフェッショナルになれるものだ。

こんなところでってことだが、AKB48のある女性も素人からだったのが7年近く経験を積んでいくと、今では人気のあるプロに成長しているし、例えが悪いかもしれないが世の中が育ててくれることも大いにある。

真一の場合もそうだ・・・。ペーパードライバーの感じであった資格が業務については関係する業者との付き合いのなかで経験と知識がついて今までに至ってるのだから、不安と言うものは関わって来る人々によって自信が出来てくるもので感謝しないとイケないと思っている。

工場稼動に関するオリエンテーションとしての計画案を作っておかなくちゃ

愛ちゃんから聞く前に準備だけはしておかなくちゃ

それとプライベートから愛ちゃんとは同僚ってことになるのかなあ

チョット複雑な感じだが、期間も限定だし僕の場合は辞める1年前は顧問待遇だったから今度もそう言うことじゃないかと考えている。

週3回の出勤だったし、今回はどうなるのか、まあ愛ちゃんから話があるだろうし。

この話しがどれほど急なのかは社長が電話に出たことから察しはついているが、

1ヶ月以内かも知れないなあ

今日の今日と言うことはないだろう・・・まあ愛ちゃんと会ってからと言う事か！

そうそう、それまでは今から計画案を作ってみようか、確かFDに資料を残しているかも知れない。

早速・・・真一はパソコンに向かって仕事にとりかかった。

会社時代に念のためにとFDにとっておいて良かった。

過去に計画していた資料が残っていたのである。

これに今回の話しを想定して計画が出来そうだ。

手ぶらや口だけでなく資料を用意しておくのがベストだし、どうせ作らないとイケないものだし、社長も安心するだろう、僕の性格も分かってるだろうし、社長とは同じ技術部門の職場だったし、それに担当になった愛ちゃんも少しはいい影響になるだろう。

さあ頑張っって作っっていこうか

つづく

12. 思わぬ出来事 (2/2)

12. 思わぬ出来事 (2/2)

始めてからおよそ3時間、資料が出来上がった。

昼を過ぎてしまっている。

もうこんな時間か、今日の昼は外で食べようか

真一は行きつけの喫茶店へ出かけていった。

同じ団地内にある洒落た喫茶店である。

自炊するまではちょくちょく利用していたところである。

午後1時を過ぎているし、お腹も空いているし、ぐうぐうと鳴っている。

作ったプランを見直しておきたいので、早い方がいいなあ

カレーライスにしようか、それとアイス珈琲を頼むことにした。

お店はカウンターとボックス席が

3箇所あり、天井には扇風機がゆっくり回っている。

天井にプロペラが吊り下がっていてなかなか洒落ている。

この店のママは、40を少し越えたばかりだろうか？

ぽっちゃりした可愛い顔をしている。

時々団地内にあるスーパーでも顔を合わすことがある。

久しぶり・・・元気だった

本当ですよ、自炊してるんでいくチャンスが少なくてごめん

いいのよ気にしなくて、スーパーで時々お会いしますよね、男性が自炊って

大変ねえ・・・！

昔、山に登っていたので、時々自炊していたんですよ

近頃は山ガールって山も人気が出てるもんだから女性の方に食事を作ってもら

えるだろうけど当時は山登りって男ばかりだったから、ポリタン（ポリタンク）

に水を入れ、食料をリュックに詰め沢の辺りで火を起こしてバーベキューならぬ

飯ごう炊飯なんかやってたもんだから、チョットは炊事が出来るんですよ、女性

の方たちには負けますけどね

ウフフ・・・そうなんだ、感心、感心・・・上手に出来てるんだ

いえいえ・・・見よう見まねで、それとレシピ本片手に頑張ってるんですよ

大した物は出来ないんだけど、何故か自分で作ってみると失敗も多くあるのです

けど、最近作ったものが美味しいんです。

腕が少しは上がったみたいです。

ほんとうに一！

頑張っって・・・。

もう少しで出来るから、私も大して上手じゃないけど商売だから、少しは美味しくないかね（笑）

遅い昼食を済ませて自宅に帰ってきました。

車に乗るのも毎日じゃなく週に1回ぐらいなのであるが今日のように2回になる事もある。

お腹もいっぱいだし、さてさて工場管理プランでもチェックしようか窓は開け放っているためか部屋の中は涼しくっていい感じである。

テラスの風鈴の音がいかにも涼しそうに雰囲気を作っている。

・・リーン、リーンって耳に心地よい。

原稿となった最初の資料と言うかデータが良かったものだから、いい出来映えになっている。

違っていた場合でも直すには簡単なようである。

あとは愛ちゃんだ

ひと息ついたことから、ベッドに横たわることに・・。

すーっと睡魔が来そうな感じになる。

何かやり遂げたって気分である。

真一は生涯現役って思っていたが、健康を理由に断念していたのであるが、ここに来て期間は限定であるにせよ働けることに大きな期待をしている。

お金には執着していないが働いている事が好きな人間なのだ。

勤務中の状況が頭の中を駆け巡っている。

そして愛ちゃんと初めて出会った頃のこと等や仕事が趣味的な時期があった時などである。

変なことだが真一は会社へ行く事が好きな男である。

夢の中でも未だに会社で仕事をしている夢を見る事がある。

夕方になって愛ちゃんから携帯に電話があった。

真さん・・今大丈夫

愛ちゃん・・今朝は有難う、働けることになりそうでとても嬉しいよ

この間の件、予定通りに明日ですけど大丈夫ですか、夕方ですよ

急に仕事になって会社へ行ったものだから1日遅れてごめんなさい

社長からいろいろ話を聞いていて、その事もあるんです。

明日は定時に終わって、まっすぐに帰る予定なんです。

真さんの件をまとめて後日社長に報告ってことになりましたよ

愛ちゃん、僕ごときのことでも有難う

明日なんだけど無理しちゃ駄目だよ、愛ちゃん本当に大丈夫

ええ・・私は元気ですよ、それより真さん働けるようになって良かったわね

社長も目先の不安がなくなって良かったって言ってましたよ

真さんと明日会って伝えておきますと言うことになっているんです
秘書ってすごいね、総務も兼務してるんだらう、大変だね
私の出番って大したことないですよ真さん
今回は真さんがお相手だし公私共にもっと仲良くなれますね、私的には特に
プライベートでもっと仲良くなっているのですけどね
仕事の場所は違うから毎日と言うか会社では会う事がすくないですけど
いやいや、その方が僕にとっても嬉しいよ、付き合ってるって事がばれる可能性
が少なくなるものね愛ちゃん

明日会ってから、入社と言うか雇用契約をお持ちしますから、後は人事の方が
処理してくれるので、私は社長からの伝言などを伝えるだけだから楽なんですよ
真さん場所は分かりましたか・・・うつぼ公園の南隣りのマンションだから
バッチリだよ良く分かっているよ301号室だよ
それじゃ午後6時に、どうですか
いいよ、少し早く出て、マンションの近くで待ってるよ、愛ちゃんのマンションの
偵察も兼ねて・・・
まだ暑い時間だから・・・近くに喫茶店があるから、そこで時間を潰したら、それとも
6時を過ぎて来てはどうかしら
いやいや早く行って下調べしておくよ、周囲の状況も知っておきたいし
愛ちゃんがどんなところに住んでいるのか知っておきたいよ
まあ真さんたら・・・そしたら明日6時に、楽しみにしてますね
ありがとう愛ちゃん・・・これからもよろしくね
真一はまだまだ話していたかったのであるが携帯を切った。

つづく

13. 記念すべき一日 (1/2)

13. 記念すべき一日 (1/2)

その後・・・真一はなかなか眠りにつけず、その内に眠ったのではあるが、夢の中で両親が出て来て、元気そうにしているけど、久しぶりだねって、父母ともニコニコしている。

ゆっくり会いたいね？

京都で待ってるよ？

えっ！京都って？・・・ここで眼が覚めたのであるが何で京都なんだ。

変な夢だったなあ、変なとは言え京都に二人がいる訳ないし、あっ・・・そうか二人とも大谷本廟に東大谷の親鸞上人のそばに納骨してるんだ・・・思い出した。

確か京阪電車で四条から歩いて15分ぐらいだったか、本当にご無沙汰してるわ夢では二人とも仲良くしてるみたい、いつか高槻に住んでるときに二人揃って来たときのようだ

新大阪から新幹線を降りて乗り換えも分かりやすいし、駅からはバスもあって直ぐに分かったって言ってたし、母はあちらこちらと良く出かけており、方向音痴じゃないんだ、僕は少し方向音痴になるが、小さい頃良く聞いた母のフレーズがあり、眼と耳さえあれば何処だって行けるよっと

そうだ思い立ったのが吉日・・・って言うから近くまで行って来ようか

夕方までは時間があるし、どうせ大阪へ出かけるんだから、久しぶりの京都もいいかなあって！

本当は秋真っ盛りの紅葉の季節がベストやけど・・・。

愛ちゃんと会う記念すべき日だし、夢にまで両親が会いに来てくれたことだし・・・。

真一は善は急げとばかり、直ぐに朝食をして出かける仕度をするのであった。

京都へは電車の時間を含めて4時間ぐらいかな、それから大阪にもどって2時間ぐらいじゃないか・・・。

愛ちゃんのマンションまで1時間、昼を食べても5時までには着くだろうし・・・。

さあ出かけようか

京都へは何度か来てるのに、イマイチはっきりしない。やはり方向音痴だろうか伏見稲荷や今日の大谷本廟、河原町、太秦、京都美術館、嵐山主に観光だったのでそんなに詳しいとまではいかない。

確か五条から15分のところにあったような、まずは行ってみよう

京阪本線五条・・・えっと駅名が変わってみたい、清水五条になったような、祇園四条まで特急で行き、あとひと駅なんだから、特急、快速急行は止まらないんだ。昔は四条から歩いたような気がするなあ、気のせいかなあ

でも大谷本廟のホームページのアクセスからチェックしているので、その通り行くことにするか

駅を降りてからそれらしい出口に出て、歩き始めると懐かしい風景があった。

そうそう木の繁った森のようところが遠くに見える。

そうそうあそこだ・・・これでひと安心だ

携帯にはナビがついてるし、これで迷子になったら大変だなあ

着いてから案内図をみて、納骨されたお堂のようなところまで行って、お参りして来よう

受付して案内なんかされるのは面倒だし、命日でもないし、これでいいか

しまった・・・数珠を持ってくるの忘れちゃったよ・・・まあいいか

今度チャンスがあったら命日に訪ねることにするか

昼時間を過ぎてているし帰りに大阪で遅い昼食でもするか

大阪では梅田界限だと少しは分かっているつもりだし、阪神デパートの地下にでも行って何か食べようとするか

愛ちゃんの所は四ツ橋線なんで西梅田か

大阪まで来るとまずは気分的に余裕が出てくるものなあ、何でだろう

大阪市内で働いていると初めてのところでもどうにか行き着けるし、こればかりは不思議である。

何かしら情報が入ってきてるんだろうか、切符売り場の路線図を見るだけでどこで降りたらいいのか、案外分かるものである。

そんなこんなで、無事に大谷本廟での用事も終わり、京橋駅に帰ってきた。

そしてJRに乗り換えて大阪駅へ戻ってきた。

さすがにお腹が空いた・・・。何がいいかなあ、カレーなんか久しく食べていなし、まだ少し暑いから、ざるそばもいいなあ！

平日なのにさすがに人通りが多い。

そんなことを考えながら、阪神デパートに向かって歩いている。

大阪駅周辺も大きく変わってしまっていて、うろうろしているだけで結構時間を潰してしまう。

デパートに着き中に入ってから奥にある野菜売り場を目指して歩いている。

すごいルートである・・・要はデパート内を通路代わりにしてレストラン街に行くエスカレーターに乗ろうとしているのだ。

昼時を過ぎているのだが多くの人が食事をしている。ここは和洋中華いろいろなショップが集まっていて、見て歩くだけでお腹がぐうぐうと鳴ってくる。

早く食べたいと言う気持ちにさせてくれるのです。

それでもこの人の数は、それだけ働いている人が多いってことであるが、僕の

ような無職の人が結構いるんじゃないか？

この間、地元の喫茶店で食べたかも知れないが、カレーにしよう
席に座ると早速スタッフの方が近づいてきて・・・いらっしやいませ、何になさい
ます。

コロッケカレーお願いします。

お時間少しいたいてよろしいですか、今から揚げますから

いいですよ

カウンター席は空いていて荷物を隣の席に置くことにした。

先にお勘定させてもらっていいですか

そうなんだ・・・いろんなショップがあって、通路との区別が無く区画のないところ
だから、あとから勘定と言うわけには行かないし、それにしても581円が580円
か、コロッケもクリームコロッケが2個入っていてなかなか美味しそうである。

カウンターの前にはいくつもの添え物の漬物なんかがあり、とり放題であるし、お冷
もボトルに入って目の前に置かれている。

このカレーなかなかいける・・・そりゃプロなんだから、目の前で揚げてくれるしで、
なかなかいい。

何だかんだ思いながら、一気に食べてしまった。うーん美味かった。

昔、外食をしていて、このレストラン街によく来たことを思い出した。

改装前のことで刺身定食が700円で食べれたし、牡蠣フライも美味しかった記憶
がある。

今は昔と違って見違えるほどきれいになっているし、センスのあるショップに
なっている。

明石焼きやグラタンのお店はどうなったのかなあ、今もあるのだろうか、今度ゆっくり
探してみることにしようか

このデパ地下だったらデート費用が乏しい時にうまく利用すれば助かるなあ、今度
愛ちゃんと一緒に来てみようか

鮎屋もあるし値段も安いし、上階はデパートだからウインドウショッピングもいい。
デパートでデートもいいかも知れない。

こんなことを考えるのも、これから付き合うであろう女性がいるからで、一人だと
こうはいかない。

一人で食べに行くにしても何故か淋しいし、自炊をしながら独り言でもつぶやいて
ご飯をするって味気が無いもんだ。

一人で笑みを浮かべながらお冷をひと息に飲み干した。

そろそろ行こうかな・・・少し早いかな6時までは、早めに行ってあまりにも時間が
あるというのは具合悪いし、下見もするにも早すぎるかも知れない。

まあ何があるか分からないし、ゆっくり行こうか、エスカレーターやエレベーターを

探したり、もし階段オンリーならゆっくり昇らないといけないし・・・。

真一はそんなことを考えながら、四ツ橋線の西梅田駅に向かうことにした。

西梅田って本当に久しぶり、市内への講習会やらで良く利用したし、学校へ行ってる時も何度か利用したのである。

行く道中は懐かしい気持ちで振り返ってみたり、こんなところがあったかなあって、うつぼ公園近くだから、本町駅から700m少しじゃないか、ゆっくり歩いて10分ぐらいか、いいところに住んでるんだ愛ちゃんって

ロ-ンで買ったとはいえ、愛ちゃんってしっかりしてるんだ。

西梅田から肥後橋、本町だから随分早く着きそうだけどまあいいか

近くに喫茶店があるって言ってたから、そこで休んでもいいし、そうしょうか

そうそう、手ぶらで来てねって言ってたけど、アクセサリーでも買っていこうか、長い髪だからシュシュなんかもいいし、西梅田へ行く途中で引き返して阪神でパートへ向かった。

真一の好みであるが髪どめとシュシュを買うことに。

これをお願いします。贈り物なのでよろしく

かしこまりました、用意しますので・・・しばらくお待ち下さい。

女性の物を買う時は何故かドキドキしてしまう真一である。

デパートの女性スタッフの方は、さすがに美人ぞろいだなあ、でも可愛さからしたら愛ちゃんのほうが可愛いかな・・・タイプだしね、何かうれしくなってくる。

娘ほど歳の離れた女性が、一人住まいしているマンションを訪ねるって考えてもしなかった。

そして食事をご馳走になって泊まるって言うのだから、ドキドキするのも当然といえば当然か、アイドルっぽい顔をしていて小柄でスタイルもいいときたら真一でなくても男なら誰でも好きになってもおかしくないのに、よりによって真一とひとつになってしまったのだから、世の中どうなっているんだと反感を買うに違いないことであるが一応、真一は独身だし、恋愛しても法に触れるものでもない。

万一女性を見る眼が違って・・・他人から普通の女の娘じゃないか、何処にでもいる顔だよと言うことは決してないと真一は思っている。

これでも真一は結構面食いだし、アイドル探しが出来ちゃうスカウトマンに負けないって変な自信を持っている。

二人して歩いていると父と娘といったところであるが、周囲からはまさか恋人同士とは思われないであろうし、好きあっていれば何ら後ろめたいことも無いはずである。

マンションの玄関で人と会っても父親が訪ねてきていると思われるだけだし、実際にはマンションに行ってみないとどんな感じかは分からない。

そんなことを考えていると、早く行ってマンションを見てみたいって衝動に駆られてしまう。

マンションは西向きで9階建ての3階の2LDKと言っていたから一人暮らしとしては十分な広さである。

15分ほどしてマンションに着いた。

パークサイドマンションうつぼか・・樹木も植わっていて、外灯のデザインもなかなかいいし、正門口ビームもシャンデリアが付いていて洒落ている。

エレベーターで3階まで上ってみる。

エレベーターを降り左側の301号、端っこだから隣は302号となる。

ここは管理人が平日のみ午前9時から午後5時まで常駐していて、真一が来たときは不在であった。

寝室も端っこだったら声も聞こえないだろうし、実際はどうなってるのだろう、普通は隣と向かいあって水廻りがあるから、部屋に入って右側にキッチン、浴室、トイレ、左側にリビングなどの居室だろうか、右隣の人とはどんな人が住んでるんだろうな愛ちゃんが帰ってくるまでにまだ1時間以上あることから、マンションを出て近くのエンゼルって言う喫茶店に行くことにした。

少し歩いて路地に入ったところに愛ちゃんが言ってた喫茶店があった。

年配の夫婦でやってるこじんまりした喫茶店であるが、家族的な雰囲気をかもし出していていい感じである。

いらしゃい、いつまでも暑いですね、好きなところにお座りになってください。

客は真一だけである。

ここ最近、朝晩は秋らしい感じになりましたね

にこやかな笑顔が素敵で愛想のいいマスターである。

奥さんも優しそうな良い感じである。若いときは美人って風貌をしている。

そして、アイス珈琲を注文することにした。

つづく

13.記念すべき一日（2/2）

13. 記念すべき一日（2/2）

好きな人の周りには何故か僕も好きになる人々がいるのですね
愛ちゃんってほんとうにいい娘なんだ。

紹介してもらった喫茶店も気に入ったし、毎日でも珈琲を飲みに
来たいものだ。

お客さんこの近くの人なんですか

いえいえ遠方なんですけど知人がいるんです。

若い女性なんですけど昔会社が同じだったんですよ

そうですかそれは、若い女性と会うって楽しいですよ

マスターは真一の顔をみて何かを察したような暖かい眼差しを
向けている。

他人と仲良くなり、気が合うって事は昔は先祖が同じだった
かも知れないですよ

マスターと奥さんと・・・ホントって顔をして3人で笑いあった。

これからもこちらへお越しの時がありましたら、またお寄りより
下さい。

小さい店なんですけど大歓迎ですよ

お客さん失礼なんですけどお名前は？

坂本っていいいます。

坂本さん！！・・・先ほどの若い女性って山下さんですか

やはり、もしやと思っていたんですよ

愛ちゃんから確か少し前に世話になった大先輩で坂本さんって方
がいるって聞いた事があります。

マスターって・・・愛ちゃんいや山下を知ってるんですか

知るも知らないも鼻屑にしてもらっていますよ

会社に入社した頃の話も聞いた事があるし、坂本さんっていろんな
資格をお持ちになってるんじゃないんですか

えっそんなことまで、愛ちゃん・・・話してたんですか

すごく多く資格を持って人が会社にいるんですよって

世間は狭いですね、本当に悪いことなんか出来ませんね

そろそろこの時間になったら、愛ちゃんが通る頃なんですけどね

えっ・・・そんなことまで？

家族みたいな感じですよ愛ちゃんとは、いい娘ですよ魅力的だし、

坂本さんもそう思うでしょう

早くここに来て寄ってみてよかったです。

愛ちゃんのこといろいろ聞けたし、有難うございます。

坂本さん、ここでお待ちになったらいいですよ、まもなくですよ、多分ここに顔出すと思いますよ

ほんとですか・・・マスター

ほら見えましたよ、ドアを開けて外をうかがっている。

坂本さん・・・お待ちになりました？

愛ちゃん、さっきまでマスターといろいろ話してて、いろいろ教えてもらったよ、いいお店だよ

坂本さんってお口がお上手なんだから、愛ちゃん珈琲でも入れようか？

帰ってから用意しなくちゃいけないことがあるので明日にするわマスターじゃあマスター・・・ご馳走さまでした。

・・・お勘定お願いします・・・。

そしたら愛ちゃん・・・また明日ね

明日は寄りますね・・・さようならマスター

真一は愛ちゃんと連れ立ってマンションに向かって歩いていく。

愛ちゃん・・・良い喫茶店だね、マスター夫婦もいい人だし

そうなんですよ、私もいろいろとお世話になっているんです。

食事に行く時もあるんですよ、一人だからってサービスで一品付けてくださったり、話し相手になっていただいたり、お陰でホームシックにならずにすんでいるんです。

二人とも手を握りたいのであるが、さすがに近所の事もあって遠慮しているし、歩く姿もなんとなくよそよそしい感じである。

まもなく着きますよ真さん・・・3階の私の部屋が見えてきましたよ

周りが公園なので環境はなかなか良いんだけど、カップルの人たちが夜になると集まってきて、抱き合ったりしてるんだから、私の方まで変な気持ちになっちゃうんです。

見ないふりなんかしているんですよ、今日は真さんと一緒だから、思い切り甘えますね

エレベーターに乗って、二人きりなものだから、どちらとも無く抱き合っ
てキスをしてしまった。

あの日の時が甦ってくる。

愛ちゃん会いたかった

・・・でもエレベーターは直ぐに3階に着いてしまった。

二人は直ぐに離れて並んで立っている。

私も今日という日を楽しみにしていて、仕事もなんだかソワソワしてしまって
そうそう・・・社長から真さんのことよろしく頼むって言われました。

書類はちゃんと用意していますから

ピンポン・・・ただいま、ドアを開けて愛ちゃんが先に入り、真一はその後に
続いて部屋に入っていく。

好きなスリッパを履いてくださいね・・・狭くって散らかってるけどゆっくり
して下さい。

さすがに女性らしい、いい感じに部屋をまとめている。

愛ちゃんってチャイムを押して部屋に入ると、ただいまって言うもんだから、
誰かいるのかと思ったよ・・・。

ちょっとビックリしたけど僕もそうなんだ。

ごめんなさい、ビックリさせちゃって・・・でも真さんも同じなんですね（笑）

似たもの何とかですね

そうそう、資料を預かっているんで資料を見ておいて欲しいのですが、いい
ですか真さん・・・。

分かるところは書いてもらってもいいですから・・・私はその間に食事の用意
をしますから・・・。

僕も手が空いたら手伝うよ、何なりと命じて下さいよ

場所分かりますか・・・リビングのテーブルに書類を置いていますから

真一は書類を取り出してテーブルに広げた。

雇用条件と契約書に何たらの賃金と言うか給与、勤務日数が示されている。

愛ちゃん聞こえる？

これって本当？

聞こえてますよ・・・でも洗い物してるんで少し大きい声でお願いっ！

週3回で月15万円になってるよ、1回の出勤で1万円以上なんてうれしい
よ、そして1年ごとの更新になっている。

勤務可能なら引き続いて勤務できるって・・・。

雇用関係って聞いてたから、念のために印鑑持ってきてるから押しておくね

真さんってもう出来ちゃったんですか

愛ちゃん後で確認を頼むよ

それと僕の方から業務プランを作成してるんで社長に渡してくれないか

ええ分かったわ、それと真さん・・・終わったんですよ、冷蔵庫の中に飲み物
が入ってるから・・・。

好きなのを飲んでゆっくりにさってて・・・。

私のほうもまもなく準備できるから

愛ちゃん悪いね、任せきりで・・・何か手伝おうか

そしたらお風呂の準備していただけると嬉しいのだけど

お安い御用だ

でも無理しないでね、発作が起きたりしたら大変だから・・・ゆっくりでいいですよ

共同で何かするって・・・愛ちゃん新婚生活みたいで楽しいものだね

ほんとですよ・・・真さんと一緒だからですよ

でも真さんって男性の家政婦みたい（笑）

男でも手伝わなくちゃ、じっとして待ってるって悪いよ！

それに早く終わるとあとは楽しい時間が増えるんだから・・・。

愛ちゃんところのお風呂も給湯器が喋るんだ・・・僕のところもそうなんだけど使いやすいよね

湯張りをしてくれるし、給湯栓を閉め忘れると教えてくれるし、便利になったもんだ

真さん先に食事にする、お風呂にする・・・それとも。

嬉しい言葉・・・こんな言葉を聞きたかったんだ。

温泉気分でさっぱりしてから食事をしようか？

私もいつもお風呂のほうが先なんです。

食事の方は調理できているし、それじゃお風呂にしましょうか
風呂場の脱衣には新しい男物のパジャマが置いてあった。

今日のために買っておいしてくれたようだ。

愛ちゃん、パジャマ買っておいしてくれたんだ・・・ありがとう

そうですよ、男の人って真さんが初めてで、なにかから準備したらって・・・
ドギマギしてました。

気を使わせてしまったね

真さん書類の出来上がりのチェック終わりましたよ・・・話してる間に済んじゃいました・・・OKです。

愛ちゃん有難う

忘れないように早速通勤バックに入れときますね

そうそう準備できましたよ・・・一緒にいきましょう

浴室の脱衣へ・・・二人が同時に脱ぐには少し狭く無理のようだ

愛ちゃん先に脱がしてあげよう

真さん有難う・・・

全ての物を脱がされてしまって、愛ちゃんは全裸になっている。

小柄ではあるがいい体である。

じゃあ・・・次は真さんが裸になる番よ

最後の1枚になって愛ちゃんの顔が赤くなった・・・。

真一のものが大きくなっている。

ごめんごめん意思に反してこんなになってしまって

愛ちゃんって・・・いいお嫁さんになるよ

真一は照れくさいのを隠すように訳の分からないことを言っている。

今は真さんだけだからね・・・可愛がって下さい・・・。

二人とも生まれたままの姿で抱き合った。

真一の胸と愛ちゃんの豊かな胸が押し付けあうように強く抱き合っている。

そしてキスをした。

私・・・ずーとこのままでいたい

僕もだよ

真さん甘えてもいいですか

真一はまだ髪を束ねていない長い髪をかき分け・・・頬を挟んでキスをする。

真さんって・・・もうこんなになっている。

この間と同じで・・・元気になってるう

そろそろお風呂にいきましょうか

愛ちゃんは髪を束ねて、真一の手をとって浴室に入っていった。

つづく

14.秘め事（1/2）

14. 秘め事（1/2）

前回のホテルとは違ってやはり狭い。

二人座っているのがやっとの広さである。

どちらかが立ったほうがゆっくりするのだが、窮屈なりに前向きに向かい合って座ることに・・・。

明るいし、少し照れくさいが一度結ばれていてることも二人を大胆にしてしまっている。

二人は見つめ合っている

愛ちゃん・・・いい体してるよ本当に・・・服の上からはそうは思わないのに見てるだけでもうこんなになってるよ

まあ真さんたら

愛ちゃん・・・目が潤んでいるよ

私もなんだか変な気分になってきちゃった

洗いっこしてから、一緒に入ろう

お風呂の中で抱き合うのが好きになっちゃった

この間のお風呂で抱き合ってからなんですよ

真さんってスリムだから・・・狭い浴槽なのに気分的にゆっくりする。

じゃあ先に入るから、後から愛ちゃんが膝の上に足を伸ばすようにして座ります。

抱き合うと狭い浴槽なのにゆったりした感じになっている。

向かい合うってお互いの顔が見えて安心しますね

二人は心が通じるのを感じながら抱き合って何度もキスをする。

温まったよ愛ちゃん・・・そろそろ上ろうか、いいお風呂だった

私ね、一人のときはシャワーが多いのですよ

僕もそうだよ、湯が溜まるまで待ちきれないって言うか、シャワーだったら湯が溜まるまでには終わっているものね

ほんとよね・・・お風呂に比べてシャワーの方が時間が短くっていいものね

少しの間リビングで休んでから食事にしましょうか

すまないね仕事で疲れているのに

真さんと会っていると私・・・疲れも飛んでいっちゃった

お家だとほんと・・・ゆっくりしていいし時間も気にしないでいいし、ホテルだったらこうはいかないし・・・。

朝まで一緒って何か時間が止まっている感じがして・・・好きなんです。

二人で朝を迎えるってどんなんだろう？

朝食を二人で摂るって嬉しすぎて涙が出てきそうになる。

真一は目頭に手をあてた。

愛ちゃんが傍にいるって幸せすぎて、長生きはするもんだね

まだまだ若いんだから、もう・・・真さんって（笑）

そろそろ食事にしますか・・・用意しますね

ステーキ肉なんだけどミディアムでいいですか

うん・・・それで良いよ

焼く前に塩コショウをして、強火で1分、裏を返して中火で30秒って

聞いた事があるんだけど

あら・・・真さん・・・そうなんですよ、さすが自炊してるってことですね

もやしを炒めてから添えてもいいかしら

キッチンは少しゆったりしていて、二人用の食卓がある。

真一は愛ちゃんが調理してるところを座って見ている

なあーに真さん、じっと見つめたりして

いやいや素敵な奥さんぶりを・・・いやいや、いいスタイルだなんて見入って

いたんだよ

いやねえー真さんたら・・・奥さんになってもいい？

ほんとかい！愛ちゃん

・・・冗談でも嬉しいよ・・・でも本気にするよほんとうに

もしそうなったら・・・両方の家族から大反対でしょうね

外国ならそんなことは無いでしょうけど

世界一の歳の差のある夫婦って言うことで・・・！

知れたらマスコミの餌食だろうなあ

ジャンルによっては、夜のほうはどうされてるのか・・・とか、何回？って

とか好奇の目で見られるだろうし、時の人ですよね・・・真さん（ふふっ）

愛ちゃんも言うよね、新婚さんいらっしゃいって番組ってまだやってる？

あるわよ・・・

申し込めばエントリーOKだよ

一発で有名人になっちゃうじゃない！

それと・・・視聴率日本一ってことになっちゃう

それに負けない忍耐がなけりゃ駄目だよ

この会話みたいなアクションができれば芸能人になれるかもね真さん・・・

フッフ、アッハハ

笑いすぎて・・・お腹が空いちゃった・・・ねえ愛ちゃん

さあさあ、出来ましたよ・・・ステーキ、もやし炒め、キャベツにトマト、

そして味噌汁、カブラの漬物

うわあーご馳走だ・・愛ちゃんすごいや

大したこと出来ていないけど・・食べましょか

ちょっと待って・・そこに立って・・真一は近づいて抱きしめてキスをした。

ありがとう愛ちゃん

まあ真さんたら・・まだまだ時間があるのに！

・・さあ冷めないうちに食べましょ

二人が声を合わせて・・手を合わせます。

・・いただきます

このステーキ柔らかくって、口の中で噛むと溶けるみたい・・。

少し無理しちゃったんだ、松阪牛のステーキ肉なんです。

僕なんか・・安いのでいいのに、もったいないようー

真さんには元気でいて欲しいし、就職祝いってことで！

肉を食べると肉食系になるって言うし、サカしてた人ってあの方が強いて
(フフッ)

真さんも・・そうなんだあ？

・・だからステーキにしたのですよ

実は・・いっぱい愛してほしいんです今夜は

大胆発言・・初めてだア、そんなに期待されちゃ、僕の方大丈夫かな

お風呂ではすごい元気だったし・・ごめんなさい

・・食事のときにエッチな話題で

いいよ愛ちゃん気にしないで、僕も好きだから、それと愛ちゃんとは
似た者なんかだから

真さんとは相性もいいし、私も素が出て楽しいし・・何でも話せるんです
そして何より元気が出るんです。

有難う・・お変わりしていい

ごめんなさい・・話に夢中になって、気がつかなくて

軽くでいいですか

食べ過ぎると呼吸に悪いて聞いていたから、それとDrから煮物と果物
にして腹八分って？

そうそう・・よく覚えていたね愛ちゃん、女房みたい(笑)

ほんとうこんな感じってうん十年ぶりだよ・・ごめんごめん昔のことなんか
話して・・。

いいですよ・・奥さん・・愛してらしたんですね

子供さんも成人されて・・頑張られたんだから、それも男手ひとつで、会社
の人に聞いた事があるんですよ、きれいな奥さんだったって

いやいや・・愛ちゃんには勝てないよ・・愛ちゃんとはこのように仲良くな
って今日のような現実になっているんだから、この前から夢じゃないかって
いつも思っていて・・怖かったんだ
会社を辞めてからは愛ちゃんと会う可能性もなくなって・・。
まさかってね
あとでほっぺをつねってみて下さい。
食事も終わって・・まだまだいろんな話に花が咲きます。
つづく

14.秘め事（2/2）

14. 秘め事（2/2）

食後の珈琲にしましょうか・・・会社で入れてたみたいでいいですか

珈琲1、砂糖2、フレッシュ1の割合じゃなかったですか

愛ちゃん・・・そんなことまで覚えてるんだ

でも糖尿なんか大丈夫なんですか

この間の検査だけど血糖値も平均より低いし、少し高いのは中性脂肪だけなんだ、不思議なことに悪いのは呼吸器と頭ぐらいかなあ（笑）

よう言うわ・・・真さんって

辛いのが好きだし、甘党だし・・・ほんとどうなってるんだこの体ってとこなんだ
私も両方OKなんですよケーキも大好きだし、この間の真さんと行った喫茶店も良かったですよ

また行きたいし、今度はケーキを食べに行きませんか？

そうそうこちらへ来る時に遅い昼にしようと、大阪駅で降りて阪神デパ地下のレストランに行ったんだけど・・・あそこって調べてみたら11店舗あり、いろんなグルメが楽しめそうで、なかなかいい感じだったよ・・・そのときにはカレーを食べてきたんだけど、意外とリーズナブルな値段で美味しそうなものばかりあるお店があるんだ。

金欠のときには助かるところだよ

ほんとうなんですか

デパ地下のレストランって初めてなんで一度行って見たいです。

真さん・・・今度連れて行ってください。

愛ちゃんのお陰で再雇用されそうだし、初出勤の時にでも一緒にいきましょか
週3回会社へ行くとしたら、勤務場所は違うけど、これからも会う事が増えてきますよね

私も楽しみが増えて嬉しい

9時から3時までだったですよ勤務時間は

真さんの場合はその時間は確か一応ってことで、仕事が早く終われば帰宅していいって言ってましたよ・・・給料は良くないけど勤務は重役並みですよ・・・顧問って融通が利くみたい

健康のことを分かってのことなので、体調がわるければ休んでもいいし、遅れてきてもいいし・・・。

自宅から指示してもらってもいいですよ真さん

ほんとだ・・・こんな好条件ってないよね愛ちゃん

・・・会社に甘えるなんていいのかなあ

真さんのように資格をいろいろ持っていると良いですね・・・。

私も何か勉強して資格を取らなくちゃ

愛ちゃん・・・僕たちこうして仲良くなったし、仲が良い分、もし喧嘩になったら憎しみも大きくなると思うんだ、だから腹が立ったり、こうして欲しいってことがあったら遠慮しないで言って欲しいし、その時々には機嫌の悪い時もあると思うんだ・・・。

そして口の聞き方も大柄になったりする事も！

喧嘩なんてないに越したことはなんだけど、人間のことだしエゴイストになってしまうこともあると思うんだ、今の僕たちからは考えられないことかも知れないんだけどね

真さん良く分かったわ、本当にありがとう

そんなところが好きなんです・・・仕事ぶりも大好きだったし、優しく包んでくれるので喧嘩にはならないと思うんです・・・こんな男性と結婚したいって憧れていたんです・・・私

おいおい・・・ほんとうかいな愛ちゃん・・・有難う

お礼はあとで・・・いっぱい愛してあげるから（笑）

真面目な会話ってあちらの方がおろそかになると言うかセックスに対しては抑止力が働いて役に立たないって聞いた事があるみたいです

私・・・なんかむらむらが収まってきたみたいです

ほんとだ・・・僕も伝染したみたい・・・でも裸になったらまたムラムラすると思うんだ。

そうですね真さん

二人きりだし・・・誰も邪魔する人っていないんだから

真一は天真爛漫な愛ちゃんのこんなところが好きになっている・・・。

もう23だもんな、いい体してるし

会社勤めしている頃には、考えもしなかった一面を見る事が出来て、秘密を知ってしまったような、何か悪いことをした気がしている真一である。

こうして二人きりでいると、少し天然めいたところがあって、大人なの女性の中に幼さと可愛さがあり、一緒にいて楽しいし癒されるところがある。

いずれにしても僕にとっては素敵な女性で、このまま付き合っていければと思っている。

愛ちゃん脱線するけど、僕の書いた書類大丈夫だった？

私が見たところではバッチリですよ・・・。

さすが真さんって感じ・・・几帳面だし抜かりがないと言うか、いい計画書とっています。

社長もそこまでしてくれてってことで納得しますよ

いい秘書を持ったなあ社長は

いえいえ、いろいろな方々の影響があったり、学校で知識もできたり、支えられてここまで来たんです・・それとそつなくこなせるのは真さんの影響も少しはあるのですよ

技術課長時代にいろんな官公庁への手続きがあったでしょ、その時にいろんな計画書を読ませていただいて・・すべて用意万端、ミスも無く100点満点と聞いていました。

私も見習わなければと勉強したし・・。

いやいやそんな昔のこと・・愛ちゃんって記憶力は冴えてるんじゃない
手続きでご一緒した私の上司も言っていましたよ、僕なんか何もすることはなく一緒に行くだけで運転手役で終わってしまったって・・。

そうなんだ・・工場を新設する時のことだな・・懐かしいよ

今度の工場もうまくいくと良いのだけれどね

会社の僕の担当は誰なのかな

真さんの昔の部下だった平山さんらしいですよ・・。

今は課長になられています。

真さんの肩書きは顧問だから給料は低いかも知れませんが組織的には、

相談役となるから平山さんが部下ってことになるんじゃないですか

昔の部下が上司だったらやりにくかったかな、がみがみ言っていたから

真さんの指導が良かったから課長になれたって平山さんが言っていましたよ

今度のことで、また指導してもらえるなんて光栄だよって先日会った時に聞きましたから。

そうなんだ・・快く思ってくれていて嬉しいよ久しぶりに会うのが楽しみになってきたよ

つづく

15.夢からさめないで（1/2）

15. 夢からさめないで（1/2）

真さん・・・大丈夫、ねえ・・・ねえ、真さんって・・・起きて
あっ・・・愛ちゃん・・・僕どうかしていたの？
一緒にベットに入って・・・何度か愛し合って、それからなのですよ
何かに取り付かれたように寝入ってしまって・・・寝落ちって言うのですか
これって？
ゆすって起こしても、起こしてもおきないし
そうだったんだ
愛ちゃんを抱いてたら・・・急にすごく眠くなって
何かすごい夢を見ていたような気が・・・。
惑星が突然に地球に衝突するって臨時ニュースがテレビから流れてきて、
どのチャンネルも通常の番組が中止になっていて、衝突する日時のカウント
ダウンを始めているんだ
外を見ると、行き交う車がいつもと違ってすごい車の数だし、渋滞になって
いて・・・。
日本中がいや世界中が大騒ぎになっているんだ
皆んな家族の元に行こうとしてるらしいんだよ
僕は呼吸器に疾患があるんで遠方にはいけない状態でなく、家族に電話を
しようと掛けてみるのだけど電話がつながるような状態じゃないんだ
こんな時に別の部屋に愛ちゃんがいるんだ。
夢の中で愛ちゃんが出てくるってめったにないし、何か良い事があるの
だろうか
こんな大変な事態になっているのに妙に落ち着いている反面、愛ちゃん
がいることに気付かなかつたし、そんなに大きな家じゃないのに不思議な
ことで、夢の中ではこれは夢なんだって言わないものだから、一人でこの世
の終りを迎えるって淋しいことだし、このような時に一緒にいれる女性が
愛ちゃんなんだから・・・僕は幸せ者だよ
眼が覚めても隣に愛ちゃんがいてるんだからね
夢のまた夢じゃないかって思ってしまった。
愛ちゃん・・・ちょっとほっぺをつねってみてくれる
痛いっ・・・良かった夢じゃなくって・・・でも夢でも最後の日に愛ちゃんと
二人きりだったものだから、本当に嬉しいかぎりだよ
ところで今何時なんだろう
朝の7時よ・・・私は今日お休みだから、それにしても昨日はもっと甘える

いいチャンスだったのに
真さんたら10時間近くも眠ってしまったんだから
ごめんごめん、いつの間にか睡魔に襲われちゃって記憶がないんだ・・・。
いびきかいてなかった？
それは無かったけど寝言・・・言っていましたよ
愛ちゃん・・・愛ちゃんって何度も呼んでくれて、何か私嬉しくって涙が
出てきちゃった
真さんってこんなに私のことを思ってくれてるんだって
ほんとうなの・・・寝言って
そういえば最後となる日に二人で名前を呼び合って抱き合ってた・・・。
そのときかも知れないよね
そんな夢のシーンだったんだ

真さん・・・それで最後の日は、そのあとどうなったんですか？
最後の時までいかず夢は終わってしまっただけと言うかあまり覚えてなくて！
よく覚えてるところは、まだ地球は大丈夫で、愛ちゃんとひとつのベット
で抱き合ってるんだ。
その時に愛ちゃんの声が聞こえて・・・いいところで終わったって感じなん
だけど
私・・・いいところで起こしちゃったんだ
でもその続きは、このあといっぱい出来るし、まずは朝食にしましょうか
真さんはたっぷりジャムのトーストが好きだったんですよね、そう聞いた
ような、それと野菜サラダにゆで卵にしていますよ
ごめんね、甘えてしまって
私こそ・・・無理言って泊まってもらったりして・・・有難う
じゃあ・・・座って座って
わあーすごい量・・・食べれるかなあ
食パンは4枚切りですけど頑張って食べて下さいね・・・。
朝はしっかり食べなきゃ
お腹が料理を見たときにグーグー言ってるから大丈夫と思うよ
ポタージュスープは熱いから注意して下さいね
朝の味噌汁もいいけどこうして珈琲の香りとスープもいいものだね
この珈琲は昨日のエンジェルって喫茶店で買ったものですよ
マスターがおまけしてくれて量が1.5倍入れてくれてるんです
ブラジルなんですけど・・・私が気に入ってる珈琲なんです。
豆も売っている喫茶店ってこの付近では珍しいんです。

15.夢からさめないで (2/2)

15. 夢からさめないで (2/2)

いい香りで美味しいよ

砂糖を入れなくてブラックで飲めるっていいですよ

僕もコーヒー豆を売ってるところでお茶をするんだけど、砂糖を入れようとしたら、うちの珈琲は砂糖入れなくても美味しいよって言われちゃったんだ。

その後ケーキと一緒に頼むときがあって、砂糖を入れずに飲んだものだから、真さん・・・大人になったねってマスターに言われちゃったよ

朝の珈琲って珈琲党にとっては最高のひと時であって、本当に贅沢ですよ
インスタントに比べて随分高いし、でも癒されるんですよ

香りだけでも・・・こらから頑張ろうって思うんです。

今日は休んでいるんですけど、こうして二人で珈琲飲んで、食事してって事は何年ぶりかしら

好きな男性とは初めてのことだし、真さんとこうしているのが嬉しくて、ドキドキしています。

そうそう、このブラジルの焙煎具合はハイローストなんですか

そうですよ・・・良く分かったですね

実家に帰ったときによく利用する珈琲ショップで、今日は何にするって良く聞かれていたし、焙煎度合いで味が変わるって聞いてたし、すっきりした酸味と甘味が焙煎度合いで変化するそうだよ

度合いを進めていくとミディアム、ハイロースト、シティ、フルシティ
ロースト、フレンチ、イタリアンローストとなるらしい・・・酸味から徐々に苦味になるようだよ

うわあ・・・すごい真さんって通なんだ

そうでもないよ！

本当の通の人はブラジル系、モカ系、コロンビア系、グアテラマ系、マンデリンジャマイカと聞き酒ならぬ一口で銘柄が分かるって

珈琲って奥が深いですよ・・・私もいろいろ試してみようかなあ

珈琲好きにはいろいろ種類があってたまらないよね・・・有難う。

・・・ごちそうさまでした、美味しかった。

真さん・・・休んでて、さっと片付けをすませてしまうから

愛ちゃんご馳走になりっぱなしで、手伝うよ僕も・・・

いいんですよ・・・お客さんなんだから休んでて・・・

そして大事な旦那さまなんだから（フッフッ）

ハハハ・・・ハハハ・・・愛ちゃんよく言うよ、そんなこと言っているのかい

前から言ってみたかったの・・・旦那さまって・・・ああ良いひびき
旦那さまって言われるとメイド喫茶が頭に浮かんでくるよ
真さん、私メイドのコスチュームがありますよ・・・あとで着替えますね
どうしたの？

この前だけ食事の後の喫茶店でアルバイトしてたって言いましたよね、
その時のお店の制服だけど、良かったら着てみるわ

それからお願いがあるんです・・・今日も泊まってくれないかなあ・・・。

そうだと嬉しいのだけど

朝も一緒にでて駅で別れるっていけませんか？

用事があるなら仕方がないけど

とんでもない・・・万一用事があっても愛ちゃんと一緒にいられるなら全て
キャンセルするよ

有難う・・・愛ちゃん・・・お言葉に甘えちゃうよ

嬉しいわ・・・何か今日はスペシャルディですよ

そうそう・・・昨夜なんだけど・・・僕が寝入るまでのことだけど・・・何回
愛し合ったんだろうか

確か3回だったと思います・・・だから今夜も真さんと

えっ・・・そんなにだったんだ・・・あの部分今日も大丈夫なんだろうか

私も興味津々なんです・・・。

なんと真一は愛ちゃんの意外な一面に驚きと嬉しい誤算で何故かワクワク
している。

でも、こんなこといつまで続いてくれるのだろうか

真一は今現在のことより、この先のことを考えている

いつか別れが来ることを心配しているのだ。

もし別れる時がきたなら、発作で死んでしまうかもしれないんじゃないか。

でも、生きている今、この幸せを精一杯抱きしめておかねばと思うのである。

洗い物も終わったことだし、私もそちらへいきますね

愛ちゃん一緒に座ろう・・・

真さん・・・愛ちゃん、二人は見つめ合って、それから思い切り抱きしめあった。

そして・・・二人が同時に、これからもよろしく願います・・・と言い合うのであった。

それから・・・ありがとうの言葉のあとに何故か二人の眼から涙がでていたのです。

追想の日々（上）

F I N E

☆☆

追想の日々（上）・・・出来映えがイマイチの拙いストーリーでご免なさい。

初めての挑戦なのでこんなもんじゃないかと思っています。

（下）についても、このようなハッピー的な感じになるのではと思っています。

あらすじの登場人物、駅で道を尋ねられて知り合った24歳の女性、原美紀とはどのように進展するのか興味があるのですが？

現在・・・執筆の準備中です。

どんでん返しや言い争うシーン、背けたくなるような文言を使った過激な部分が必要なのは分かっているのですが・・・不幸なのや悲劇的なのはあまり好きじゃなく、のほほ一人的でハッピーなことが好きなので・・・やはり小説ってものに僕はむいていないと思っているのですけどね・・・(笑)

あとがきと追想の日々（下）のご案内

あとがきと追想の日々（下）のご案内

実は短編小説というか、この種のものには創作すること自体が初めての挑戦でした。追想の日々(下)は僕自身が下巻なんて考えていなかったのですが、上巻での結末から気持ち的につづきが欲しいよねってことになり執筆することにしたのですが、HOT（在宅酸素療法）をやむなく必要としなければならなくなって、思うように進まなくて中断していたのです。

ところがお正月を少し過ぎたある日のこと、wifiルーターを実家へ持ち帰るのを忘れてしまってから、時間が空いた隙間時間に何故か思い出したように執筆が進み無事完成したのです。ほんとうに不思議な感じでしたが考えてみると要は自分自身の考え次第だったと思うのです。そうです心が無精していたのだと反省しきりなのです。

ここにこうして日の目を見ることになるのですが、下書きの原稿をパソコンに取り込んでいてもう少しで終わりだなあと思った矢先にパソコンのHDDが壊れてしまいました。記憶を辿って、また1から校正をかねて再入力しなければならなくなってしまいました。でも初の小説、追想の日々（上）が完成しました。

（下）のストーリーですが、同じようなストーリーの展開になるようです。主人公である坂本真一とひよんなことから親子ほど歳の違う元同僚の女性、山下愛華との恋物語ってことになるのですが、ほんのりとおっとりした雰囲気ばかりの拙いストーリー展開なので読者の皆さんには物足りないことと思いますし、飛鳥圭自身の詩作と同様に煮え切らない甘っちょろい的な作品ですが、よろしくお願いします。

2018. 5 飛鳥 圭

追想の日々（下）・・・編集、執筆中

－ 目 次 －

1. はるか昔
2. 再就職してから
3. 昔日のなかへ
4. 久しぶりです
5. いつものところで

6. 愛を感じていますか
7. 手をにぎりましょ
8. 潮騒の香り
9. ふるさとから
10. 明日へむかって
11. 僕の早春賦
12. ありがとうさようなら

以上

1.はるか昔（1/4）

1. はるか昔（1/4）

カチカチ・カチカチ拍子木を打ち鳴らす音が聞こえてくるおやつ時間の午後3時頃だろうか電信柱に自転車を止め、いつもの紙芝居のおっちゃんがやって来た。

そして何処からか僕と同じ年恰好の子供たちが、すーといった感じで集まってくるのだ。そうそう？ぞろぞろじゃない、様子を伺いながらいつの間にかといった感じなんだ。その中には小さい子の手を握って母親も一緒になってこともよくある。いつもの風景ではあるのだが、時々違う町内からやって来る子供たちもいる。

紙芝居が始まる前に紙芝居の木製の台座の下のところに3段ほどの引き出しが付いていて上の方の引き出しには菓子類が、中段の引き出しにはまた違ったものが入っていてその品物を買ってもらうのである。もちろん買うことが観劇できる条件になる。ただ見をする人もいるのだが、さあさあ皆んな並んで並んでとおっちゃんが優しい声をかけます。特に飴菓子、丸状の平たい飴は4つの穴をくり貫けるような細工になっていて4つの穴をきれいに空けると一番良い景品が貰えるのだ。いやいやどれにするお嬢ちゃん、そうかこれにするか坊ちゃん上手に空けたね？とか、このおじちゃんなかなかの商売上手なのだ。

さあさあ始まるようおー、皆んな口に飴を入れ紙芝居を見ながら舌を上手く転がしたりして4つの穴を空けるよう頑張っています。そして前半が終わる頃になるとそろそろ景品との引き換えになるのである。景品はスルメイカを甘く煮たものや、昆布やら駄菓子やいろいろである。そして景品のお菓子等を食べながら後半の続きを見るのである。ほとんどが続き物であり、おじちゃんの予告どおりにその日が完結の日ともなると観衆は増えていて、おじちゃんの手でやったりのニコニコ顔が見られる。うーん儲かったって顔である。終わると次回の新作の案内やらがあり、また景品の新作も発表される。テレビがない時代だから、それはそれは興味深いエンターテイメントじゃないかと思うのだ。

そうそう見忘れた子供たちには、そうかそうか見ていないのかと熱く語ってくれるんだ。大体は決まった時間、場所で行われる・一度違った場所で紙芝居を見たことがあった。すると1日遅れのストーリーであって、今度見損なったときはここに見に来ようと思ったものだ。雨の日でも出来るよう空き家のある軒先で雨を避けて紙芝居が出来るよう運営しているようになるほどねと子供ながらに感心していた記憶がある。子供たちの中には子供用の自転車に乗ってくる者もいて、こいつ自転車を買って貰ってるんだと羨ましく思ったものである。真一のところではあいにくそんな贅沢はできない。姉弟との3人の子供がいれば何処の家庭でもそうなのである。

一人だけ買うようなことはしてくれるはずがない。一人買えば同じようにみんなにも買わなきゃいけないし、家が商家だから収入も安定していないから当然だろう。

持っている友達はやっぱり一人っ子、いいよなあ子供が一人って・・・！

何にしてもだが、食べる物で分けれるものならカットして全て3等分ってことなのである。

この時代であるが、子供用自転車を持ってるってこと自体それはそれは優越感があるから得意顔で見せびらかされたり、ねえねえハンドルにバックミラーを付けたんだと自慢するんだ。こちらはけなすことで対応する。なんや両輪に補助輪か？そんなことで次に乗ってくるときは片側だけの補助輪にしていた。なんやまだ片側付けてるやん？次は補助輪をはずして乗っている。おお・・・やったね！もう完璧に乗れるんや？

うん！みんなにボロクソに言われたから転びながら練習したよ

自慢ばかりするからだよ罰があたったんだよ・・・まあ少しは進歩したか？

そうそう真一の家でもなんとか中古自転車であるが買ってくれそうな気配なのである。

つづく

1.はるか昔（2/4）

1. はるか昔（2/4）

母から自転車屋さんへ中古があったら知らせて欲しいと頼んでると聞いたのである。中古でも子供用自転車には変わりがなく機能すれば中古でもいいと真一は思っていた。たくさん家の手伝いするんだよ？いつもしてるやん！自転車頼んでくれてありがとう。母の顔も何故かうれしそうな顔であったのを思い出すのだ。

さてさてついに自転車がやってきた。やっぱりね・・・新品じゃないからだけど、でも惜しげがないよね？ぶっつけようが中古だから、これが中古自転車の最大の利点かも知れない。それから補助輪なんて付いてるはずがない。

近所の友達を誘って荷台の所を転ばないように支えて貰いながら一緒に走って貰うんだ。加速して安定したところで手を離してもらうんだ。

離していいよ！離すよ・・・いいのかな？

ブレーキをいつでも掛けれるようにハンドルもしっかり握って不安定になればブレーキをかけペダルから足を離し飛び降りる感じで転ばないよう気をつけて、何度かそんな練習を繰り返してやっと乗れるようになった。ほんと半日近い作業である。

そりゃ一人で乗れるって、ましてや補助輪なしやから嬉しさもひとしおなのだ。

もう乗れるようになったよ！母が家から出てきて、ほんまやすごいやん身軽なもんはいいなあ実のところ母は自転車が乗れないのだ。

これで行動範囲も広がり遠くへ遊びに行けるし、それ見ても補助輪なしやで！真一は顔には出さないまでも内心は自慢しまくっていた。

この頃であるが通学している小学校では、模型飛行機がブームになっていた。

ラジコンじゃなく時代が時代だから動力はゴム動力である。

一応離着陸用の車輪も付いている。プロペラ軸に巻きつけたゴムを通す金物がついていて尾翼の下にも同じような金物が付いていて巻かれたゴムがもどる力でプロペラが回転するようになっているのだ。翼は紙製であり、竹ひごに貼り付け主翼と尾翼を完成させるのである。プロペラを手で回しながらゴムを巻きつけるのであるが、当然巻きつける数が多いほど飛行距離が長くなる。そんなときゴムを巻きつけるワインダーとかいう専用の道具があり、1回転で8回転以上は回転するから、ゴムを巻きつける速さが断然違って楽なのである。

真一は小遣いを貯めてやっと買うことができた。

それまでは友達に借りて巻きつけていたのだが、新しい飛行機を完成させた場合テストを兼ねて一人でこっそり飛ばすとなるとこの道具が役に立つ。何度も飛ばすに時間が少なくてすむ。真一は模型作りが結構好きで、得意であった。

飛行機ばかりじゃなく船なども作っていて、当然ゴム動力なのである。

潜水艦もあり、一応しっかり水中を潜水して走り、ゴムが緩んでスクリューが回転しなくなると浮上するのである。低学年の子供たちがそれを見ていて、同じ模型を買ってきて僕の家に来てきて母に頼んだらしい。あんちゃん何処そこの子が母親と一緒にきて完成させて欲しいと言ってきたよと・・・。

宿題とお手伝いが終わったら家（うち）の子に頼んであげるからねと引き受けてしまっていた。

なんやお母さん？引き受けたんかいな？しょうがないやろ買い物して下さったし、映画の招待券をいただいたし、うちやこし！よう断れへんやないか？頼むきん作ってあげまい。

小さい子やから大事にしないとね！

もうこれやから商売してたら駄目やね、そんなに買ってくれたんかいな！しゃあないね

そしたら作るわ、そやかど映画はどうするん？東映やからあんちゃんが行ったらええがな！

そうそう真一には弟がいるから何故かあんちゃんって呼ばれているのだ。

つづく

1.はるか昔（3/4）

1.はるか昔（3/4）

模型店は中学校の近くにあり放課後は多くの生徒たちで賑わっている。
この模型店主催で飛行機大会が定期的に行われていた。
滞空時間が長ければ優勝ということになる。入賞すると模型店の模型がプレゼントされるのだ。
小学校の校庭では放課後に飛行機を飛ばしに多くの生徒がやって来る。
真一もその中の一人である。

そして勝てそうな生徒のひとりに声をかけ、ねえかけようか？いいよ！！何をかける？
そしたら僕はゴム、じゃ僕はワインダーにするよ！
おいおいいいのかよワインダーなんかかけちゃって高いだろう！いや2つ持ってるから！
そして古いやつだからいいんだ！好きでない奴やし！でも気前がいいよな！じゃあ始めるか？
どっちが長く飛ぶか？勝負がきわどくなればヤバイから立会人というか行司をつけるんだ。
この頃は相撲が人気スポーツであり、勝負事の決着を決めるに行司を決めて勝負することが当時は
普通であったのだ。

このようにはるか昔のことを最近思い出したり、夢の中で出沒するのだ。
そういえば今でもゴム動力の飛行機なんて売ってるのだろうか？
今はもうラジコンだろう！！
ゴム動力ってもうありやしないだろう？
でも思い出だけで今でも楽しくなる。
これってやばいような！
昔のことを思い出して死が近いんじゃないか？そんなことを何処かで聞いたことがある。
そんなことを考えていると電話が鳴った。
真さんですか・・・愛華です。お久しぶりです・・・お元気ですか？
愛ちゃん・・・ほんと久しぶり、長いこと会っていないみたい。
僕もお陰で働き始めたし、二人とも忙しくしてるよね
他人事のような会話に互いに・・・ほんとよねことになり、可笑しくって笑ってしまった。

真さん次の土曜日に時間取れないですか？
何故か顔を見ていないから寂しくって！いけませんか？
美味しいお店があるんです。ご一緒しませんか？
第4ビルにあるイタリア料理店なのですが、一人じゃ何故か余計に寂しくって行きにくいし
あっ！あのイタリア人シェフがやってるところとちゃう？
何度か行ったことがあるよ！いいところだよ
なあんだ真さん知ってるの

久しぶりに行きたいって思っていたんだ

いいよ僕がご馳走するよ

いえいえ私が誘ったんだから私に奢らせて

ここで押し問答しても仕方がないから愛ちゃんのお言葉に甘えることにするよ！ありがとう

何時がいいかな？

じゃあ6時はどうかしら？5時過ぎに大阪駅から阪急方面へ向かうところにある時計台の所は駄目かしら？それともJRの時空（とき）の広場って知ってる？

ああ知ってるよ！でも雨のことも考えて時空の広場にしようか愛ちゃん

ほんとだ真さんの言うとおりでわ。私、天候のことなんなんて考えてなかった。

じゃあ時空の広場にしましょ

いやいや完全に晴れてたら時計台ということにして、曇りまたは雨なら時空の広場にしようか？

時計台のところはJRと阪急の連絡通路だから人間観察も楽しいし、もし何かのときは携帯電話があることだし、そうですね！じゃあ決定ということにしましょか？

つづく

1.はるか昔（4/4）

1.はるか昔（4/4）

そうそう、私よく携帯忘れるから絶対に忘れないようにしなきゃ
それじゃ5時に時計台そして曇りと雨は時空の広場ということでよろしくお願いします。
愛ちゃん電話ありがとう、声が聞けたし、食事を誘ってくれて嬉しいよ、涙が出てきそう
まあ真さんたら・・・こちらこそ・・・そしたら土曜日楽しみにしてますね
愛ちゃんの声の聞いたら何故か直ぐにでも会いたい気分の真一なのである。
今日は水曜日だからあと3日か・・・楽しみだなあほんとに！！
電話で思い出した？

電話を引いてる所が少ない時代、実家が商売をしていたこともあって固定電話って言うのか
真一の家には早いときから電話があり、良く電話を貸してくださいって知人がやって来ることが
あった。何故かお金を貰ったことがないような記憶がある。そのかわり買い物をしてくれた
ような記憶は今も残っている。

なかには初めて電話をする人がいて、言葉が詰まったり、おどおどしたり、隣で会話が聞こえ
て
くるものだから、ついつい笑ってしまっ！
おっちゃん電話するのが初めてだから、不思議にあがっちゃって、おじきをしたり、可らしい
やろ、でも次からはたぶん大丈夫やからね・・・上手く話せると言うと言い訳をしていた。
ほんと電話って便利なんだと思ったものです。
真一も始めてかけるときは同じように緊張してて上手く話せなかったからほんとは笑っちゃいけ
ないのだが、僕だけじゃないんだと思ったとたんに笑ってしまっていた。
おっちゃんごめん、笑ったりして僕もそうだったからつい可笑しくって、僕だけじゃないって
そうかそうか僕もか？
そういえばその後は公衆電話も多くできたし、定番なのであるがタバコ屋等でピンク電話を
良く見かけるようになった。

軒先のカウンターを利用して置かれていたり、専用の電話台が使われていたりしていた。
営業時間を過ぎると家の中に片付けるのである。お金が投入されるからであろうし、お店の収入
源だから、確か10円単位だったと思う。
テレホンカードになってからはどうなのか、お店の収入にならないからどうなのだろう？
そうそう営業中なら両替をお願いする人もあったりしていたような記憶があるが曖昧である。
最近は良くコミュニケーション力をつけなきゃって話題になってるのにまだまだメールが主力に
なっていたりして！そして手紙にしるメールにしる書いたものが残るって不味い事もあるのにね
って誰かが言っていたがそのとおりかもしれない。
それと話すってことじゃないと心が届けられないから駄目なのは、と真一は考えている。

文は人なりって言うし、いい面もあるのであるが、でもとにかく便利になったものである。

そういえば好きな人に初めて電話するってドキドキものだったような気がする。

本人じゃなく家族が電話に出たときなんか声が良く似てる時があって、話した後に実は私・・母親なのです。こんなことって悲劇的なのであるが、これが反対に良かったりしてしまう場合がありますませんか？真一も実は体験済みなのである。

あとから彼女に聞いたことがあって、やさしそうでいい感じの人やねなんて言われたりして！
こんな場合はもう親の承認が間違いなしってことで嬉しい出来事ですよ

残念なのであるが、この彼女とは別れてしまったのですが、まあ・・いろいろありました。

俗に電話美人？声だけでいい印象を持っていただくってやっぱり心から話してるってことなのか
そうそう真一もいろんなことがあり、何度か電話をしたときに父親が出てこられて、そんなことは

聞いていないって！実は電話してくださいってことだから電話したとたんいきなり父親なのだからびっくりだったのです。

些細なことなのに何かのきっかけで不思議思い出してしまうものである。

つづく

2.再就職してから（1/3）

2. 再就職してから（1/3）

愛ちゃんのお陰で再就職してからはやはり忙しくしている真一である。

短時間勤務ではあるが、仕事をするって何かと気苦労もあるし、家でくつろいでいても仕事のことが優先してしまう。

長いこと仕事をしていなかったため、働くのって大変なんだと最近思うようになっている。そしてだてに良い給料を貰っていなかったんだって、自分自身に対して今さらながら感心している真一なのだ。

事実、普通の人より多くの給料をいただくってそれに見合う対価といえればそれまでなのであるが、お金の余裕のある生活ってなんと贅沢なことだったのか？

それから気持ちも前にも増して充実している。

もちろん交際にまで発展した愛ちゃんとのこともあるが、すこしは気持ちも若返って生き生きしているのを自覚しているし、実感しているのである。

人間って健康なら、年齢に関係なく働くことが大切なんだって最近は特に思っている。

工場建設にあたっては操業も間近に迫っていて、真一が持っている電気主任技術者免状にて受電施設の主任技術者となり、そろそろ受電が開始できる運びになっているし、従業員の雇用も進んでいて、これに関しての衛生管理者の選任についても真一の持っている衛生管理者の資格で対応できることになる。

ほんとうに工場操業における重要な資格って大切なのである。

それも一人の者が多くの資格を持ってるってことは、一人で何役もの対応ができ効率的なのだ。このような理由で今のところ真一が法的ないろんなことを一人で兼務することになるのである。今後は資格を持った人が入社して来なければ真一は会社を辞めることが出来ない事になるのだがあと3年ぐらいいは勤務することが出来ればと真一自身は思っている。

部下になった平山課長からは、坂本さんまたいろいろなことをご指導よろしく願っていますって言われているし、週末には操業に当たり消防署への防火対象物の使用開始届出を行う予定になっている。

工場を建設し操業するっていろんな法規則による届出が必要で、この関係についても真一が責任者になっているのだ。

真一が指示をして部下が届けばいいのだが、最初はどうしても部下と同行して手続きのノウハウというかやり方やその雰囲気を経験しておいたほうが得策なのである。それと先方への印象が大きく違って来る。人を育てるってことはほんとうに大変なことである。

真一もかつては上司の付き添いを受けて直に教えてもらったからそう思うのである。

今後は坂本が担当しますからよろしくご指導をお願いしますとかなんとかフォローしてもらって一人前になった真一である。

指導マニュアルのようなものはないが不思議に引き継がれているようだ。

いろんなケースについて許認可、届出に関する書籍があるのでそれをまずチェックし、該当する事項を監督官庁に相談することになる。

前もって相談すること自体重要なことで、届出書類を受け付けてもらうについて担当官と面識を持つことは手続きをスムーズに進めていく上で大変重要であると思っている。

担当官＝法規則のスペシャリストなので、前もって相談することは担当官に対しても良い印象を与えることになり、いろいろと教えてくれるのである。

例えばその場所が防火地域なのか指定地域なのか、保安距離はどうか、近くに住宅があれば危険物施設を設ける場合10mの距離を設けなくてはならないし、距離が不足ならば防火壁などが必要になる。まずは最初に何点か計画案が出来た時点で監督官庁へ出向いて相談することが真一のやり方なのである。

つづく

2.再就職してから（2/3）

2. 再就職してから（2/3）

防火対象物使用開始届出の前の段階でもそうだったのであるが、建物の面積、用途、火気の使用、収容人員などによりいろんな消防用設備を必要とするのである。

すなわち消火器、屋内消火栓、防火扉、避難器具、火災報知設備を設けることになり、個々については既に検査を受けている。この日の使用開始届出は最後の手続きになるのだ。

この手続きが終わってから操業開始が出来る事になる。

いよいよ工場の操業が始まり、受電した電気の使用も開始される。電気については既に受電していてこの日から本格的に電気を使うことになる。

操業にむけていよいよ佳境に入った頃に愛ちゃんと食事をする事になったのである。

何かの縁であろうか？前祝いとなりそうなそんな感じがしている真一なのである。

そして今度ばかりはいつもとは少し違って、公私共に嬉しく、楽しくなると予感している。

実は工場敷地内にどうしても有害ガスの排出を基準値に抑える必要があり、有害ガスを燃焼してしまう処理装置を設置したのであるが、そのガスを導くダクトが危険物を使用する取扱所とつながってることで危険物施設の付属設備と見なされ、10mの保安距離が必要となったのだ。

今さら移動する訳にはいかず、移動の場合は多額の損害をこうむることになる。

担当係官と相談して防火壁を設けることで例外措置を認めてくれたのである。

防火壁の工事費用はかかるものの処理装置を移動することを思えばベストな方法なのである。

そしてその届出と検査も無事に完了したのである。

だからこの日は最高の日なのである。

順風満風で事が進むに越したことはないが、ひとつやふたつは問題が起きても可笑しくないのが常なのだが、これらを想定しておくこともリスク管理上必要なのである。

そうしてこのような問題が起きたときにこそ長い経験がものを言うものであり、退職してしまった

者が持っているノウハウを如何にして継承して財産として残しておくことが企業の存続や発展に必要と思うのだ。

真一の自宅にも時々後輩たちから突然に電話の相談を受けることがある。

真一にとって大した事じゃないのに、名前だけでも覚えてくれていたのかと嬉しい出来事になる。

生き字引って・・・友人から言われたことがあるが、もうそんな歳になったのかって寂しく思ったもの

である。・・・パール・ギュント第1組曲の朝・・・携帯電話の着信音が鳴る。

久しぶりと言うか携帯電話は初めてだろうか？原美紀ちゃんからだ。

ある駅で道を訪ねられて知り合った女性である。

真さんお久しぶりです・・・お元気ですか？・・・その後体調は如何ですか？

偶然ショップを訪ねたところが美紀ちゃんの勤務先であって、再会して食事に誘われて以来だ。美紀ちゃんも元気だった？こちらから電話しなきゃと思っていたんだ・・・ごめんごめん最近だけど体調も良くなって再就職したんだよ

つついバタバタしていたものだから・・・ほんとうごめんなさい。

真さん・・・実は私も食事にお誘いしてから、その後すっかり忙しくて忘れてしまってたのよ今度仕入れを担当することになって、人気になりそうな雑貨を探したりしていて、やっと忙しさから解放されたんです。

そうだったんだ！・・・いやいや僕の方こそ良くなったらこちらから電話するって言うておきながら

ごめんなさい・・・わざわざ電話くださってほんとうに嬉しいです。

次の食事のことですけど旅グルメでいいところを見つけたんです。泊りがけでご一緒できたらいいなあ思ってぬけぬけと電話してしまいました。

温泉宿で部屋の中に露天風呂があっていいところのようなのです。女性からこんな電話って失礼じゃないかと思ったのですが思い切って電話しました。

つづく

2.再就職してから（3/3）

2. 再就職してから（3/3）

私は独身だし、彼氏はいないし、もう真さんしか思い浮かばなくて・・・ごめんなさい。
いいの美紀ちゃん・・・僕なんかで・・・他にいい人いないの？
いつか真さんと一緒に出来たらと思っていたんです。
そして勝手に計画したのですがどうですか
何処なの？城之崎なんですよ・・・大阪から比較的近いし、電車の旅もいいよねって
僕は昔に社員旅行で行ったことがあるんだけど、また行って見たいところなんだ。
こうして美紀ちゃんと二人っきりって何故か嬉しくって涙が出てくるよ
そしたら一度お会いしていろいろ打ち合わせしないと駄目ですよ
美紀ちゃんその打ち合わせも大事だけど美紀ちゃんの元気な顔も見たいし
了解です・・・真さんそしたら梅田でいいですか？
阪急三番街B2階のリバーカフェでどうですか？
分かったよ、場所は分かると思うので楽しみにしていますよ

週明けの火曜日の夕方6時っていいですか？実はお店が定休日なんです。
大丈夫だよ美紀ちゃん・・・当日はミニスカート？
ええそのつもりだけど・・・リクエストしてもらったらそのとおりにしますよ
何かミニスカートだと嬉しくなってくるよ
まあ真さんたら・・・これでもわたしスタイリストですからね（笑）
それじゃそういうことで・・・よろしくお願いします。
何かあればまたお電話します。
今日はありがとう真さん・・・さようなら
楽しみにしてるよ美紀ちゃん・・・それじゃさようなら
どうなってるのだろう・・・おじさん族って人気があるのかなあ

真一自身愛ちゃんといい、美紀ちゃんといい素敵な女性たちから何故かこうしていい感じで
進んでいるってこと事態が夢のようで、いずれにしても大切にしたい時間が多くって嬉しい限り
であるし、大切にしなきゃいけない女性と思っている。
特別な関係の愛ちゃんには内緒なので心苦しくって気にかかっているのであるが、話さないほうが
いいのじゃないかと真一は思っている。
うーん・・・でもほんとうは話しておいたほうがいいかな！と心のなかではそう思っているのだ。
美紀ちゃんは遊びでいいから、迷惑をかけないようにするからってことだったから、その気にな
っている真一なのであるが、一番は愛ちゃんだしね
愛ちゃんは失いたくないかけがえのない女性だし、愛ちゃんの話は第一に考えないといけな
いってことは真一は百も承知している。

ところで三番街には画材のショップがあるし、早めに自宅を出て欲しい物でも物色するのもいいかなと思っている。

実のところ、真一は久しぶりに水彩画を描きたいと思っているのだ。

画題は永久に光さず大好きなふるさと、緑なす山々を描いてみたいと、それから海辺の風景も好きなのである。時間をかけるなら愛ちゃんを描いてみたいのが夢なのであるが、愛ちゃんがうんと言わない。人物は苦手で、愛ちゃんがうんと言わないのが助けになってはいるのだが！真一は愛ちゃんに話そうか迷っていた・・・そしてついに相談なんだけど、実は愛ちゃんと仲良くなる前に知り合った女性（ひと）がいるんだ、隠しておく自信がないから伝えておきたいんだ。人がいいんだから、そんなこと黙っていればいいのに、ほっとけないのでしょ真さんって、いいわ

よ、そんなところも含め真さんが好きやから・・・分かったわ・・・真さんの好きにしていいわようーん・・・いやだと言えればいいのに、そういわれると困ってしまった真一である。

つづく

3. 昔日のなかへ（1/2）

3. 昔日のなかへ（1/2）

真一は長らく本などは読んでいなかったのであるが、いつぞやに読んだ単行本の中に昭和30年代始めの頃の電話の話が載っていた。

その当時は公の施設の小学校や役場に電話があり、今のように各家庭に電話があることは珍しいことであり、緊急の際は電報であった。どうしても電話じゃないとってなると電話のあるところまで出かけて行き電話を借りるのである。でも家庭でも電話のあるところはあったのである。そうして近所の電話にあるところへ電話をかけて伝言を頼んだりしていた。

現在は各家庭に固定電話があり、個人では携帯電話を持っている時代、今にして思えば当時は想像もつかないことであった。

急ぐに間に合わないのではあるが、これで十分用を足していたと思うとなんと今はなんて贅沢な時代なんだ。そしてほんとうにのんびりとしてるってことは心に優しいことじゃなかったか？

この時代のことであるが、真一の家は商家であったことから既に電話をひいていて、設置して間もない頃のこと、母から電話局へ電話して坂本饅頭店って何番ですか？って電話番号を聞いてみい？・・ねえ！教えてくれたやろと嬉しそうな母の顔がそこにあった。

坂本饅頭点は00番です。電話がまだ少ない時代は知人や近所の人が電話貸してくださいって訪ねて来るのがよくあったことを思い出すのである。

まあ電話を借りにくるって当然買い物もしてくれるわけで、お店にはいいことであったと思う。

そういえば公衆電話も至る所にあるってわけじゃなく探さないと見つからないのである。

大体商売をしてるところは電話がある比率が高いのではあるが、電話があるって少しは優越感というか自慢できる一つでもある。・・母も少しは嬉しかったのかもしれない。

用事があったら電話して？おっ！・・電話があるの・・うん！家（うち）が商売してるから！

電話料金なのであるが、請求書が届いて納付期限までに電話局の窓口で支払うのである。

母からよくお使いを頼まれるのであるが、電話局へも支払いに行った記憶がある。

真一にとっては社会勉強である。友達のなかには電話局へ行ったことがないってのが多くいた。今は振替制度があるのだが、昭和36年から始まるまでは真一のお使いが役にたっていたのだ。本当に今は便利な世の中で、便利になった分は精神的に疲れるだろうし、あの時代は良かったよねと老人たちは懐かしいように話すのである。・・真一もその一人ではあるのだが！

振り込め詐欺なんて当時はなかったし、社会事情は大きく変わってしまった。

コンビニのATMで預金が出来たり、振込み出来たり、銀行へ行かずともなのだから、誰にとっても便利で嬉しいものである。ところでこの頃母のことや父のことを思い出すことがあるし、

、

夢の中に出てくることもある。

そうして夢の中では若いのです。亡くなった時から歳をとらないのだから若いのです。

小学生の高学年の真ん中あたりって5年生頃だろうか？記憶が曖昧なのであるが放課後に近所の公園で遊ぶことが多くあって、そこには飛行塔があり動力で飛行機が回りながら飛ぶのである。もちろん本当に飛ぶのじゃなく鎖につながれてるのであるが、この日もそんなイベントはなく6機ほどか4機ほどか台数は記憶が薄れていて不明確である。

1機ずつチェーンで固定されていて、乗ってみようとチェーンを外したのはいいのだが、乗り場の円形状の床の端に仲良しだったKちゃんがいたのである。

真一は飛行機の陰になっていて気づかずにチェーンを外したものだから飛行機が反動で外側に飛び出し、Kちゃんが2.5mほどの地面に前かがみで落下したのである。

肩付近を骨折した模様で大騒ぎになった。Kちゃんが入院した大事件である。

Kちゃんの母は家（うち）の子怪我をしたらしい、誰と一緒に？って訪ねても言わないのよ？

真一の母にもその話が伝わって、真一は一部始終を告白し、母と連れ立ってKちゃんのところへ謝りに行ったのである。タープーにした事件なのに不思議に思い出してしまった。

つづく

3. 昔日のなかへ (2/2)

3. 昔日のなかへ (2/2)

真一勉強が終わったら使いに行ってくれんやろか？K地区のTさんのところへ頼んでるみかんをとりに入れてくれと階下から父の声が聞こえてくる。中学2年生だろうか中学になってからは使い賃を貰えるのだ。映画でも行って来いや！などなど小学生の頃も使い賃は貰ってたかも知れないが記憶にないのだ。

そういえばどれほどの距離があるのだろうか？10kmはありそうな気がするのであるが、一度懐かしい場所を訪ねて見るのもいいんじゃないかと思っているのだ。

大きい荷台のある自転車、商売用って感じで頑丈なつくりである。真一は勝手に貨物自転車と呼んでいたのだが、これにりんご箱いっぱいのみかんを積んでくるのである。

およそ30kgだったように思う。

じゃあ行ってくるね！気をつけて行って来いよ、先方へはお前が取りに行くって言ってるから！

長い坂道があり、上りきったところに橋がある。此処までの途中に火の見やぐらがある地域を走りぬけ、気合を入れて一気に坂道をペダルをこいで上って行く。

行きはきついが帰りの30kg近い荷物のことを思うと下り坂だから気持ちは楽である。

こんにちは？・・・坂本ですが？みかん・・・とりにきました。

ああ一坂本さん・・・お疲れさん・・・このみかん食べてみてと言ってニコニコしながらおじさんが手渡してくれた。甘いだろう？ほんとうだ・・・甘くって美味しい。

何故このみかんは美味しいんだ。これなら売れて当たり前よねって・・・

実は真一の家（うち）は和菓子屋なのだが、戦後の材料が不足してた頃に果物も売っていたのである。みかん栽培しているTさんのところは、シェパード犬を飼っている。

真一がみかんを食べていると吼えるんだ。「みかんがほしい」って言ってるんだ。

おじさんが犬の名前を呼んで、ほらっとみかんを与えると美味しそうに食べている。

えっみかん食べるんですか？そうなんだ何故かみかんが大好きらしい、変な犬かな！

「美味しいみかんだからだよ」っておじさんの顔がそう言っている。

犬がみかんを食べるってねえ得意顔が素敵で真一は羨ましく思ったのである。

気をつけて帰ってね？お父さんによろしくね！おばさんも出てきて二人で見送ってくれる。

田園風景というか、田んぼの広がっている道をしっかりペダルを踏んで真一は家路に向かう。半時間しないうちに橋のところに着いた。少し休んでいこう。

そのとき橋の手前にクラスは違うけれど同じ学年の女生徒が自転車で通りかかる。

凛々しくって可愛いし頭もいい、真一の中学校では教科によっては他のクラスと定期的と一緒に授業を受けるから話したことはないけれどその女生徒のことは知っていた。

みかんをあげようか？話が出来ればいいなあと思ってはいても真一もご他聞にもれずこの年頃の気恥ずかしさもあって声もかけれない。

真一も同じで女生徒の顔を見るだけが関の山である。
うーん・・・今になって思うと残念なことである。此処だけの秘密の思い出かもしれない。
その女生徒はうわさでは弁護士をなさってるようだ。
よいしょ、ガチャ・・・ペダルを立て荷物を降ろすのであるがこの重さである。ただいまあ！
帰ってきたよお・・・少し大きな声を出すとおお一帰ってきたか「ありがとうなあ」と父が
駆け寄ってきて二人で荷物を降ろします。父へこれで早生のみかんはあと少しって言って
いたよ伝言を伝えるのだ。分かった後で電話しとくよ！
そうそう16歳になったら原付バイクの試験を受けれるからバイクを買うからなと父が
話していた。バイクがあれば重い荷物のペダルを踏まず済むし楽だろうなあ
真一は早く16歳が来ないかなと思うのであるがまだまだ先の話である。
こんな感じでふっと昔の出来事を思い出してしまう。

記憶としては少し違ってるかも知れないが、過去を想うって、物語が心の中に詰まっていて、
その引き出しがひとつひとつ開いていく気がして、良いにつけ悪いにつけ嫌いなことじゃない。
残り少なくなっていく人生の中を前に進んでいかざるを得ない現実の中、昔日のなかをふり
かえって少ない時間と莫大な昔の時間をつないでおく必要が今のこの時では大切なのかなって
真一は思っている。

そしてこれを機会に同窓会にも出席しようと思えるようになった。

クラスメートの顔が分かるだろうか？

好奇心も大いに手伝っているし、また懐かしい状況を思い出されたらいいなあと思う真一なのだ

。

このときに携帯電話が鳴った・・・えっこの時間に！・・・電話は愛ちゃんからである。

つづく

4.久しぶりです（1/3）

4. 久しぶりです（1/3）

真さん・・久しぶりです。美紀さんって方お元気でした？

・・えっ・・元気そうだったよ！

この間はごめんね？自分勝手なお願いなんかしてしまって！

そうそう愛ちゃんも元気だった？1ヶ月ぶりかな、ごめんごめん他の女性の件ですっかり肩身が狭くなってしまって、そして今日はわざわざ電話をいただいて、僕からしなきゃいけないのに！私の方こそ忙しさにかまけて！言い訳にもならないわね！

泊りがけで会うことが出来ない状況だったから、母が入院していたりして、真さんには心配かけて

もいけないと思って・・電話も遠慮していたんです。

そうだったんだ。お母さん大変だったようですね？今はどうなの？

ええ・・おかげさまで先週退院して元気になりました。

母が言っていたのだけれど、真さんが頑張ってるのを何故か知らないけど励みにしてるって！理由は分からないけどそうやっていただけると僕ももっと頑張らねばと元気が出てくるよ。

そんなこんなでやっとなってことで真さんに電話したんです。

それでね真さん・・実はこんな時間に電話したのは突然だけど明日金曜日は予定ありますか？

僕はいつだって愛ちゃんのために予定は空けられるよ

もう真さんって口がお上手なんだから、ところで愛ちゃん何時なの・・？

私のところで夕食しません。そして泊まっていてほしいの！

えっいいのかい何って、実は美紀さんのことで少し「おかんむり」かと思っていたんだ。

真さんと一緒にゆっくりしたいんです。

積もる話もあるし・・とにもかくにも久しぶりだし！！

僕もだよ・・よろしくお願いします。

そしたら明日楽しみにしていますからね

僕も何かドキドキわくわくしてきたよ・・それじゃ明日！

真さんお休みなさい・・遅い時間でごめんなさい

こんな電話だったら深夜便でもうれしいよ・・そしたらね

愛ちゃんからの電話に真一もびっくりするのであったが、泊りがけて本当に久しぶりでと言うか初めて愛ちゃんのマンションを訪ねて以来じゃないか！

久しぶりって辛抱していたのか愛ちゃんも！

いつも気になっていた真一にとっては嬉しい出来事である。

明日は少し早く家を出て愛ちゃんの喜びそうなものでも買っていかなきゃ

少し寒くなってきたから、秋本番に似合うカーディガンがいいかなあ
梅田で阪急の方へも行ってみようか？
何かいいのが見つけれればいいのだが
さあ早く寝て少し早起しなきゃ
何故か金曜日に会ってワクワクするなあ！
ほんとうに子供みたいだなと真一は一人で笑った。
小学生の遠足みたいで・・・なかなか寝付かれないのである
こんなときはやはり音楽だなと音量を下げて聴くのである
あせってはいないのであるがますます寝付けぬ
それだけ嬉しい出来事といえばそうなのであるが
まあなるようになるさとそういい聞かせてはいるのであるが
こればかりはワクワク感が大きすぎて、少しは落ち着かなきゃと思うのである。

つづく

4.久しぶりです（2/3）

4. 久しぶりです（2/3）

ベットの中でふっと原美紀のことを考えていた。

美紀ちゃんとの温泉旅行の打ち合わせのことを思い出していたのだ。

寒くなってからがいいよねってことで、美紀ちゃんが予約をすることになった。

その日はケーキの美味しいカフェでクラシック音楽を聞きながらだった。

そしてこの日はほんとうに打ち合わせだけで、二人とも明日の予定のこともあり真一にとっては平凡な変化のない一日で終わってしまっていた。

これはこれでとても満足した一日ではあるのだが、欲を言えば美紀ちゃんも同じ様子で、別れ難い何か物足らないような日であった。

愛ちゃんからの誘いは、この秋一番のビッグな出来事になる予感がしている。

やっぱり愛ちゃんだよね真一は心からそう思うのである。

そうしてラジオ音楽を聴きながら寝入ってしまった。

朝が来て、近所の猫の鳴く声・小鳥のさえずり・静かな住宅街なのでよく聞こえてくる。

いい天気だ。窓のカーテンの隙間から青い空が見える。紺碧の空・すがすがしい。

目覚ましがなる前に目覚めるって久しぶりである。良く眠った感じで体も心地よい。

さあ朝食でも作って体調を整えて出かける用意をしなきゃ

うきうきする様な気持ちで心も弾んでいる。

バス停までは少し坂道になっていて、加齢とともに休まずに歩くのは結構きつくなっている。

走って行くにはとても無理であって、呼吸器の発作が起きる可能性もある。

無理をしないようにしなきゃ！

ここで呼吸困難にでもなれば愛ちゃんとも会えなくなってしまう。

そんな訳だから、ゆっくり歩いている真一自身の行動がどんな姿に映っているだろうか？

老人ぽく見えていないだろうか？

知人にでもバス停で出会えばさりげなく聞いてみてもいいのだが？果たして何といえよ！

歩き方どんな感じでした？おじいちゃんみたいかな？これでいいか！

真一はカジュアル的な服装だから少しは若く見えるかも知れない！

この日の真一は半ズボンとタイツというかロングのレグフォーマーに濃い紺色のカーディガンと薄地のマフラーというスタイルである。これはいつもの格好である。

姿見でチェックしてきたし、格好だけは若く見えているんじゃないかと自己満足している。

途中で立ち止まって休憩する際は携帯を取り出し、メールをしているふりをしているのだ。

休んでるようには見えないように何故か気を使ったりしている。

こうまでしなくてもと思うのであるが、いつまでも若くいたいと思うのと同時に愛ちゃんとの

ことも

考えている。としより臭いってことは愛ちゃんも嫌なのじゃないかと思っているのである。愛ちゃんはそんなことを思ったりはしないのであるが、並んで歩くってことになればやはり真一の方が気をつけなきゃと思っている。

これは男性だけじゃなく女性もいつまでも若々しくいたいと思う気持ちは同じじゃないか！時間より早く着いて待つのを気にしなくなった真一である。

10分前にバス停に着いた。バスを待つ間に腹式呼吸をしたり、片足立ちをしたり、つま先立ちをしたり、そして周りの風景に見入っていたり。そうこうしているとバスがやってきた。

10時って通学や通勤時間から外れている時間帯なのに乗客は10名ほど乗っている。

バスカードを通すとエラーが出て受け付けてくれない。

近くの席に座って次の停留場で再びバスカードを通そうとするとJRの回数券と重なっていた。

なんだくっ付いていたのか、これがエラーの原因なのだ。

そうかそうか真一は苦笑いをした。

つづく

4.久しぶりです（3/3）

4. 久しぶりです（3/3）

今度は大阪上本町行きの急行に乗らなきゃ

久しぶりに切符を買おうと行き先と運賃を見るのだが時間がかかってしまう。

次は定期券を買わなきゃいけないなあ、そしてまだ着いてもいないのに何故かそわそわする。昔に聞いたことがあるのだけれど青春とは自己鍛錬による自己発見の時だと記憶していたことが思い出されるのだ。

大好きな女性に会えるって思うだけで心のドアが勝手に開いてドキドキしてしまう。

これって年老いても青春という扉があって、独り占めしたい独占欲やら同姓に対する嫉妬との戦いが始まるのだと思うとこれも自己鍛錬なのか？

そして若い女性を恋人にしている自分は何故かこの世に対して反逆的行為をしているんじゃないかと控えめになったりしている。

反逆的な行為の現実に対し、自分を責めてはいるものの今は愛ちゃんの一途な心を素直に受け止めたいと思っている方が勝っているのだ。

この恋愛については、結果を深く考えずにおこうと真一はそう思うことにしている。

その日その時の心の感じるままに愛ちゃんと一緒に過ごせる日々を感謝しないと駄目なんだと思うようになっていく。

車窓からの景色を眺めていると、色とりどりの風景にふっと考えさせられるシーンに遭遇すること

がある。ある女性の家に泊まり翌日の朝、二人して阪急電車に乗ったことを思い出していた。席を取ろうと素早く乗車したのは良かったのだが、真一より少し早い中年女性が一步先だった。それを見て彼女は笑っていた。二人並んでつり革に手をやりながら彼女は無言で瞳を閉じた。横顔を見るとそれはそれはこんなにも美しく綺麗な彼女だったのかと驚いたのである。

手前味噌じゃないけれど、付き合ってる女性が美しいと何故か嬉しくなってくるのだ。

そして誰にも渡したくないと思うのである。

いやそれって危険な信号なのだ。・・真一には好きな女性が綺麗に見えるってことはそれだけのめりこんでいる証拠だし、綺麗に比例して心まで奪われていることに他ならない。

そして結果としてふられてしまうのである。

あの時もそうだったし、愛ちゃんの場合も考えられないことはない。用心しなきゃ！

何故かよそよそしくなって言葉遣いも馬鹿丁寧になり、女性からすれば面白くない人間になってしまうのだ。そしてある小説の中の言葉を思い出していた。

「結婚式を挙げたからといって、直ちに夫婦になったとは言えない。夫婦とは一生かかって努力しあってなるものである」そのとおりだと納得する一方で、真一事態は妻とは早くに死別して

一生かかって努力しあっていないのである。

愛ちゃんと結婚できたとして、真一の場合は亡妻との続きになる的な考えなのである。

人間一人では生きえないこと。

夫婦だけいくら愛し合っても人の助けなくしては生きていけない

ってことを小説の中の言葉にあったことを今さらのように思うのである。

確か妻が亡くなったときに近所のクリスチャンの方が葬儀の全てを取り仕切ってくれたのだ。

ほんとうにありがたいことで、受けた好意はいずれ何らかの形でお返ししたいと思っている。

さてそうこうしていると大阪の上本町に電車は着いた。

初秋から秋本番へのこの季節行き交う人たちも夏の疲れを癒すような足取りであるが、この良い季節を実感して何故か楽しそうなのだ。

平日の正午近い時間は多くの人で混み合っているし、仕事をしていると思えない人々がこんなにもいてるんだと真一は思った。

つづく

5.いつものところで（1/3）

5.いつものところで（1/3）

やあ～愛ちゃん・・久しぶり・・。

真さんこんにちは・・顔色も良くてお元気そうでなりよりです。

何故か真さんの見てると私まで嬉しくなってきましたよ！

水色のミニ丈のワンピースに薄手の少しピンクかったカーデガンを羽織っていて、しゃれたローヒールのこげ茶色のパンプスを履いている。

そして長い髪にポニーテルなのだ。

うーん・・真一にとっては一番好きであろうイメージである。

シンプルな服装なのに、やっぱり垢抜けしてて都会の娘って感じで爽やかである。

そうしてこのように駅まで迎えに来てくれている。

愛ちゃんの自宅まで行くつもりだったのに、こうしてサプライズの出迎えになかなかどうして優しい心配りには心がこもっていて感激の真一なのだ。

これからの予定はどうなるのだろうか愛ちゃん

真さん何処かでお昼をしてから予定を考えましょうか

ところでスニーカーってハイヒールと違ってありのままの身長だから当然真一の方が背が高くなるのだが、今日のこの日もハイヒールじゃなくローヒールとさりげなく気遣ってくれている。何時ぞやなのであるが、背伸びしてキスしてるシチュエーションがとても大好きなんだと話したことがあった。だからそんな雰囲気になればいいなあと考えてたりして真一は胸がわくわくしている。

愛ちゃんに食事が終わったら少し休んで行かないかってそっと聞いてみた。

ええ、私もそうしようと思っていたのよ

真さんとは波長がいつも同じやから、もちろん思ったとおりにして良いわよくずっと愛ちゃんが微笑んで、僕のほうに可愛い瞳を返してくる。

初めてデートした時のような心ときめく気がするのは愛ちゃんも同じなんだと都合のいい理由をつけてしまっている真一である。

昼であるがざるそばに決まった。二人は並んで目的の蕎麦屋へと歩いて行く。

そろそろ最初に着いた駅から電車でひと駅の終点で降りてから、数分のビルの中に蕎麦屋はあるのだ。このビルの中は食堂街のような感じでいろんなお店がある。

此処まで数分の短い時間であるが、愛ちゃんと電車に乗ったのは初めてなのである。

前は真一が一人で愛ちゃんの自宅まで出向いたから、こうして二人で電車に乗り他の乗客とともに座席に座っている光景って他人の視線を不思議に感じてしまう。

年齢の離れていることもあるのだが、妙に得意げな気分になり要は自慢したい気分なのだ。

親子に見られずカップルに見られてるとしたら余計である。

他人はどう思っているだろう？あの二人親子かな？いや違うんじゃないか？
恋人同士ではないだろう歳が違いすぎるし！恋人同士なら熱愛中なのだろうか？
ほんとうに・・・どんなことを他人は思ってるのだろうか？
愛ちゃんの顔をそっと見てみたが、平然として車窓の景色に見入っている。
変なことを考えるのは真一だけかもしれない。
いちいち他人のことを気にして、考える余裕などそんな暇な人はいないだろう
それもそうだ・・・思わず一人で苦笑いをした。
真さん？何が可笑しいの一人で笑ったりして
あのね僕たちを他人が見て何て思ってるのだろうと考えていたら何故か可笑しくなって
なんだ真さんって面白い人
そうだよね・・・愛ちゃんのような素敵な女性と一緒にだと嬉しくって、自慢したくって、男ってほんと
単純なんやね？

つづく

5.いつものところで (2/3)

5.いつものところで (2/3)

ビルの中なのに大きなちょうちんがぶら下げられていて和食って感じのたたずまいの店の前に着いた・・・ここだよ愛ちゃん！

わーい・・・いい感じじゃない。

そうなんだ外観での見た目が良いのと味も良いお店のような気がするだろう

このお店は本当に美味しいんだから、今日は席待ちの人もいないしラッキーって感じだよ暖簾の中を覗くと空席があるし、座れそうだし・・・じゃあ入ろうか？

いらっしゃーい・・・お二人様で？

どうぞこちらへ・・・端っこの席で少し解放的な位置にある席に通された。

僕は大き盛りの天ざるそば、私は普通の天ざるそばで・・・。

ねえねえ此処の大き盛りなんだけど、ざるがもうひとつとだしの容器も追加でついてくるんだ。

へえーそうなんだ

でも真さんって大き盛りって食欲すごいよね

ほんだよね愛ちゃん・・・元気に感謝しないとイケませんよね

呼吸器だけ悪い以外はドクターのお墨付きで元気も元気なんだ

この店は冬もざるそばをやってるんだって！

人気があるのですね

お待たせしましたあ、大き盛りのお客さま、そして天ざるのお客さま

うわー美味しそうですね真さん

じゃあいただきますか愛ちゃん・・・いただきます・・・真さんいただきます

二人して胸の前で両手を合わせます。

これはこれは・・・こんなに美味しいのね初めてだわ私

そうでしょう・・・なかなかいけるでしょう

私・・・はまってしまいそうになりそうです。

真一は二つ目のざるに手をつけます。

私も大き盛りを食べれそう、次は絶対大き盛りにします。

若い女性が一人で来て大き盛りって恥ずかしいから真さんを誘ってまた来たいです。

すみませーん・・・大き盛り追加できますか？・・・はあーい分かりました。

真さん・・・すみません追加してもらって

気に入ってくれた愛ちゃん・・・いつでもご相伴させてもらいますよ

僕は毎日が暇やから・・・いつも愛ちゃんのそばに呼んで下さい

少し時間がかかるけどね

ごちそうさまでした。

大盛りってなかなかいいですよ

うん・・・讃岐うどんなら最初に小中大ってあって追加ってできないけど

混んで来たし、他愛のない話を少ししてお店を出ることに

「おあいそ」お願いします。真一は勘定を済ませて愛ちゃんと店を出た。

真さん前に行った事のある喫茶店へ行きましょうか？

ああーアルバイトしてたってところだよ？

ところで愛ちゃんお腹大丈夫？

私はOKです。真さんって・・・スイーツは別腹って言いませんでした。

そうそう真さんが言ってたのよ

そうだったよ愛ちゃん

別腹が多いのだよね最近は・・・。

つづく

5.いつものところで (3/3)

5.いつものところで (3/3)

喫茶店に着いた…。いらっしゃいませ…。お二人様でいらっしゃいますか？…。ええ外の景色が見える結構いい席に案内してくれた。ご注文お決まりでしたらお聞きします。そしたら僕はイチゴジャムのようなのがいっぱい乗ったケーキにするよ、そしてアイスコーヒーを

じゃあ私はチョコレートのやつとアイスコーヒーをお願いします。

だいたい二人とも甘党である。

そうかそうかそれだから気が合うはずなのである。ねえ愛ちゃん？そうですよ真さん…。

この店のスタッフは可愛い女性が多く、メイド服も良く似合っていて知る人は知る人気のある店なのである。男だけの客はいなくて女性同士か真一のようなカップルの客が多い。

連れの女性も可愛くて綺麗な人が多い。ほんと愛ちゃんも可愛くてきれいだものなあ？

真さんってお世辞が上手なのだから何故か恥ずかしいです。

ところで愛ちゃんって…。健康の方は不安ってないの？

実は僕の方だけど喘息と肺気腫で体動時に呼吸が苦しい時があるのは以前に話したことだけど実家に帰った時に市が行う特定検診で肺がん、大腸がん、前立腺がん検査で全て要精密検査になってしまったんだ。

そうだったの真さん…。大変じゃない大丈夫なの？心配だわ私！真さんには長生きしてほしい。

まだ結果がはっきりしないのだからあまり心配しないで…。ありがとう愛ちゃん

ほんとうに健康って大きな財産だよな！いろんな病気になったり、そのために入院してる人は特に心にも負担ができたり大変だと思っている。

今まで人ごとのように思って生活していたのが、幸せというか有り難いことだったんだよね！

つくづくそう思うんだ。…。ごめんごめん暗い話になってしまって…。

同じなら楽しく行きたいし、いろいろと弾きたいよね？

それじゃ真さんいつもの気分でいきましょうか…。フッフツ

どうしたの愛ちゃん？…。ううん何でもないよ真さん

真さんってねえねえ？何だよ愛ちゃん…。さっきから変だよ

何故か真さんをじっと見てるだけで楽しくなってくる。

そんなまじまじ見ないでよ愛ちゃん…。可愛い女性にじっと見られると恥ずかしくなってくるよ親子ほど歳が離れているとホント仲良し親子に見られているかもね

まさか好き同士で、恋人同士って誰も思わないだろうから不思議ですよいね

いやいやそうでもないよ愛ちゃん…。分かる人には分かるかもしれないよ

そうだとしたら余計にそれらしくしないと駄目かなあ

会話を聞かれていたら、あのカップル不倫してるって？

そう思われているかも知れないよ・・・もうキス以上はしてるのだろうかとか？

わあーいやだ真さん？・・・でもほんとうだから仕方がないですよ！もうしちゃってるだからね
愛ちゃんもよく言ってくれるよね？・・・こうでなくちゃ・・・だから楽しくなってくる。

まあ真さんたら・・・このあと久しぶりだから楽しもうか真さん（少し顔を赤らめている）

変なこと言うからつい私から言ってしまったじゃない・・・真さんが悪いのよ

ごめんごめん・・・じゃあ・・・あらためて・・・久しぶりだから楽しもうか愛ちゃん？

愛ちゃん顔が赤くなってるし、女性の口からは恥ずかしいのじゃないかと僕から言ってみたよ
いいのかなこれで・・・それとも駄目？

ほんとありがとう・・・そのとおりのだから・・・会いたってことは？そうですね・・・やっ
ぱり！

ときどき待てないって思うことがあるの・・・私って変態なのかなあ？

そんなことはないよ絶対に・・・そしたら愛ちゃんから会いたって連絡があったら、僕の方もその
つもりにしておくよ

もしそうでなくても僕は絶対にそのつもりでいるよ

あらあら真さんって・・・フッフッ

そうそう真さんこのメイド服のスタッフさん可愛いから近づいてくるだけでドキドキしない？

ミニスカートだし、胸も大きそうだし

愛ちゃんって僕の全てを見透かしてるような気がして・・・下心丸出して見抜かれるんだよね

下心があるとか顔に出てくるのだろうか？何故か恥ずかしいよ

真さんって草食系というか肉食系ですものね？受身じゃないし

だんだんと会話がエスカレートしていく二人なのです。

この先どうなるのであろうか。

もう二人の第1ラウンドが始まっているのです。

つづく

6.愛を感じていますか（1/3）

6. 愛を感じていますか（1/3）

夏の終わりになり秋になった・・・そして愛ちゃんから電話があった。
真さんお元気ですか・・・体調を崩されているって聞いたものだから？
そうなんだ呼吸器内科で診てもらったら肺が半分煙草で駄目になっていて、酸素療法（HOT）
を始めたほうがいいってことなんだ。
酸素供給装置を自宅に設置してチューブとカニューラで酸素を吸入するってロープで
つながれているようで今から何故か不安っていったところなんだ。
真さん大変じゃない？
酸素ポンペを引いて歩いている方を見かけたことがあるけど、あんな感じかなあ真さんも？
うん・・・そうらしいんだ。
でも少しは興味があって呼吸が楽になるのだったら体験してもいいかなと思っていたんだ。
苦しい思いをせず酸素に助けってもらって、早く歩けるならそれはそれでいいことかなあと・・・。

まあそんなに甘くはないと思うのやけど、愛ちゃんにはこれからもいろいろとお世話に
なるみたいだし、よろしくお願いします。
ええいいわよ、他ならぬ真さんだから何かお手伝いできないかしら？
今頃は仕事も落ち着いて、時間も余裕があり休みを取りやすくなっているのよ。
真さんがよければ車椅子を押して付き添ってもいいわよ
私の母もゆくゆくはってことを考えなきゃいけないし、真さんで練習しておくのもありかなと！
いけない真さんの気持ちを考えず簡単に口に出してしまって
あっはあはあはあ・・・そんなことないよ愛ちゃん・・・。
上手い理屈になるよ・・・いよっ！愛ちゃん
そういうことで是非よろしくおねがいしまーす。
僕は楽しみにしていますからね
真さんって・・・私・・・頑張りますね

真一は呼吸器内科を訪ねていた。
先生そろそろ酸素療法はどうなのでしょう？
呼吸器障害者手帳が取得できたし、本当は医療費無料を目指していたんだけど！
今日から始めましょうか？
えっ今からなんて大丈夫なのですか？
業者へ電話しておきますから
治療費が無料にならないかと思ったけど1割負担になり少しは楽になるでしょうから始めましょ！
業者から電話があると思いますからお待ちになって下さい。
受付で会計を済ませます。

うむ・・・在宅酸素療法指導管理料が診療明細に記されていて内訳には酸素濃縮装置加算、携帯用酸素ボンベ加算、在宅酸素療法材料加算（その他）開始日4月4日点数7,380点となっている。

先生は直ぐに手配してくれたんだ。

昼から業者より連絡があると言ってたから・・・。

どんなものなのか何故かドキドキする真一なのである。

この日の医療費は診察も含めて8,200円、1割負担だからこの額で保険の適用がなければ？82,000円ということなんだ。1年でおよそ100万円近い費用になってしまうってすごい。

真一はびっくりするとともに保険が効くっていいよなあと今さらながら感心するのである。

少し息苦しい・・・調剤薬局まで緩やかな10mほどの坂道になっているから息が弾んで呼吸が速く
なっている。

つづく

6.愛を感じていますか（2/3）

6. 愛を感じていますか（2/3）

これじゃね・・・10mほどなのに車に乗って行くことにした。
息の整うのを待ってハンドルを握る。
こんな時に決まって真理（天地）さんの曲を聴いたりしている。それもカーオーディオアンプの音量
を少し大きくしているのだが不思議に元気が出てくる。
これって何だろう？音楽も薬なのだと最近良く思うのである。
だから自宅にいてる時でも真一は音量を高くしてかけっ放しなのである。
リーン、リーン、リーン・・・レトロタイプの電話機だから少し違った呼び出し音である。
T機器ですが酸素をお届けにあがりたいのですが、午後2時はお在宅でしょうか？
はい大丈夫です。お待ちしております。
おお一ついになんだと真一は不思議に興奮している。

ルウルウルウルウ・・・エンジン音が家の前から聞こえてきます。
ピンポン・・・T機器ですがよろしくお願いします。
容量15kg少しのダンボール箱ほどの大きさの酸素供給装置がまずは家の中に、引き続いて携帯
酸素ボンベが運ばれてきます。
近くで見るものだから、へえーこんな感じなんだと直ぐにでも使ってみたい気持ちになってきます。
取り扱い説明があり、酸素量の設定がされます。
安静時1L/min、3Lまでコントロール出来る供給装置そして携帯酸素ボンベ、専用のキャリーバックと言うか車輪がついていて引いて運ぶやつです。
これこれ・・・どんな仕組みなのか、特に注意して説明を聞く真一である。
何せこれを携行して愛ちゃんと会うことになるのだから、見栄えもデザインも気になるところである。

なかなかいい感じ、最初はダサいんじゃないかと思っていた真一なのであるが、これならまあいいかと少しは納得である。試運転が楽しみになってくる。
とりあえずの設定は携帯酸素も1L/minでテストすることにしたのだ。
街で初めてお目にかかったときはショッピングバックかと思ったものであるが1L入りのペットボトル
がケースに入ったような感じでなのである。
カニューラが鼻腔から外れて酸素を吸わないと警報アラームが鳴り響きます。
酸素は出しっ放しの連続もできるようであり、電池切れなどや吸っても酸素が出ないときの緊急

時も大丈夫のようである。

酸素ボンベは計2本、使用中は1本、予備は1本となっている。

担当者からカニューラの付け方、酸素量設定について教えて下さいます。

そして大事なことは火気厳禁であること。

焼死する事故が発生してるようで特に注意するように言われました。

少しだけ家の中で歩行してみたり、階段を上ってみたり、うーん少し息苦しい気がするのですが

1Lってこんなものなのかと思ったり、そうだと近くを散歩すればいいと考えたりするのである。明日は近くのバス停まで歩いてみようか？

そしてパルスオキシメータでSPO₂%をチェックしてみなきゃと思う真一である。

初めてだから使いこなして、慣れておかななくちゃ・・・様にならない。

愛ちゃんと会うときまでにスマートに使えるようにと思うのである。

翌日、バス停まで緩やかな坂道を歩いてみた。

この緩やかな坂道なのに息が大きく弾んで少し息苦しい。

これじゃ酸素吸入している意味がないと感じる真一！

呼吸器科の先生に相談すると呼吸が楽なところまで酸素量を増やしてもいいと言われたのだ。

そうだよ酸素を吸って苦しいならそうだよと納得するのである。

つづく

6.愛を感じていますか（3/3）

6. 愛を感じていますか（3/3）

酸素量を試行錯誤のうえ一応3.5 L/minにセット、自宅の酸素供給装置も体動時にはMAX

の3 L/minまでアップして使用することにしたのである。

そうして歩行するにも呼吸が苦しくなりそうなら休むこと、呼吸が楽になってから歩くこと。

こうしてどうにか苦しめない程度はどんな状態かを知ることになるのである。

ようーし、これで愛ちゃんに会いに行くか！

メールして早速このことを伝えると少ししてから電話があった。

真さん大丈夫なの？無理しないでね！

一応試運転して練習しておいたから本番のテストをしたってことで連絡したんだけど！

愛ちゃん・・・都合はどうか

真さん私はいつだっていいですよ、少し違った真さんに会えるって何故かドキドキしちゃう

私・・・真さんの歩くスピードに合わせるから、そしてせっかちに歩こうものなら注意してあげる

。

いやいや愛ちゃん・・・ほんとうにありがとう・・・何故か涙が出てきたよ

不思議に愛ちゃんの愛を感じてしまった真一である。

僕・・・僕・・・（声がつまってしまって）

なあーに真さん

愛ちゃんに愛を感じています・・・。

えっ・・・真さんたら・・・うふふ

真さんっていつまでも初心（うぶ）なんだから

だから・・・私も好きになったのだからね

そうそう真さん

私も楽しみにしてるからね

じゃあ・・・さようなら

電話での余韻が残っていて真一は感動に浸っている。

愛ちゃんっていい娘だよ

真一はいつもそう思っている

こんな優しい娘はいないよ

実の娘みたいな感じで

いやいやそうじゃなくって出来すぎた恋人

いやいや最高の妻じゃないか

真一は涙を拭きながらつくづく思うのである。

愛ちゃんが希望してるように・・・？

やっぱり・・・愛ちゃんと結婚したほうがいいかなあ

真一は愛ちゃんとの今までの出来事を思い出している。

何故だかいい思い出ばかりで悲しいことがない。

これって大切なことであって幸せなことなのに少し不安があるのだ。

そう悲しいことがないためなのだ。

愛ちゃんにも以前に話したことなのだが愛ちゃんはそんなことぜんぜん気にしていない。

幸せっていいものだから悲しいことにならないよう、そうなる前に二人で乗り越えればいって

今幸せなのは、真さんに今まで悲しいことがあったからなので私が幸せにするわと言う。

思い出すだけでほんとうに何度も瞳を濡らしてしまう。

真一にとって愛ちゃんはほんとうにかけがえのない女性になってしまっていた。

愛ちゃんがいないと今の僕はいないと心の中で確かめるように頷く真一なのである。

僕の命にかえても愛ちゃんだけは不幸にしてはいけないと思うのである。

つづく

7.手をにぎりましょう（1/3）

7. 手をにぎりましょ（1/3）

懐かしい夢をみた・・・夢の中で妻が出てくるなんて

遙か昔であるが、岡山県にある後楽園というところへ二人して出かけた時のシーンなのである。

見合いをして初めてのデートで、少しはお互いに知り始めた頃だろうか？

真一ってシャイだから自分からは恥ずかしくて「手をつなごうか？」って言わないのだ。

松田聖子の「赤いスイートピー」って曲の歌詞だったような記憶があるのだが、♪知り合った日から

半年過ぎてもあなたって手もにぎらない♪を地で行っているようなのである。

そんなことを承知してるのか、真一の両親から奥手でシャイなことを聞いて知っているのか！

妻から「ねえ・・・手をにぎりましょ」と言葉が先か行動が先かいや「腕を組んでもいいかしら」だった

か曖昧なのだが結局は腕を組んで歩くことになり、最後は手を握ることになったのです。

腕を組んで手をつないで歩いて、今になって思うと奇跡のような出来事じゃないかと。

たしか運動会でフォークダンスがあり、次から次と女の子の相手が変わるたびに手を握らないと

いけない場面があり、恥ずかしくて顔が火照って真っ赤になりそうなこの出来事がどうしても苦手

だった真一なのである。今思い出すと不思議に滑稽で笑ってしまう。

特にちょっと好きな女の子の場面になると、手を握ってしっかり前を向いて女の子の顔さえ見ることが

出来なかった。前を向いていないから転倒することもあるのだ。

女先生からは坂本君・・・下を向いてちゃ駄目だよ、前を向いて楽しくしなさいって注意されていた。

その頃のことを思うと今は少しどころか成長し過ぎて感じなのである。

歳を重ねるってほんとうに素敵なことで、若い娘と手を握って歩いてそんなに恥ずかしいことでは

なくなっている。

実際それまでにはダンスを習ったりしたり、比較的女性の多いイベントに参加したりして、特に好き

だったジルバーを踊っていた。

やはり年月って不思議なもので、人って黙っていても成長していくんだ。

そう思っってはるか彼方を楽しく思い出すのだ。

そうかそうか？愛ちゃんとはいつから手を握ったのだろうか

うーん・・・いつだったか思い出せない。

会社に勤務していた頃は？さすがにこれはないよね？会社の誰かに目撃でもされようものなら大騒ぎになってしまう。社員数が多くないそんなに大きな会社でないにしろ大阪駅付近であったり

阪神百貨店へ行く地下街だったり、同僚と出くわす可能性はなきしにも有らずである。

いつぞやであるが難波で違う工場の後輩に出会ったことがある。

真一は新入社員研修での講師をやっていたことがあって面が割れている。

犯罪関係でないから面が割れてるってじゃなく顔を知られているだろう？って自分自身にツッコミを

したりして思い出しているのだ。

女性と連れだっっていようものなら翌日決まって目撃者からいろんな質問が飛び交うのだ。

坂本さん！！ねえねえ何処で知り合ったん可愛い女性じゃない、隅に置けんよなあ

これが社内の女性だったら、いつからなん知らんかったわ

坂本さんって以外に手が早いやん！羨ましいってことになり、社内での渦中の人となってしまう。

これだけは避けないといけない。

相手の女性にとっても一番嫌じゃないかと真一はいつも思っていて気にかけている。

だから社内恋愛だけは絶対にしないと何故か心に誓っていた。

まあ退職後はその呪縛から逃れられているので愛ちゃんとはなるべくしてなったと思っている

真一なのであるが、気をつけるに越したことはない。

一度愛ちゃんと話し合っておかなければならない。

つづく

7.手をにぎりましょう（2/3）

7. 手をにぎりましょ（2/3）

そうそう・・・社内恋愛や会社関係の人との恋愛について一度は愛ちゃんに聞かなきゃ今のこの状態に愛ちゃんには感謝しないとイケない。

真一が勤めている時には愛ちゃんにはこれといった男性が社内にはもちろんいなかった。ほんと不思議なことである。

よりによって退職してしまった老人の真一と仲良くなっているのだから愛ちゃんも同じような呪縛を

受けていたのかも知れない。次回会うのが楽しみになってきた。

そうだいつから手をにぎったかも聞かなきゃ

結構女性ってしっかり覚えてくれているから楽しみである。

愛し合った日もどうかなあ？愛ちゃんにこんなこと聞くと怒るかなあ

いやいや愛ちゃんって少し天然だから良い返事が返ってくるかも知れない。

そんなことを考えていると携帯電話がかかってくる。

うわさは何とかで愛ちゃんからである。

こんにちは、真さん・・・今大丈夫ですか？

ああ一大丈夫だよ

お元気そうな声で安心しました。

実はねお会いするの何時が良いかと電話してみたのだけど

そうだったんだ・・・気にかけてくれてありがとう・・・愛ちゃんに任せるよ

いやこれって一番悪い返事だよ

僕なんか年中休みで暇だからいつだって良いよ、やっぱりこんなことって働いてる人が優先だと思ってるんだ・・・そうそう年中休みじゃなく少しは愛ちゃんのお陰で働いてるけど

真さん・・・いつも優しいのね・・・何故かうれしい

じゃあ明日でいいかなあ！どこかでランチする？もちろん禁煙のレストランだけど、歩行禁煙のルートを選んでのことだから真さんにとってもいいんじゃないかって

愛ちゃんうれしいよ・・・そこまで気にかけてくれて

そうなんだ酸素ボンベと一緒に火気厳禁なんだよ！よく知っていたね

あれから少し調べてみたんだ私・・・どのようにお手伝いしないといけないのか

私も勉強になったし、介護者初心者だからお手柔らかにして下さいね

いやいや・・・もう感激しちゃってるよ愛ちゃんありがとう

ほんとだ・・・涙声になってるよ真さん・・・涙もろくなっちゃったんだ

でもいろんなことに感動するって大切なことだからまたメールで場所を案内するからね

そうそう駅まで迎えに行くから、場所によって無料貸し出しの車椅子があるから借りてこようかと

考えているのですよ

ほお一無料レンタルの車椅子が用意できるって知らなかったよ

一度試してみるのもいいかも知れないよね愛ちゃん

・ ・ これもお任せしていいのだろうか？

愛ちゃん結構大変だと思うけど

ぜんぜんいいわよ、じゃあ車椅子と一緒に駅の改札口で待つことにします。

車椅子を用意してお迎えか？

こんなこと初めてだから愛ちゃんの顔が見えたら泣き出すかも知れないよほんとうに！

これって他人から見てとても微笑ましい！

ほっこり父娘（おやこ）ってことになるのかなあ

勝手にそういうことにして明日はとても楽しみにしているからね愛ちゃん

ありがとう喜んでくれて ・ ・ それじゃ明日ね真さん！！

つづく

7. 手をにぎりましょう (3/3)

7. 手をにぎりましょ (3/3)

そういえば最近「ありがとう」って良く使うようになった。

「ありがとう」って人を優しくする魔法の言葉だから、どんどん使わなきゃって聞いたことがある。

翌日になった・・・。身支度を終え酸素ポンベを新たな1本にしたし、用意完了。

出発である・・・バスと近鉄電車・・・上本町に到着します。

白のブラウスに緑色のカーディガン、黒のミニスカート、白のスニーカー、愛ちゃんの顔から笑顔が

弾けて手をふっている。

そしてゆっくりねと両手を下へ下へ繰り返す合図をしているのだ。

改札口をとおり目の前にいる愛ちゃん・・・久しぶりです真さん

そうそう車椅子に乗ってみて？

酸素ポンベは後部へ移動しますね

鼻腔カニューラーは外しておくよ車椅子だし、僕は動かないから

呼吸が苦しくなったらまた酸素を吸うから、そうそうこうやってこうするんだ。

酸素の所のハンドルが少し固くなって力が要るんだ。

これって凄いんだ吸う時だけ酸素が出るようになってきているんだ。デマンド装置というらしいのだが

すごいよね。ポンベのキャリーバックにはマスクやら帽子、乾電池の予備、ポンベを体に固定する

ようにとベルトまで入れているからなんと賑やかにしてるよ

まあまあ用意万端なのですね・・・真さんらしいって感じがするわ

さあさあ・・・それじゃ出発しますよ

ゆっくり押しますからね

OKOKいい感じだよ・・・うわあ楽ちん楽ちん

愛ちゃんが押してくれるから楽しくって最高だよ

そうそう真さんってほめ上手やから、仕事の時もこれって出来るかなあと考えていても何かしら

簡単に出来そうに思えるのは真さんの特技なのか、話術かなあ？

人を使うというか教えるというか真さんって上手いよね

いやいやこれこそ歳の功というか亀の甲っていうか・・・何なんだろう

あのねお昼だけどカレーって駄目かしら？

真さんって昔だけど毎日カレーでも大丈夫、気にしないよと言ってた事があったから、サラダも

付いてるのだけれどいいかしら？

それから昼から焼肉ってどうかと思うし、お寿司もいいけれど昼間からお寿司ってうーん贅沢
すぎて真さん良く言ってなかった？

愛ちゃんって良く覚えてるよね、そのとおりだよ

ところでちょっと聞きたいことがあるんだけど

なあーに真さん

手をつないだの何時だったかなあ？

そうそうそれと社内恋愛をしない派なのかなあいやいや嫌い派なのかな

いっぺんに言うけど・・・低い声で・・・愛し合ったのは何時だったあ？

えっと・・・車椅子の前に膝まづいて低い声で・・・

やっぱりね！！

愛ちゃんって凄いよ全部覚えてるんだ

そうかそうか社内恋愛派じゃないのか・・・そうかそうか

あの時って？ああ覚えてるよ・・・そうだったあの時なんだ

今から思うといい出来事ばかりで、すごく楽しかったわ私

いい話題だよ愛ちゃん・・・まあ真さんたら

つづく

8.潮騒の香り（1/3）

8. 潮騒の香り（1/3）

先週は愛ちゃんとの再会とランチ、二人とも牡蠣フライのカレーライスを、ここではキャベツのピクルスが付いています。そして野菜サラダをいただきました。とにかく今思い出しても楽しい一日であった。無料レンタルの車椅子を改札口まで用意してくれて、ランチのレストランまで運んでくれて、これじゃキスなんか無理だよと笑いあったのであるが、綺麗で清潔な障害者トイレだったものだからちゃんと済ませてきたりしたのである。車椅子の障害者とそれを介護する若い女性としてしか周囲には見えないから！うむ・・・真さんってこれってなかなか良いですね？ほんとだ・・・こんな感じで好き好きってことができるって、愛ちゃんよかったねお互いハプニング的で少し怪しい恋愛スタイルだなあこれはこれとは別れるまで話題になって笑っていたような気がしている真一である。

そうそう障害者との恋？いやいやそうじゃなく障害者と介護する者の割引制度で二人して旅行するのも良いのじゃないかと・・・愛ちゃんも積極的に利用していいからね
そうだ今度真さんの実家へご一緒してもいいかしら
そうだね！愛ちゃんがそう言うものだから、早速に話もまとまってお正月休みはどうかしら？
計画しましょうよとなったのである。
混みあう日を避けて愛ちゃんも早めに休みをとって10日ほど楽しみたいと考えているようなので
それまでは楽しみな良い日々を過ごせそうである。
真一は愛ちゃんと一緒に10日間ってどんな感じなのかほんとうにわくわくするのである。
そして真一は呼吸器の状態が良い日を選んで実家に帰ってきている。
夏が過ぎた秋の風って心地よくなって少し窓を開けるとたちまち近くの海岸からの潮騒の香りが部屋の中に入ってくる。

ベランダの方はというと山々の緑が輝き、これから秋が深くなってくると色とりどりの山々がさらにきらきらと黄金の輝きを増すであろうし、赤くなった紅葉模様も素敵で目を楽しませてくれる。

ほんとうにいいところにマンションを買ったものだと真一は自己満足をしている。
それまでは両親が住んでいて、亡くなってからは長男が住んでいて、今は空き家になっている。
現在は実家というか、自宅と実家を行き来する二地域生活者の真一である。
これって贅沢だよ人にはよく言われるのであるが、人が住んでいないと傷んでしまうだろうと

言うし少しでも大好きなふるさとだから少しでも住むようにしているのだ。

呼吸器を病んでからは少し苦痛でもあるのだが、曲りなりにでも自宅との生活が出来ること自体を幸せと思わなきゃと考えているのだ。

これに愛ちゃんが加わるともっともっと楽しくなってくるのは間違いのないことなのだ。

素直に喜ばなきゃと思う真一なのだ。

ところで最近というか古い歌から最近までのいろんな音楽の探索人になっている真一である。

そして誰が歌ってるのか分からなかった曲があり、時間をかけて調べてみると天地真理さんの

「あなたが教えてくれた歌」だと分かったのである。なかなか多くのいい曲を歌っている。

極めつけは曲は聴いたことがあるのに曲名を知らないのがある。

歌ってるのはカーペンターズ、名前は知っているのだがこれもネットで検索して

トップ・オブ・ザ・ワールドと分かったけれど、真一って芸能音痴なところがある。

お気に入りの歌手はレコードを持っていて、同じ曲を何度も聴いているのであるが、今回のように

好きになった曲があっても素通りしてしまうことが多くあった。でもいいなあと思って調べることが

あってから何故か他にもいい曲を探しだして毎日聴いている。

つづく

8.潮騒の香り（2/3）

8. 潮騒の香り（2/3）

音楽に不思議に目覚め、この頃は音楽三昧なのだ。
もちろん愛ちゃんからも大きな影響を受けている。
若い女性なのに結構昔の曲であるカーペンターズの大ファンだというのである。
うむ・・・何故か通じるところがあるのか？
それより共通の話題があるって、真一のような老人に属する者にとって若い女性と会話が続くことが大切なことじゃないかと思っているのだ。
仕事のこと恋のこと、音楽のことなどなど愛ちゃんとはほんとうに不思議ではあるがいろいろな会話に花が咲くのである。このような女性ってなかなかいないのじゃないかと！
レアな若い女性と真一は思っていて今一番の大切なかけがえのない女性（ひと）なのである。
親子じゃないのに親子のような、ましてや恋人になっているのだから世の中って異常で怪奇であるといつも思っている。
何があるかほんとうに不思議である。

真さん怪奇ってなあーに？と愛ちゃんにつっこまれそうな表現なのであるが、ほんと字のごとくあやしく不思議なことなのである。
歳の差も異常で恋人って言うと怪しいことこのうえもなく不思議なカップルと応えようと思っている。
一度「異常で怪奇だよね」愛ちゃん？と話しかけてみようかと思うのである。
どんな返事が返ってくるのか楽しみが増えたようなそんな気がしている。
愛ちゃんって天然だから余計に興味が出てくるのだ。
愛ちゃんのマンション近くの喫茶店、真一も一度訪ねているところなのであるが、たしかエンゼルという名前だった。そしてこのマスターから言われたことがある。
愛ちゃんって若いのに少し年老いた人が使う言葉が出てくるのよねって？
何か真一のことを見られている気がするのだ。

そうかそうか知らず知らずに深い関係のある人の影響を受けているのだろうか？
でもこればかりは注意していても自然に出てくるよね！
僕もしっかりと人の話を良く聞かなきゃ
なるほど・・・そんなことまで分かってくるのか？
人の潜在意識の中にある記憶的な言葉って言うのだろうか、いつぞやのことであるが、そういえば若い人が使う言葉を良く知っているね？どうしてなの坂本さんって言われたことがある。
無意識のうちに出てくるのだろう・・・愛ちゃんの影響だなこれは・・・
バックナンバーさんの「ヒロイン」、U r uさんのカバー曲「ありがとう」やら「さくら」、う
どん県

の歌姫藤岡友香さんの「ハナミズキ」同じくうどん県の舞子さんの「春の鳥」などなど毎日同じ曲ばかり

を聴きまくってる真一なのである。

愛ちゃんとカラオケもいいよなあ？

そうだ愛ちゃんの歌ってるの聴いたことないし、なんて思っているうちにもう携帯電話をしている。

こんにちは！！あっ真さんどうかしましたあ？

実はね今度カラオケなんかもいいんじゃないかと・・・。

でも真さんって以前に僕はもう歌えなくなったんだよと言ってなかった？

社員旅行での余興で昔は良く歌ってたのはうわさで聞いてたけど・・・今は駄目なんじゃ？

そうなんだ僕はもう駄目なんだ、讚美歌もまともに歌えない身体なんだ。

実は今急に思い立って愛ちゃんの歌ってるの聴いたことがないから、以前に合唱団入ってたのよと言ってなかったかなあ？

そやけど昔のことだし、長いこと歌っていないから駄目だよ・・・真さん！

ねえお願いしてもいい・・・愛ちゃん聴きたいんだ

どうしたの真さんたら

何故か天国への土産話にしなきゃと急に思ったんだ

つづく

8.潮騒の香り（3/3）

8. 潮騒の香り（3/3）

まあ真さんたら・・・縁起でもないこと言っちゃだめですよ
でも真さんの頼みなら仕方がないか？いいですよ真さん・・・いきましょ！
私は真さんの歌ってるのは知っているから、少しうまいかなって・・・うふ
えっ知っているの？どうして？
実は昔の社員旅行のビデオ見たんだ
ほんとかよ愛ちゃん・・・そんなのあったの？
ええ・・・ナツメ口の「憧れの郵便馬車」？じゃなかったかな！
♪ほらほら やってくる♪ってやつじゃなかった？下手になっていても聴いてみたいです。
あの曲カラオケにはないよ
えっ・・・youtubeにあったような気が、歌詞の字幕があったからカラオケにあるんじゃない
。
じゃあ別にカラオケ店でなく愛ちゃんのパソコンでやればいいか？
ポータブルステレオスピーカー持ってるから用意しておくよ、そうそうマイクもね

電器店に出かけるついでがあるからいろいろと物色しておくよ
大丈夫なのまた車椅子を用意してご一緒しましょうか？
そうだよねグッドアイデアだよ！そうかそれもいいよねデートを兼ねて電器店を訪ねるって！
愛ちゃん？家電の欲しいのあったらプレゼントするよ
ほんと？ありがとう・・・考えておくわ、うちのは安い物でいいからね
いやいや5万円ぐらいならいいよ！大切な愛ちゃんだから
えっ・・・そんなに真さん？貧乏してるって聞いたから無理しないでね
じゃあそういうことだけど・・・勝手に電話してごめんごめん
いいえ反対にプレゼントの話になってラッキーってことでとても嬉しいわ
それじゃまた・・・日時が決まったら相談しましょ

やっぱり思い立ったら電話してみるのもいいなあ
さすが愛ちゃんだ！
若いし、こんな可愛くって性格の良い女性っていないよなあ真一はそう思っている。
いつまでこのようなことが続くのか？
ほんとうは毎日が心配で心配で気が気でない真一である。
若い女性の好意に甘えると言うか、恋人というかこれはこれで嬉しい悩みなのである。
人には話したことはないが、いや一度こんなことになってると友人の山本に話したような気がする
が
皆んながびっくりするような事だと真一は思っている。

こんな嬉しい幸せなことを秘密にしておくてもったいなくて、誰彼となく話して自慢したいこと

なのだが、さすがにこればかりは話せないよねと真一は思うのだ。

嬉しい苦痛ってこのことなんだ。そうなのだ贅沢は言ってはいけない。

そろそろ小説の中での登場人物として書いておくってのもいいかも知れない。

恋愛小説に挑戦するのもいいかなあ

興味になることがあるといろいろやってみたい好奇心旺盛な真一であるのだが昔も今もほんとうに

変わっていないのである。

youtubeからダウンロードした51曲、その中に天地真理の告悔（こくかい）、恋の世界がある。

そして合唱曲の「旅立ちの日」、震災復興関係の「幸せ運べるように」は不思議に飽きもせずに毎日聴いていて近頃は「故郷を離るる歌」で涙していることがある。

真一は歌で癒され、励まされこれは薬だよなあと思っている。

だから家中が音楽や歌だらけなのだが、一人暮らしってこんなものなのなのか？

そういえば愛ちゃんも言っていた、家では音楽を聴きまくってますとそして真さんがいるからとこのことから真一は愛ちゃんが愛おしくってたまらないのだ。

つづく

9.ふるさとから（1/3）

9. ふるさとから（1/3）

大切に貯めた水を上手に使う。

自然と向き合う知恵人、うどん県に根づく知恵は今も生きている。

そしてこの日のニュースは、仕事も恋も農業女子という実家での新聞記事が何故か輝いている。

それから最近は働き方が自由に設計できるらしい。

そうならばブラック企業とも知らずに入社して自死（自殺）するって考えられないのであるが！

そして副業OKの企業も増えているらしい。

週3日勤務ともなると7日のうちあと4日は遊んでもいいのであるが、この4日を活用して副業する

のは当たり前じゃないか、忙しくてサービス残業しなきゃいけない企業が数多くある中、ゆとりある

週休4日の会社ってほんとうなのか？と疑いたくもなるのだが、就職活動（就活）を頑張っは是非に

とも入社したいものである。

それから長距離通勤、今や新幹線による通勤も月12万円かかるらしいが乗車券は会社負担、特急

料金は本人負担らしいが補助も出ているようで、都心への満員電車と違ってゆっくり座って通勤できる

ってほんとう重役出勤みたいだ。

新幹線でないにしろ真一が通勤している頃は特急料金を自腹で支払って座って通勤しているというとはおう重役出勤やのう？と言われたことがある。

会社は8時出勤だからそうでもないけれど、10時出勤の会社もあるらしく新幹線通勤なんだ言う

これはほんとうに重役出勤だろう！

真一も実家から新幹線なら、会社まで2時間少しだから通勤できないことはないと思う。

ただ支給される通勤費の上限がいくらか？によるのだが、退職した今となっては実現することはないが昔と比べて時代は変わってきているのは事実である。

携帯電話の着信メロディーである♪ミモザの花の咲く頃♪が鳴り響く・・・（天地真理の曲である）。

あまりかかっては来ない携帯への電話である。

誰だろう？・・・美紀ちゃんからだ。

ご無沙汰しています原美紀です。お元気でしたか坂本さん・・・。

久しぶりです美紀さん・・・確か温泉へ行こうかと計画していたのであるが、真一の体調もあり中

止

していたのだ。

ご無沙汰してると不思議に苗字で呼び合うということになり、堅苦しいことであるが何故か自然に

そのようになってしまう。懐かしいレベルってそうなのか！

ほんとうにごめんごめん、こちらから連絡しないといけないのに電話をいただいてしまって、その節は

ごめんなさい中止にできてしまった。

私も忙しくって、東京への出張があったり、京都にお店が出来て長い間出向していたものだから

ごめんなさい。ほんとうにお久しぶりです。お会いして積もる話をしたいです。

美紀ちゃん昇進したんだって？風の便りだけど女性課長ってすごいよ

いえいえまだまだ小娘な歳なのに一番の年長者が私だからって、勝手に課長にされてしまって困っているんです。でも人を管理するというか、部下が多くできると真さんが働いていらした時の

ご苦労が良く分かります。いろいろ教えて欲しいです。

業種が違って管理職って同じだから、相談に乗ってもらえるのは真さんだけなのですよ

そのように言って貰えるのは嬉しいけど、いやいや僕なんかとっくに会社を退職してるし役に立つこと

なら何時でも連絡してもらっていいですよ

でもなつかしいですよ？6ヶ月もご無沙汰ですよ

ほんとだね過ぎてみると6ヶ月ってあっという間やけど、美紀ちゃんもその間いろんな大変な苦労が

あったようですね

つづく

9.ふるさとから (2/3)

9. ふるさとから (2/3)

実は僕やけど身体障害者になってしまったんだ。呼吸器障害の3級なんだけど！
息切れして呼吸が苦しいって言ってましたよね？大丈夫なのですか？
まあいろいろあって・・・積もる話会ってからとよく言うけど、ほんとだよ
僕のほうは何時だっていいから、美紀ちゃんの都合を教えてもらったらそのようにするよ
そうそうお会いするときは酸素ボンベと一緒にいきますから、仲良くしてください（笑）
分かりました。会社の予定を調べてまたお電話します。
お身体大切にしてくださいね、これから寒くなってきますしね
美紀ちゃん今日はわざわざ電話してもらってありがとう
いいえ真さん！ほんとうにお大事になさって下さいね
それじゃまた電話します
美紀ちゃんも気をつけてね？それじゃ

ああー美紀ちゃんからってほんと久しぶりだったなあ
やっぱり夏を終え涼しくなってくると不思議に忙しくなってくるよなあ
今まで気にもせず僕の前を通り過ぎていた歌・・・。
何かの拍子に心に止まり、心に強く響く歌、今まで何度か出会った曲なのに何故だろうか？
遙か昔の出来事と重なりいろいろな思い出を秘密の小箱から取り出してくるような！
そして突然に目の前に現れるって、涙が溢れ出ても不思議なことじゃない。
それとも年老いた証というべきなのか？
最近では友達からも年齢の近い女性からも、涙もろくなって直ぐに感動してしまうのよと言った声を
良く聞くのである。
当時は涙すべきいろんな出来事を体験しているのに自然と我慢して涙も出たことがなかった。

あの人ねクールやから涙したのを見たことがないのよとか、周りは皆泣いている感動ものの映画
で
あってもなのよって！いつぞやに噂で聞いたことがある。
それだけ我慢してきたから今は涙が溢れても仕方のないことかも知れない。
悲しい体験の数だけ人にやさしくなれるって何処かで聞いたことがある。
そういえば真一の場合も多くの方々が代わりに泣いてくれたり、支えてくれたり、優しくしてく
れた。
一瞬泣き崩れそうになったことがあるが、とうとう最後まで泣くことはなかった。
昔の懐かしい出来事を思うと今は涙が出てくるのであるが、クールってことは悲しいはずなのに
そんなことを思わないようにしてきた淋しい人間なのかも知れないと真一は思うのである。
ほんと声を大にして周りの人に言っておかねばいけない。

僕はクールじゃないぞ！悲しいことには涙しなくても心の中でしっかり泣いていますって！

愛ちゃんと別れることになったり、いろいろ支えてくれた人が悲しいことになったら思い切り泣く

だろうと今の真一はそう思っている。

人を待たせるよりは人を待つ側、人を傷つけるよりは傷つけられる側、そうならなければと最近

は思うのである。

そして人に心配をかけるよりは人を心配する側になるってことが一番大切じゃないかと・・・。

愛する人を心配する。仕事のない人を心配する。不幸な人を心配する。平和じゃなくなりつつある国を

心配する。・・・いろんな心配をするって幸せだと思っていると、今度は神様から幸せなプレゼントが

あると信じているのだ。

ふるさとに帰ってくると何故か思ってもいないことを思うようになったりして、心が何故か落ち着く

のである。何故だろう？こんなことを思うのは・・・。

真一には今なお気にかけている女性がいる。

数年間ご無沙汰しているのであるがメールは未だに使用出来るし、時折ブログにコメントをしてくれる

のである。挨拶だけの女性かも知れないが・・・。

つづく

9.ふるさとから (3/3)

9. ふるさとから (3/3)

その女性へは誕生日、クリスマス、新年・・・この3回だけはしっかりとメッセージを届けて元気で

頑張っているどうか知っておかなければと思うのである。

不思議なのであるが・・・何故だろう？

ペンネームで遊んでいるときに知り合ったのであるが、ほんとうに良くしてもらった。

元気をもらった女性、話し相手になってもらったりして、優しくしてくれたのだ。

今は愛ちゃんがいるからと、こんな身体だから、こちらからはもう会えないんじゃないかと勝手に思って

いるのである。

でも機会があれば会いたいものである。

それから北新地で遊んでいた頃知り合った女性もそうだ。

キャンペーンガールをしていたり、写真集を出していたり知る人ぞ知る女性なのである。

これって著名人に当たるかも知れない。

ほんと・・・青春時代を過ぎ、再び青春時代をって頃の出来事なのだがふっと思い出すことがある。

だから真一は関わった好きな女性だけは幸せでいて欲しいし、元気でいて欲しいと思っている。

ところで現実にかえってなのであるが・・・！

あの頃はよかったと誰もが言うこのフレーズ、実は真一もそうなのである。

ああ年老いたくないよねと友人と会うたびにいつも口にしてるのであるが、次には髪を染めたりして

若作りをしてると、どうしたんだ若作りなんかして好きな女性でも出来たのか？

ばれてしまってるらしい雰囲気であるが真一からは心に秘めた出来事にしているのだ。

なあーにちょっと気分を変えたいのよ・・・老け込むには少し早いしね！

人間ってどうしても歳を重ねていくたびに衰えていくのであるが、若い女性のいるところへでも行こうものなら自然とお洒落に気をつけたり、気持ちもシャンとして何故か若い女性には魔法があるのかもしれない。

実際は魔法なんてないのだけれど、ただ若い女性が好きなだけなのだ。

さあ綺麗な女性のいる北新地へ飲みに行こうやないか？

働いている時ならそれも叶うのであるが年金生活者に成り下がった今ではそんな贅沢は出来るわけがない。

お金のかからないまたお金がかかっても必要経費の範囲であるランチ等の時は若い女性のいる優しい可愛い女性スタッフの店を探して行きたいものである。

これって長生きするっておきの秘策らしいのだ。

うーん・・・男って若い娘が好きだから・・・同じ行くならそうだよねと思わず納得してしまう。女性の場合はどうなのか？若い男性のいるショップとか美容院とかやっぱり女もそうだよね？そりゃそうだろう・・・どきどき、そわそわして楽しいほうがいいに決まってる。

色恋沙汰云々と言ってる場合か・・・とお叱りをいただくかも知れないが、同じお金を使うなら若い女性のところだったり、若い男性のところへ行こうよってなるよね？

人間っていやだよな？

本能のままって感じが出てしまうと！

なーんだ・・・皆んな思ってることは同じなんだ。

ところで坂本さんには山下さんがいるからね、そう愛ちゃんのことである。

何故か皆んなは真一が若い娘と交際してるってことを知っているのだ。

言わば渦中の人ってことになっていて、もうキスはしたよねとか質問攻めにあっているのだ。

そんなことはないよって大勢の前で言い訳をしてる真一がそこにはあった。

なんだ夢か？変な夢を見てしまったなあ

妙なところで目が覚めてしまって、夢にまで出てくるのかと少し気になっている真一である。

つづく

10.明日にむかって（1/4）

10. 明日へむかって（1/4）

甘いものが欲しい・・・突然に思い出したように「ぜんざい」が食べたいと思うことがある。そうそう甘いものを食べてる人って皆んなニコニコしていませんか？そういえば子供たちや女性たちが甘いものを食べてるときって喧嘩なんかしていないですよ？男性も甘党が多くなったのかスイーツ男子って言葉を聞いたことがある。甘いものを食べてると角がとれて丸くなったねと言われるのであるが、真一もその一人である。酒を止めてからだろうか、止めた途端にケーキやら羊羹やら無性に甘いのが欲しくなることがある。

少し古い話だが午後10時近い夜遅くにケーキを食べに車を走らせたことがあった。これって中毒みたいで今後は心配ではあるが、たまたま我慢が出来ないことがあった。それほど好きならケーキの食べ放題なんてものに行ってみるのもいいかも知れない。一度は行かなきゃと思っているのだけれど何故か一人では行き難いもので、同じように好き同士じゃなきゃだめじゃなからうか

愛ちゃんもケーキは好きと言っていたことを聞いたことがある。一度確認してみなくちゃ・・・あっ携帯が鳴っている・・・誰だろう・・・こんなこともあるんだ！愛ちゃんこんにちは、おやつタイムの電話って初めてかも知れない。真さんこんにちは、実はケーキを食べに行きませんか？うそだろう？愛ちゃん？たった今だけどケーキって愛ちゃん好きって言っていたから食べ放題ってどうかなあと思っていたところに電話がかかってくるんだから！！なんて言ったら良いのか・・・この偶然は大切にしなきゃ・・・やっぱり愛ちゃんだよ！えっ真さんもそうなの？私もケーキ好きな真さんと食べに行こうかなと思って電話したのよ似たもの何とかだよ（笑）

そしたら話は早いよね今から出てこない？
車椅子用意して待ってるから
愛ちゃんえらい急やね？
いいよ今から酸素を新しいのに交換してバス停まで行くよ、電車もあるから1時間少しはかかるけど
いいのかなあ？
もちろん私も着替えて真さんの好きな服を着て出かけることにします。
ケーキで完全一致するって・・・ふふ・・・好き同士っていいわね！
それじゃ現地で待ってるね・・・そうそう真さんは遅れていいから体調に合わせてゆっくりいらし

て

下さいね？

愛ちゃん心遣いありがとう・・・それじゃあね

なんてこった・・・こんなことは初めてである。

いきなりって嫌いじゃないけど・・・心の中は偶然の悪戯にびっくりしている。

こうして大好きな愛ちゃんに会うこと自体が真一にとってはうれしい出来事である。

ところで愛ちゃんとは今日まで喧嘩ひとつしたことがない。

真一にとっては気にかかることである。

喧嘩してますます仲良くなるって思っていたから、喧嘩するのもいいなあとは思いつつ、ずーと仲良しで喧嘩ひとつしたことがないことも良く聞くことだし、歳の差がそうしているのか、歳の差っていいのかも知れない。

本当は「僕のような老人と別れて普通の若い恋人を見つけなさい」って言ったことがあるのだが真さんでなきゃ私困るんですと言われてしまったのである。

つづく

10.明日にむかって（2/4）

10. 明日にむかって（2/4）

これじゃいけないよってどうしても言えなかった・・・そして心中はこれで良かったと思っていた。

親子と思われてても間違いじゃない程の年齢差ってやっぱり不自然で反社会的だよねと真一は悩みと言える出来事に戸惑いつつも何故か嬉しさの方が大きく、幸せだなと思うのである。現在の状況をしっかり見据えて彼女とともに歩いていくと愛ちゃんと誓ったことだから、結婚のこと

はさておき、このまま明日へむかって互いに支えあっていくことにしなきゃ！

執拗に同じような話をしても愛ちゃんにとっては苦しいことだし、不愉快だろう？

彼女から「別れます」と言うてくるまでは続けていこう！

真一にとっては別れるって死ぬよりも辛い悲しいことになるから触れたくはない話であるのだ。彼女にはずっと幸せになって欲しいし先に死ぬのは僕の方だし、老いぼれて介護してもらうことは

考えてもいないし、もしそうなったらきっぱり別れないといけないと真一自身は心に決めている。

それとこんな身体では性の要求を共有することは不可能となってくるだろうし、このことも本当は

愛ちゃんとしっかり話しておかねばと思うのだ。

そう言えば久しぶりの状態になってるから、ほんとうのこと大丈夫なのか？

真一も心配なところである。

どちらが口火を切るのか？やはり僕からだろう！

電車での時間が1時間少しあると少し先のことや、今後のことを考えたりしていろいろと心配であることは事実なのだ。

それにしても電車は速く走ってるのに気持ちは何故か遅くって早く着かないかなあと思うのである。

余計なことを考えさせないほど早く走ってもらって愛ちゃんの笑顔が見たいと思う真一である。好きな音楽のボリュームを高くして眼を閉じていると不思議に雑念が消えていく。

気持ちが爽やかになって眼の前に浮かぶのは素敵で可愛い、嬉しそうにしている愛ちゃんの顔がそこにはある。

山下愛華・・・真一の今一番大切な女性（ひと）なのである。

真一が愛華と出会って何年かが過ぎたわけであるが、若いに似ず物事をしっかり見ていて当時から愛ちゃんと親しみをこめて呼んでいるが、特に僕には気安く接してくれていたのと初めて何かを初めようとしている時に躊躇していると真さんなら大丈夫、絶対上手くいくわよ的な言葉で

そっと背中を押してくれてた女性なのだ。

本人には話していないのだけれど、いずれは話して感謝を伝えたいと思うのである。

男女の仲になっても我を通すような女性でなく、男性を立てることのうえに優しいから、僕の心も優しくなれて今の真一がいてるといっても良いほどなのだ。

そのことを真一はいつも感じている

だから別れたくないし、愛ちゃんの幸せのために別れないといけないとの板ばさみになっているのだが、これって贅沢な悩みかもしれない。

人って何かを進めようとする時は不安なもので自信があっても悩みは尽きないし、誰かが背中を押してくれれば上手く進んでいけるものである。

真一にこの役目を初めてしてくれたのが愛ちゃんであり、退職した今でも背中を押してくれている

。

再就職の時にもいろいろと気遣ってくれたし、妻以上の女性だと、そして愛している女性である。

こうして弱い身体になった今でもそのシーンそのシーンでさりげなく優しくしてくれるのだからよく

考えなくても一人になると涙が出てくることがあるのだ。

車掌からアナウンスがあり、次は上本町です。

お降りの際はお忘れ物がありませんようにおねがいします。

ついに駅に到着です。・・・改札に愛ちゃんの姿が見えない・・・どうしたのだろうか？

つづく

10.明日にむかって（3/4）

10. 明日にむかって（3/4）

トントン・・背中を誰かが優しく叩きます。

えっ・・振り返ると・・愛ちゃん？・・どうして此処に？

真さんお疲れ様

改札口ばかり見ていたから、車椅子と一緒にホームで待っていた愛ちゃんに気付かなかったのだ。

入場券を買って入場したみたのよ

急に思いたって、真さんをビックリさせてみたかったのだけど、知らん顔して前に進もうとしている

のだから（笑）・・そらそうやわね・・前は改札口だったから！

ほんとビックリしたよホームにいたなんて

考えてもいなかったよ

さあさあ車椅子に乗って乗って！

待たせてしまって・・ごめんごめん

いやいやそんなに待っていないわよ安心して

10分ほどだから人間観察していたから、時間なんて直ぐに過ぎてしまうから

何かのこともってことでイヤホンも持ってきてるから好きな音楽でも聴いてくれるしね

愛ちゃん音楽ってどんな曲を聴いてるの？

私はカーペンターズが多いのよ

前にも話したかもしれないけど古い曲ですよ？でも何故か大好きなのよ

僕も最近よく聴いてるよ・・英語で意味不明なのに涙のでてくることがある。

I NEED TO BE IN LOVE・・この曲CDのトップにあるんだ。

さすがにトップにもってくるだけあって大好きな曲になっているんだ！

ポリドール発売のカーペンターズ、青春の輝き~ベスト・オブ・カーペンターズ税込み2,500円

真さん・・それぞれ、それと同じよ・・私もそれ持ってるのよ

やっぱり愛ちゃん！ってところだよ

何よそれ？ふふっ・・ファンなら誰でも持ってると思うんですよ！

そうだよ僕ごときが持ってるんだから

なかなかいいでしょ？・・不思議に毎日聴いていて負担にならず心にしっかり届くから

そして元気をもらってるのよ

歌の力って凄いですよね？一人暮らしの私には必須のCDになっているんだから！

そうか！・・愛ちゃんも毎日聴いている一人なのか？

真さんもう少しだからね！あっ見えた見えた・・右手の方に見えてるところがそうよ

お店を見てるだけでケーキって感じだよ
何か凄いよね？洒落てるお店でしょ
私のお気に入りのお店なんだ
でも食べ放題じゃないから好きな種類のものをお腹いっぱい食べ過ぎることもなく楽しんでとい
う
ことにしましょ・・・それと珈琲も美味しいんですよこの店・・・。
お待たせです・・・真さん到着です。
こんにちは！いらっしゃいませ！・・・山下さん今日はお勧めのケーキがありますよ！
えっ本当ですか？
じゃあそれをいただきます・・・真さんもいいですか？
いいよ愛ちゃん・・・（小声で）ねえ愛ちゃん・・・スタッフの方が山下さんって言ってたよね？
ええ・・・顔見知りなの！しょっちゅう来てるしと言うか案外通いつめてるかも！
甘いのもって癒されませんか？それと太るタイ°じゃないし毎日でもOKなのですよ！

つづく

10.明日にむかって (4/4)

10. 明日にむかって (4/4)

凄いよ愛ちゃん・・・参った参った

お勧めを先ずは食べてからその後で本命のヤツを食べるっていけません？

ランチより高くって贅沢だけれど・・・この時間が好きなんです。

そこまでだったとは知らなかったなあ

愛ちゃんの知らざる世界を知ってしまったし、他に秘密の小箱なんかがあったりして！

何個かお家にあるかも知れないです。

私の全てをまだ出し切っていないから真さんも楽しみにしておいて下さいね

いっぺんに知ってしまうと面白くないでしょ

ほんとだ愛ちゃん・・・ますます気になってくるよ

真さんも秘密の小箱なんてあるの？

実は？いやいやすべて愛ちゃんの知ってるとおりでよ

なーんだ残念だわ・・・いや・・・もしかして嘘でしょ

絶対にどっかに仕舞ってるはずだわ

夜の部にあるんじゃないの

おいおい愛ちゃん凶星のように言うよね？

その顔その顔・・・ばれちゃったって顔をしてるわよ

じゃあ・・・あとで話すよね

それぞれやっぱり真さんもだ

こうして何度も会っているうちに気付かれるかも知れないが見つけてみて

やっぱり・・・誰でも秘密ってあるものね

(ケーキと珈琲が運ばれます) お待たせしました・・・それではごゆっくりなさって下さい。

うわあー美味しそう・・・見て見てこれ・・・真さんって子供みたい

愛ちゃんも笑顔が弾けて・・・甘いものを食べる顔って最高だよ

ねえ真さん・・・今日お家に来てください

朝昼はいいから次の部の秘密を教えてください

今日でなきゃ駄目かな

いやいや今日でいいよいいよ

なーんだ真さん駄目かと思っちゃった

愛ちゃんと会うときはそのつもりにしてるよって言ったの知ってたんだ

ずるいよそんなの

いいでしょ誰がなんと言っても真さんが好きなのだから

参ったな愛ちゃんには

いやね実は僕もそのつもりなんだ

なんだそうだったの

真さんってこれだからね・・・冗談も上手くなったわね

そのつもりなのに・・・ぜんぜんその気がないように振舞って！

愛ちゃんもだよ

話が上手くなったね

ちゃーんと誘ってくるのだから

私たち好き同士だから

ほんとうに・・・甘いものが好き同士

あちらも好き同士（笑）

愛ちゃんって言うよね・・・今夜は楽しみだよ

つづく

11.僕の早春賦（1/4）

11.僕の早春賦（1/4）

真一には文学系の趣味がある・・・詩と小説！

そうそう「追想」好きな言葉である。コトバンクでは過去を思い出して偲ぶと書いている。追憶と同じ意味になるようであるが、この「追想」の例文として、若かりし日々を追想すると載って

いたのである。僕は決して若くはないが人から聞かれば「初老です」と応える事にしている。

1956年に「追想」という題名の映画があったようだがまったく知らない。

えっ・・・たしか生まれていないかも知れない？・・・だから一度は観てみたいものである。

早春賦・・・この秋の深まりから冬にかけて何故か好きな歌のひとつであるのだ。

小説を書きはじめた初心者としての処女作である小説「追想の日々」は、早春賦的な創造のなかの恋愛物語ではないかと思っている。

この小説なんと可もなく不可もなくとなれば、上出来の部類になるのであるが不可もなくから不可も

ありと考えていて、執筆してから気付いたのであるが、よくもまあ嘘ばかりなのに本当にあったように

書けるものだ。

そうしていつの間にか嘘ばかりで塗り固めたいい加減なことを書いてると自覚しつつ、完結だけは

しておきたいとの思いがペンを走らせている。・・・小説を書くって柄じゃないな！

実際は少年時代の少しの真実とあとは想像と妄想からの登場人物、こんなことでいいのか？

フィクションだから当たり前と言ってしまうえばそれだけのことなのであるが！

創作って、ほんとこれからもっともっと好きになる言葉だと真一は思っているのだ。

春は名のための風の寒さや 谷の鶯歌は思えど 時にあらずと声も立てず

時にあらずと声を立てず

氷解け去り葦は角ぐむ さては時ぞと思うあやにく 今日も昨日も雪の空 今日も昨日も雪の空

春と聞かねば知らでありしを 聞けば急かるる胸の思いを いかにかせよとのこの頃か

いかにかせよとのこの頃か・・・昔の人は文学のセンスが凄いと真一は感心しきりなのだ。

春の初めの頃の歌で、鶯は鳴こうと思ったがまだその時ではないと声も出さない、氷は解けて消え葦は芽を吹き出し、さあと思ったところがあいにく今日も昨日も雪の空なのだ。

春と聞かなければ知らなかったのに聞けば急いで胸の思いをどうにかしなさいと言うだろうか？

真一のふるさとは早春賦のような歌詞が踊る緑の山々、青い海、ここに住んでいるときも現在の今も近くの川は大きな堤防に反して川の流れが細い川があるのだ。

誰もが言うのであるが、雨の少ない土地柄だからため池ばかりで多くの水で溢れかえるような決壊しそうな川をここでは見たことがないのである。

水は何よりも大切な土地柄だから大切に貯めた水を上手に使うことに加え、自然と向き合う知恵は今もふるさとには生きている。

そして大変嬉しいことがある・・・真一だけが特別かと思っていたのに新人成人たちの「ふるさとが好き」が9割を超えているらしいのだ。

ふるさとに愛情や愛着を持ってる人たちがこんなにも多いとは知らなかった。

これは100人アンケートなのだという。

若い人たちは都会に憧れて当たり前だと思っていたから本当に嬉しいことである。

いい香り、いい空気、いい笑顔、ふるさとの懐かしい言葉そして今は人気の「うどん」がある。

年老いても自宅から何度となく実家に帰っている真一って何者なのか？

何故行ったり来たりしているんだ？芸術家なのか？陶芸されているのですか？等々サラリーマンには

見られない姿に何故か少しは嬉しく、ポエット（詩人）なのだと応えるのが不思議に楽しくって毎日毎日飽きもせず詩を書いているって誰が見ても変人じゃないか？

このように真一自身は自分のことをそう分析しているのである。

一度愛ちゃんにも聞いて見なければならぬだろう！

つづく

11.僕の早春賦（2/4）

11. 僕の早春賦（2/4）

一般人と同じように見られるのがもともと好きじゃないと言うのが本音である。そうして現在の交際相手がなんとなんと23歳の可愛い女性だというのだ。勤務していた会社の元同僚だというのであるが、どんないきさつでこうなっているのか？真一が退職してから急接近して何故か愛し合っているらしい。勤務していた頃から不思議に相性が良くて、仲良しだったのだが、何故今に至ってるのか真一も不思議に思っている。いずれにしろ仲良くなった女性とはいつまでも大切に思っていて、ずーと仲良くしなきゃと思っているのであるが、こんなことになるとは思っても見ないことが起こり得ることを心の中では少しは期待して信じていたのかも知れない。ほんとは告白しないまでも愛ちゃんが大好きだったのであろう。年齢が離れすぎていて対象とは考えていなかったことも事実であるのだが！

昔は恋の種だけはいっぱい撒いていて、そのひとつが何故か長い年月を得て奇跡を起こした。真一はそう思っている。良い思い出、良い記憶って時々思い出して、あの人元気だろうか？結婚したかなあ？幸せだろうか？そうして同窓会・・・昔とは皆んな顔や姿の違うのを割り引いても未だに納得できず、ああ一なんてことになっているのだろう。良い思い出が消えてしまったような気がする時もあるのだが、相手もそう思っているだろうことに妙に理解して、そうだよね長い年月って劣化もするよねと！だからぜんぜん昔のままやね？なんて言われようものなら、いえいえすっかり白髪がいっぱいになってしまつてと言いつつ、心の中では昔と変わっていないって？本当なのか！顔ではそんな素振りも見せず、内心では喜びでいっぱいになっているのである。そしてこれはどんなことなのだ！

年老いてくると男女を問わず劣化するのは当然だから、皆んな若い人が好きになるのかなあ！家（うち）の人って「若い娘（こ）が好きなんだから」家の女房って「若い男が好きなんだから」ってことになるらしいと誰かが言っていた。自分の顔と相談しなさいって言ってるのにほんと「年寄り」これだからねって最近良く聞くのだ。昔の若い頃の写真を見せてもらったら、そうでもなくっていい顔してるやんかとか！年老いて綺麗で可愛い女性がいて、写真を見せてもらったらそうでもなかった。

すべてがそうだととは思っていないのであるが、一生の終わりに近づくと結局は収支はゼロってことになるのか・・真一にもつくづく思い当たることがある。

昔はイケメンでない分、少しは男前になったのかなあ？いい男になっているのか！

愛ちゃんが好きになってくれているから少しは当たってるのか？いい証拠かも知れない。

いやいや愛ちゃんは面食いじゃないと言ってたし、真一の何処がいいんだろう？

そうだ一度愛ちゃんに聞いてみたいと思うのである。

これを聞かなくて何を聞くんだ！

そうそう愛ちゃんも歳を重ねるとどんな顔になるのかなあ

顔の骨格から現在の顔写真を送付すると将来の顔写真が出来るかもしれない。

いやもう実現しているかも知れない。

変わり行くフェース・・あなたのフェースはこのようになります。

いやいやこれはこれはいいかも知れない・・怪人20面相ってこのことだ。

どんなことだあ・・いいネタが出来たから機会があれば使わなきゃ？

話の種にとっておかなきゃ！

うむ・・電話？ポケットからだから着信の音量が低い

真さんこんにちは・・ああ・・愛ちゃんである。

偶然じゃなく愛ちゃんのことを思っていると高い確率で電話がかかってくる。

ほんとうにいいことである。

真さん・・私のこと考えていなかった？

・・えっ・・なんて？

つづく

11.僕の早春賦（3/4）

11. 僕の早春賦（3/4）

私も真さんのこと考えていて・・・ひょっとして真さんも私のことを？って
そう思ったから電話したのだけれど？
おおー愛ちゃんも・・・すごいよこれ・・・そのと・・・お・・・りなんだ・・・これが
えっ・・・そうだったの？
前のときもそうだったし、今回もそうだとしたら、私たち何かが起きるかしら
もっともっと良いことがあるといいわよね真さん
うん・・・愛ちゃんと会いたいなあと思っていたら通じる何かがあるかも知れないね
そしたらまた今から会いませんか？
えっ今日は仕事だろう？
今日は私用でお休みしたのですよ
午前中に用事も終わって昼から何をしようかなあと・・・。
部屋の掃除や片付けは昨日終わってるし、そしたら何か「ピーン」って心に伝わってきて、不思議
ですこんなの・・・これって真さんだあとと思ったんです。

体調はいかがですか？
もちろんだよ・・・愛ちゃんだったら直ぐにでも体調万全だから！何時頃になるかな？
この時間なら午後3時頃じゃないかと
いいのかい愛ちゃん
私は大丈夫よ・・・そしたらいつもの駅の改札で？いやホームで待ってるわ・・・いいかしら
すまないね・・・いつも気遣ってもらって
うむ？何故かこの駅・・・そういえば知ってる人には出会ったことがないよね
遠距離通勤の始発駅だから愛ちゃんの会社の人とは出会うことは殆どない
いやいや一度愛ちゃんに聞いて見なきゃ
愛ちゃんの会社でうわさになってるかも知れないし
歳が離れてるから言い訳も完全かも知れない

真一の呼吸器疾患は会社へは報告していて知る人は知っているから、そして真一の担当が
愛ちゃんだから本当に完璧な言い訳の理由になる。
この病気を理由にして会社を辞めることも打診していて、動けなくなるまで頑張らないかと
返事を貰っているのだ。
ほんとうに嬉しいことである・・・身体障害者なのに！
笑顔いっぱい愛ちゃんがホームで待っていて、手をふっている。
こちらまで少し恥ずかしいのだが嬉しいことである。

疲れなかった？大丈夫でした？

車椅子ちょっと見て・・・買ったのよ通販で・・・安かったし
えっ僕なんかのために？

ええ！それとマンションに手すりを付けてもらったし、補助がでたのよ不思議でしょ？
母の名前を使ってなのだけど・・・いずれは母の事もあるから！

えっ・・・そんなことまでして？

実は今日は私のマンションってことにしたの！そして泊まってもらいたいの
パジャマも洗面具も前回のやつがあるし、なんら困ることがないと思うんだけど

僕はいいけど・・・そしてとてもビックリしてるし、大変嬉しいし

真一は気付いていない・・・実は誕生日なのである。

愛ちゃんはこの日を待ちに待っていたのである

車椅子で訪れるってなんて事なのだ

押してくれる愛ちゃんがいて僕は車椅子に乗っている休みながら歩くことも出来るのに

つづく

11.僕の早春賦（4/4）

11. 僕の早春賦（4/4）

真さんどうしたの？

なんだ真さんたら泣いてるう！

もう・・・愛ちゃんが優しすぎるから

夢でも見てるのかな・・・そして眼に埃が入って

真さんたら嘘ばっかし、涙声だよ

さあさあ・・・ゆっくりして・・・ねえ？

愛ちゃんがふり返ったところ、立ち上がって思い切り抱きしめてキスをした

強く抱いて真さん・・・もっと強く

こんなにいっぱい抱きしめられてキスするって久しぶりでとても嬉しい

やっぱり真さんがいい・・・大好きです

愛ちゃんのマンションではいつもこんな感じになってしまう・・・悪いことじゃない

「いつまでもこうしていたい」これは二人が互いに愛していることだから

キスっていいよね愛ちゃん

潤んだ瞳で頷くのであるが可愛い笑顔に涙が落ちてくる

真さんゆっくりしてて

少し早いけど夕食にしましょ

準備も出来ていて・・・じゃーんケーキが運ばれてくる

ハッピーバースデーーツーユ、ハッピーバースデーーツーユ、真さんハッピーバースデーーツーユ、ハッピーバースデーーツーユ

・・・パチパチ、そうそうローソク・・・消して真さん

そうか誕生日かすっかり忘れていたよ

カレンダーに12日のところに丸印が付いていたのを今頃になって気付くなんて

この日に会うために付けたのか？

まさか自分の誕生日だったなんて

これが俗に言うサプライズなのかと・・・話の中で一番の話題となるのだ

あとから気付くのであるが携帯電話には数名であるが誕生メッセージが届いていた。

電車と車椅子に乗っていてそして愛ちゃんのマンションに来て携帯を見るって途中でその機会がなかったからなのである・・・時間をみるとつい先ほどなのだ。

仕事が終わる定時に近い時間である。

そうだよね昼は忙しくって、退社時間付近になるのが普通だよね

私もそうですよ、皆んな心得ているいると言うか早くメールをしても返事は遅いのだから手の空いた時間になってしまう。

そうか仕事もあまりしない僕だけか

そして例の話のネタである50年後のフェースってことになる。

笑顔で愛ちゃん・・・私って普通の顔だから年老いても普通と思っているのですよ

そうか普通か・・・愛ちゃんは普通より上だよ・・・僕が大好きな顔だから！

綺麗だと飽きられるし劣化しちゃうから、人がどう思っているか知らないというか「私は私」

好きな人も普通がいい、そう思うのよ

そうかそうか僕も普通で良いんだ

そうですね・・・真さんも普通ですよ

そして不思議なことにこの日の夜は長くなって、二人とも素敵な新しい記憶を心に残したのだった。

朝のラジオからは早春賦の歌が聞こえてくるのだ。

真さん朝ごはんですよ・・・今日は土曜日、良い天気ですよ真さん

笑顔がとてつもなく眩しい愛ちゃんの顔がそこにあった。

つづく

12.ありがとうさようなら（1/3）

12. ありがとうさようなら（1/3）

真さんが昔よく言ってた「明日のことは明日が解決してくれる」って言葉で励まされたのです。

私も何ごとがあっても私は前を向いて歩くだけ、そう信じるのが大事って、それと四葉の花言葉じゃないけど勇気と希望と信頼と愛情をもって私は前を向いて歩いていくそう思っているのです。

だから真さんも不幸な身体になったかもですが、今の健康を大切にされて頑張ってください。

真さんを大好きで、愛してる私がいるからねp

ありがとう愛ちゃん・・・なんか涙が出てきそうになるよ

いやだもう涙してるのだから真さんって

でも流した涙の数だけ優しくなれるのだから、真さんの優しさが好きなのだからね

この優しさは私だけのものだからね覚えておいて下さいよ

うん・・・ありがとう誕生日を祝ってくれて、愛ちゃんって僕よりすごく優しいのだから嬉しいよ

そうそうこんなポエムが出来ただけのお礼に愛ちゃんにプレゼントするよ

ー生きることー

生命・・・

いのちを尊び、生命を大切に
生きるってどんなことがあっても必ず生きなきゃ
自分で生を絶つのはじゃなくってしっかり生きて
明日への未来に無事に届けるために
生きているのだから元気で幸せで
輝いていなきゃいけないのだ

何のために生まれてきたのか？
身分も名誉も関係なく明日の生きる人になるために
生きるとは何かをなすために生まれてきた
そして私たちは生きてきた
生を得て今を生きて明日を生きて
しっかりと前を見て進んでいこう

私たちの生への道、限りなくずーっとずーっと続いている
これからもいつまでもいつまでもずーっと続いている

自分だけで精一杯なら自分だけのために
人支えることが出来る人は人のために
自分だけじゃとても駄目なら人に支えられて前に進もうよ
いろいろな生き方、それぞれに楽しい愉快的な人生がある
愛してくれている人がいる、そう思うだけで
僕は私は幸せである
そして皆んな幸せであるんだ fine

・ ・ ありがとう真さん！！

ゆっくり、まったり考えて、人を想って、読んでみて考えて、悲しいときも、嬉しいときもまた読んで大切にします・ ・。

愛ちゃんありがとう、そしてまた会いたいから今日はさようならします。

さようならって何故か悲しい響きをするわよね・ ・ほんとうに！

真さんとりあえずですね・ ・それじゃ朝食にしてから駅まで行きましょうか！

つづく

12.ありがとうさようなら（2/3）

1 2. ありがとうさようなら（2/3）

食パンは5枚切りだったよね？そうそう僕も5枚切りなんだ
ジャムトーストだったわね？イチゴとマーマレードですね！キウイもベーコンも買ってるから
オレンジ、グレープフルーツ、バナナ、りんごも・・・これって全部真さんのブログからなのよ・・・
うふっ！

参ったなあこれはこれは・・・！！

元祖キベジャムトーストにプラスしてフルーツをのせますよ！

ここまでしてもらったら僕は何をすればいいのか？

真さんはゆっくり座っていて下さい（笑）

はい・・・そうします。

でもすごいよね愛ちゃんって！

ブログの読者にもなってくれているなんて・・・うれしい・・・感激だよ

変なこと記事に出来ないよね

いえいえ変なことも記事にして下さい

ご遠慮なく・・・そうでなきゃ真さんの本当の姿に迫ることが出来なくなりますから

それと楽しみが減っちゃいますから

毎日更新されてるから私のほうも毎日楽しませていただいているのだから頑張ってくださいね

そうそうブログの冒頭に（注）とあって申し訳ありませんが出会い系や18禁また広告に関する
事項

のコメント等は削除させていただきます。ってありますよね？

そうなんだエッチな動画の広告やら出会い系サイトの広告を載せられたりするものだから承認制
に

してチェックして良ければ掲載することになっているんだ

そのような注意書きをしても、広告などを載せてくる人もいて・・・普通の広告ならまだしもね
！

一応削除することになっているんだけど、最近はそんなコメントは殆んどなくて良い状態なんだ
。

このブログ、ポエムやからカテゴリーを芸術関係にしているんだけど、同じカテゴリーの投稿を
見てみると一目見て関係のないようなものも投稿されていて、訳が分からないこともあるんだ。

少し前だけどサイトは違うところで、同じタイトルを付けられて僕の詩をコピーをされていて、つ
いに

偽者がでてきたか？って大騒ぎしたんだ。

その主宰者にコメントしようとするコメント欄がなくて、仕方なく僕のブログに「ニセモノ発見」

と言うタイトルにして記事を投稿したら、そのブログが削除されていたんだ。

直ぐに反応して削除してくれるって少しは良心的な人がコピーしていたのかと思った。

それからは時々自分のペンネームを検索したり、ブログタイトルを検索したりしているんだ。

そんなことして僕と同名の人や、同姓同名の人がいたことを発見したり、新たな事実を知ったりして

奥が深いと言うか、かつてのように一日の訪問者が100名以上の頃の半分に減ってはいるのだけれど

好きでしてるから構わないけど、愛ちゃん一人が読者でも続けるつもりになっているんだ。

僕の子供たちも見ているだろうし、安否確認で創めたようなものやから！

そうなんだ・・・安否確認か？私も母が一人暮らしだから安否確認って大切ですよ

私の場合は定期的に電話してるし、まあ近くだから会いに行ってもいいし！

母にブログを始めたらって言うてもしたくないようだし、これってする人はさっとするのだけれど真さんってやっぱり新しい物好きになるのかなあ

どちらかと言うとそうかも知れない

私やけど何もかも少し真さんに似てきたのかなあ

愛ちゃんそれはないやろ（笑）

そうよね・・・でも「好きな人に似る」って言わない？

私はそれって幸せなことと思っているんです

そうかな・・・でもそうしてもらおうと嬉しいよ

つづく

12.ありがとうさようなら（3/3）

12. ありがとうさようなら（3/3）

それぞれ愛ちゃんからだ

真さん無事に着いた頃と思って電話してみたのだけれど大丈夫だった？

ありがとう・・・本当に素敵な誕生お祝いとプレゼント・・・とんでもなく嬉しいよ

実はね今日の子供が欲しい件だけど涙物語があったのよ

愛ちゃんが笑いながら言うものだから・・・どんな話だろう？

真さんが帰ってから母がやってきたのよ

えっお母さんが？

母がね真さんならいいわよって言うのよ

大好きなのでしょ？愛華をみていたら直ぐに分かったわよ

きっとそういうことになるだろうって

進歩的な母と言えばそれまでだけど、私からしたら不思議ちゃん丸出しの母なのです。

まさかまさかだったのですけど、そんなの赤ちゃんが出来たらどうにかなるわよですって！

子供が出来ずに困ってる人が多くいるのに、それと他人の精子を使ってまで子供を生みたいって

切実に思ってる女性がいるのだから、反対しないから結婚しなさいって言うのよ

ごめんなさい・・・涙物語じゃなくびっくり物語ってことになってしまっ！

次に会ったときに詳しく話すことにして、まずはそういう事だから報告しておきます。

変な母だと思わないで下さいね！理解ある最高の母なのですから

愛ちゃん・・・それってほんとう！

担いだ話の特別プレゼントってことかなあ

真さんおちよくっていませんよ・・・ほっぺつねってみて・・・きっと痛いはずだから

夢物語でもないし、ほ・ん・との話だからね

分かった分かった愛ちゃんとその母上に乾杯しなきゃ・・・ありがとう・・・ほんとうに

そんなこんなで真一と愛華、内々で婚約をして翌年の春に身内だけでひっそりと結婚式を挙げる

ことになったのです。

F I N E

(あとがき)

この話し・・・こんなのありますか？そう思ってる人が100%かと思います。
そのとおりです創作ですから当然です・・・でも本当の話だったらいいなあと思います。
そしてこの物語にお付き合い下さってありがとうございます。
若人には夢を老人にも夢を・・・すべての皆さんに素敵な夢を見ていただけたかと存じます。
そうでもないですよ！！自慢するほどでもないし、まあハッピーエンドが大好きなのです。

皆さん方には、生まれた生命を亡くなられた方々の分までしっかり生きて、光に満ちていつ
いつまでも輝く日々を過ごして欲しいと思います。

高齢者いや老人である僕も可能な限り長く長く生きたいものです。

登場人物のなかで十分に誌面を賑わしていない人もいますが万一にも続編を執筆時には
ご活躍いただく予定です。とりあえず下巻も執筆完成したことを喜びたいと思います。

最後に電子書籍「追想の日々」の出版の場を提供下さったPUBOO様そして暖かい激励
と応援下さった友人、諸先輩方の皆さんに感謝申し上げます。

2018. 5. 18 飛鳥

追想の日々（上・下）

<http://p.booklog.jp/book/121854>

著者：飛鳥圭

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/sanbika21/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/121854>

電子書籍プラットフォーム：パプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社トゥ・ディファクト

<ご注意>

間違ってもこんなことないと思いますが、もしも映画化、ゲーム化、コミック化、アニメ化にあたっては著作権料をいただきます。

必ず、右記→<http://asuka-12.seesaa.net/>からコメントにてご連絡をお願いします。

別途、契約が必要となります。通常の印税は、総売上の5%となります。

よろしくお願い申し上げます。